平成27年度片瀬･江の島まちづくり協議会
活動報告集

片瀬・江の島まちづくり協議会
（片瀬地区郷土づくり推進会議）
平成27年度委員編集

平成27年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集
目　次

１．協議会全体の活動について　P.1

２．各部会の活動について　P.5

３．まちづくり事業について　P.9

⑴片瀬地区人材・情報バンクセンター事業　P.10

⑵ボランティアセンター事業　P.13

⑶まちかど相談事業　P.15

⑷青少年居場所事業　P.16

⑸小学生夏休みふれあい事業　P.17

⑹青少年ボランティア活動支援事業　P.18

⑺公民館活用事業　P.19

⑻まちかどミニベンチ設置事業　P.20

⑼生活道路の安全向上対策事業　P.21

⑽緑と花いっぱい推進活動事業　P.22

⑾民俗文化財等継承事業　P.23

⑿江の島道の整備事業　P.24

⒀地域広報事業　P.25

４．地域課題の検討について　P.27

⑴市民の家の利便性向上課題　P.27

⑵廃屋への対応課題　P.28

⑶ごみの持ち帰り，ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題　P.30

⑷小学生の居場所課題　P.32

５．まちづくり地区集会について　P.34

６．来年度活動へ向けて　P.47

参考資料

⑴平成27年度片瀬・江の島まちづくり協議会委員名簿　P.49

⑵平成27年度片瀬・江の島まちづくり協議会部会名簿　P.50

⑶平成27年度地域課題別検討ワーキング名簿　P.51

⑷平成27年度片瀬・江の島まちづくり通信　P.52

⑸平成27年度第1回まちづくり地区集会資料　P.62

⑹平成27年度第2回まちづくり地区集会資料　P.80

⑺郷土づくり推進会議及びまちづくり事業に対する課題等（委員意見要約）　P.106

⑻藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱　P.108

⑼片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領　P.111

⑽片瀬地区郷土づくり推進会議全体会傍聴要領　P.114

はじめに

片瀬・江の島まちづくり協議会（片瀬地区郷土づくり推進会議の通称）は，藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱（平成 25 年 4 月 1 日施行）及び片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領（平成 27 年 4 月 1 日施行）に基づき市が設置する会議体として新たに位置づけられた組織で，その役割には，地域の意見を集約しながら地域の課題を把握し課題解決に向けた方向性を検討することや，その検討結果により市への提案・提言等や地域の特性を活かした事業の企画・実施をすることにあります。

本書は，まちづくりの根幹となる市民参加制度「郷土づくり推進会議」がスタートしてから 3 年目となる平成 27 年度（2015 年 4 月～2016 年 3 月）において，片瀬地区のまちづくりを進めてきた片瀬・江の島まちづくり協議会の活動をまとめたものです。

１．協議会全体の活動について

片瀬・江の島まちづくり協議会（以下，「協議会」といいます。）は，片瀬地区自治町内会連絡協議会等の片瀬地区で活動する地域団体等から選出された委員 16 人と公募委員 8 人（平成 25 年度末公募委員選考）の合計 24 人の委員により構成し，平成 26 年度から平成 27 年度までの 2 年間について市長から委嘱を受けて活動してきました。

協議会を円滑に運営するために，委員全員が出席する「全体会」，役員が出席する「役員会」，まちづくり事業や地域課題の検討を具体的に検討する「部会」，部会の担当分野に該当しない地域課題について解決に向けた方策の検討や取扱いの方向性を検討する「課題別検討ワーキンググループ（以下，「WG」といいます。）」の各種会議を必要に応じて開催してきました。

その中で，運営の柱となる役員について，議長（片瀬・江の島まちづくり協議会では「会長」という。）は，全体を代表することから片瀬地区自治町内会連絡協議会からの選出委員を充て，副議長（片瀬・江の島まちづくり協議会では「副会長」という。）の役に 7 つの部会から各部会長が就任しています。これは，まちづくり事業の推進を担っている部会のリーダーが役員となることで，協議会全体の運営と事業活動との連携がスムーズにとれ，かつ，各事業や地域での活動実践の視点から本音で議論・検討を進められる体制として，これまでの経験を踏まえ採用しているものです。このような形で，役員会において議題についての検討を集中的に行い，全体会へ議論のたたき台として提案していくことで，より充実した活動につながってきたものと評価しています。

平成 27 年度に開催した全体会等の会議の開催状況や議題は，次のとおりです。

1．協議会全体の活動について

■全体会（12 回，延べ 328 人出席，会場:第 1 談話室）

回	日時	出席人数(人)				議題				
		委員	傍聴	事務局	合計	計画	地区集会	広報紙	地域課題	その他
1	4月23日(木) 18:30～20:13	23	1	7	31	企画		企画	検討	市長との意見交換会企画
2	5月25日(月) 19:50～20:36	21	3	8	32	予算				市長との意見交換会の振り返り
3	6月25日(木) 14:30～16:15	18	1	7	26		企画	企画		
4	7月15日(水) 18:30～20:32	17	2	6	25					
5	8月18日(火) 13:30～15:15	19		6	25					ふれあいまつり出展企画
6	9月17日(木) 14:30～16:03	13		7	20	予算				
7	10月16日(金) 18:30～20:27	22		6	28			企画		
8	11月19日(木) 14:30～16:27	17		3	20	組織	評価			
9	12月15日(火) 18:32～20:33	19	4	7	30		企画			
10	1月21日(木) 18:33～19:59	20	3	7	30	計画				
11	2月18日(木) 18:31～20:16	20	3	8	31			企画		
12	3月15日(火) 18:33～20:41	20	2	8	30		評価			
合計		229	19	80	328					

■役員会（13 回，延べ 139 人出席，会場:第 2 談話室）

回	日時	出席人数(人)				議題				
		役員	オブザーバー	事務局	合計	計画	地区集会	広報紙	地域課題	その他
1	4月7日(火) 18:30～20:30	6		4	10	企画		企画	検討	委員研修・市長との意見交換会企画
2	5月7日(木) 18:30～20:30	8	1	3	12					
3	6月4日(木) 18:30～20:30	8		3	11		企画	企画		委員研修・市長との意見交換会評価
4	7月2日(木) 18:30～20:30	8		3	11					
5	8月4日(火) 18:30～20:30	7	1	3	11					
6	9月7日(月) 18:30～20:30	8		3	11	予算				
7	10月2日(金) 18:30～20:30	8		3	11			企画		
8	11月2日(月) 18:30～20:30	8		3	11		評価			郷土づくり推進会議制度について
9	12月1日(火) 18:30～20:30	8		3	11	組織	企画			
10	1月7日(木) 18:30～20:30	7		4	11	計画		企画		
11	2月4日(木) 18:30～20:30	7		3	10					
12	3月4日(金) 18:30～20:30	6	1	3	10		評価・企画			
13	3月28日(月) 18:30～20:30	6		3	9		企画			
合計		95	3	41	139					

１．協議会全体の活動について

地区集会については，片瀬・江の島まちづくり協議会の活動を周知し意見をいただく機会としてはもちろんのこと，片瀬地区の地域課題を集約できる貴重な場と捉えています。

また，地区集会の持ち方については，過去の実施例から地域課題や意見を出し易くする工夫についての検討を重ねてきました。ひとつには，関心のある個別のテーマを取り上げ，その分野の活動団体，市担当部課職員や関係者にも参加をいただきながら，正しく最新の情報や実情を踏まえて議論が深められるようなプログラムとすることや，平成 26 年度で実施してきたワークショップのような少人数制の分科会的な要素についても，発言し易く多様な意見が出易いスタイルとして効果があるものと評価してきました。

そこで，平成 27 年度の地区集会については，ワークショップ方式を用い，タイムリーな地域課題や身近で関心のある内容をテーマに取り上げ，参加しやすさを考慮した内容で開催いたしました。（※詳細は，５．まちづくり地区集会について　を参照）

この地区集会でいただいた意見や提案，新たな課題については，しっかりと受けとめ，まちづくり通信等でその内容をお知らせするとともに，協議会としても意見等の掘り下げや課題解決に向けた継続的な活動へと繋いできております。今後も，この地区集会等の機会や様々なメディアを利用した，地域課題の集約と意見のキャッチボールが大切であると認識しています。

■地区集会（2 回）

第 1 回まちづくり地区集会

2015 年 10 月 31 日（土）12:34～14:57，ホール，地域住民等 80 人・市長等市職員 10 人・教職員 4 人・協議会委員 20 人・事務局 7 人　計 121 人参加

⑴グループトーク（市長との意見交換）

「市長と片瀬・江の島っ子の未来を語り合おう！」

～いま，子どもたちに必要な環境とは～

⑵まちづくりタイム（協議会活動報告・意見交換）

第 2 回まちづくり地区集会

2016 年 2 月 27 日（土）13:30～15:36，ホール，地域住民等 44 人・市職員 4 人・協議会委員 18 人・事務局 8 人　計 74 人参加

⑴まちづくりトピックス（協議会活動報告）

⑵グループトーク

「片瀬・江の島マニア大集合！郷土魅力をとことん語り合おう」

～400 年の蔵出しワークショップ～

⑶その他（市からのお知らせ）

１．協議会全体の活動について

協議会の活動としては，市長等市理事者との意見交換や市担当部課の職員等との意見交換も，市の考え方を知るとともに当協議会の考え方や地域の意見・課題等実情を伝えていけるとても大切な場と考えています。平成 27 年度については，次のとおり意見交換の場を持ちました。

■市長との意見交換会（1 回）

5 月 25 日（月）18:33～19:40，第 1 談話室，委員 21 人・市側 7 人（鈴木市長・石井副市長・藤間副市長・渡辺市民自治部長・市民自治推進課職員）・事務局 8 人

(1)委嘱式

(2) ～郷土愛あふれる藤沢について～

片瀬・江の島を取り巻く　子どもたち／超高齢社会／防災の地域課題からまちづくりを考える

■市担当部課職員との意見交換会（1 回）

7 月 15 日（水）18:30～19:00，第 1 談話室，委員 17 人・市側 2 人・事務局 6 人

地方版版総合戦略の策定に関する説明及び意見交換について（企画政策課）

また，平成 27 年度に団体選出委員の変更が一部にあったため，まちづくりの制度や事業等活動についての研修を受ける機会を設けました。

この研修の趣旨としては，これまでの活動経緯の理解と委員同士の交流の 2 点に絞って実施し，特に意見交流に時間を置けたことは大変有意義でした。この研修のように，委員同士がお互いに知り合い，理解を共有することから一体感を持つことのできる機会は，これからの活動に向けた動機や熱意の源ともなりますので，今後も機会を捉えて行うことは重要であると認識しています。

■委員研修会（1 回）

5 月 26 日（火） 9:30～11:30，第 2 談話室，新任委員 2 人・他委員 2 人・人材･情報バンクセンターコーディネータ 3 人・事務局 4 人

(1)まちづくりの組織と事業の変遷について　(2)まちづくり協議会のあり方について　(3)今後の活動について　(4)意見交換

２．各部会及び地域課題別検討ワーキングの活動について

これまでの組織と事業の整理により，平成 27 年度はまちづくり事業 13 事業を担う 7 部会により，各事業の推進や関連する地域課題についての検討等活動を行ってきました。

また，部会の活動分野に該当しない，若しくはひとつの部会だけでは対応が難しい地域課題については，同様に整理をする中で平成 27 年度は 2 つの課題別検討ワーキング・グループを継続し，取扱いの方向性や対策等についてのワーキングを行ってきました。

まちづくり事業の推進等の活動状況については「３．まちづくり事業について」に，地域課題の検討状況については「４．地域課題の検討について」に，それぞれまとめて記載し，ここでは各部会及び地域課題別検討ワーキングの会議の開催状況について記します。

(1) 人材・情報バンクセンター運営委員会

＜担当事業＞　　片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

＜会議開催状況＞　会議 12 回＋講演会 1 回　延べ 158 人出席

回	日時	出席人数(人)					議題			
		委員	協力員	コーディネータ	事務局	合計	計画	広報紙	講演会	その他
1	4月16日(木)　18:30～20:25	5	1	3	4	13		春号		
2	5月14日(木)　18:30～19:50	4	2	1	3	10				
3	6月11日(木)　18:30～20:35	5	2	3	4	14		夏号	企画	ふれあいまつり出展企画
4	7月10日(金)　18:30～20:55	4	2	3	3	12				
5	7月28日(金)　18:30～20:30	4	2	3	3	12				
6	9月14日(月)　18:30～20:00	4	2	3	4	13				
7	10月8日(木)　18:30～20:00	5	2	3	3	13			企画	
8	11月19日(木) 16:40～18:20	5	1	1	3	10				
9	12月8日(火)　16:30～18:30	3	2	1	3	9				ふれあいまつり出展評価，新コーディネータ研修企画
	12月19日(土) 10:00～12:00	5	2	3	4	14			実施	(ボランティア講演会　講演者4人，参加者15人)
10	1月14日(木)　18:30～20:10	4	2	3	3	12		春号	評価	
11	2月16日(火)　18:30～20:10	4	1	3	4	12	計画			
12	3月10日(木)　18:30～20:35	5	2	3	4	14				
合計		57	23	33	45	158	【特記事項】コーディネータの更新			

(2) ボランティアセンター運営委員会

＜担当事業＞　　ボランティアセンター事業，まちかど相談事業

＜会議開催状況＞　会議 4 回＋従事者交流会 1 回　延べ　85 人出席

回	日時	出席人数(人)				議題					
		委員	協力員	事務局	合計	計画	事業		従事者交流会	広報紙	その他
							ボランティアセンター	まちかど相談			
1	5月25日(月)　15:00～16:30	5	11	3	19	体制	進捗・課題	進捗・課題	振り返り	企画	

回	日時	出席人数（人）				議題					
		委員	協力員	事務局	合計	計画	事業		従事者交流会	広報紙	その他
							ボランティアセンター	まちかど相談			
2	11月9日(月)　15:00～16:30	3	10	2	15		進捗・課題	進捗・課題	企画	企画	小地域ケア会議活動団体交流会
3	2月8日(月)　15:00～17:00	5	10	2	17	予算					
4	3月8日(火)　15:05～16:45	3	10	2	15						
	3月22日(火)　11:00～13:00	3	13	3	19				実施		従事者交流会　参加者44人
合計		19	54	12	85						

(3) 青少年健全育成部会

＜担当事業＞　　青少年居場所事業，小学生夏休みふれあい事業，青少年ボランティア活動支援事業

＜担当地域課題＞　小学生の居場所課題

＜会議開催状況＞　会議 7 回＋視察 1 回　延べ 65 人出席

回	日時	出席人数（人）				議題				
		委員	協力員	事務局	合計	事業			課題	その他
						青少年居場所	青少年ボランティア活動支援	小学生夏休みふれあい	小学生の居場所	
1	5月8日(月)　13:00～15:00	3	4	2	9	企画	企画	企画	進め方	
2	5月29日(金)　14:00～16:00	3	2	2	7				検討	
3	6月30日(金)　10:00～12:00	3	2	1	6	企画				地区集会企画
4	7月24日(金)　10:00～12:00	4	4	2	10					
5	9月1日(火)　13:00～15:00	3	2	2	7		振返	振返		
6	11月17日(火) 13:30～16:00	3	11	1	15					地区集会反省会
	1月13日(水)　14:00～16:30	1	2	0	3				視察	
7	3月28日(月)　14:00～16:00	3	3	2	8			計画	検討	
合計		23	30	12	65					

(4) 公民館活用部会

＜担当事業＞　　公民館活用事業

＜会議開催状況＞　会議 9 回＋視察 1 回　延べ 60 人出席

回	日時	出席人数（人）				議題								
		委員	協力員	事務局	合計	計画	課題							
							意見箱	施設見学	抽選会	当日貸	昼食申請	駐車場	階表示	分館案内
1	5月11日(月)　10:00～12:00	5		2	7	体制	企画	企画	企画					
2	6月1日(月)　8:30～11:30	4		1	5				見学					
	6月15日(月)　12:30～17:00	5		1	6			見学	（村岡・長後公民館視察）					
3	7月13日(月)　10:00～11:30	5		3	8			振返		検証	検証			
4	9月14日(月)　10:00～12:00	4		1	5		対応	企画						

2．各部会の活動について

回	日時	出席人数(人)				議題								
							課題							
		委員	協力員	事務局	合計	計画	意見箱	施設見学	抽選会	当日貸	昼食申請	駐車場	階表示	分館案内
5	9月28日(月) 10:00～12:10	4		1	5			見学	(分館見学後会議)					
6	11月10日(火) 13:30～15:00	4		1	5		確認	検討				検討		
7	12月14日(月) 13:30～15:00	4		3	7		企画						検討	検討
8	1月25日(月) 10:00～12:00	5		2	7									
9	2月15日(月) 10:00～11:15	3		2	5									
合計		43	0	17	60									

(5) まちづくり推進部会

＜担当事業＞　　まちかどミニベンチ設置事業，生活道路の安全向上対策事業，緑と花いっぱい推進活動事業

＜会議開催状況＞　会議 6 回　延べ 57 人出席

回	日時	出席人数(人)				議題			
							事業		
		委員	協力員	事務局	合計	計画	生活道路安全向上対策	緑と花いっぱい推進活動	まちかどミニベンチ設置
1	5月18日(月) 14:00～15:15	6	1	3	10	体制	企画	支援企画	企画
2	6月22日(月) 14:00～15:10	7		1	8	予算・新事業案		報告	
3	8月24日(月) 10:00～11:10	9		2	11	新事業案	報告		
4	9月28日(月) 10:00～11:10	5		3	8		計画		
5	12月14日(月) 15:00～15:50	7	1	2	10				
6	2月18日(木) 10:00～11:10	6	1	3	10	課題検討			
合計		40	3	14	57				

(6) 郷土文化推進部会

＜担当事業＞　　民俗文化財等継承事業，江の島道の整備事業

＜会議開催状況＞　会議 7 回＋こま大会 1 回　延べ 54 人出席

回	日時	出席人数(人)					議題			
							事業			
		委員	協力員	傍聴	事務局	合計	計画	江の島道の整備	民俗文化財等継承	その他
1	6月30日(火) 10:00～11:30	3	3		1	7	予算	企画	企画	
2	7月31日(金) 10:00～11:40	3	1	1	2	7				
3	9月11日(金) 10:30～11:55	2	1		2	5			報告	まつり出展企画
4	10月20日(火) 14:00～15:55	3	1		2	6			企画	
5	11月26日(木) 13:00～15:40	3	2		2	7				まつり出展報告

2．各部会の活動について

回	日時	出席人数(人) 委員	協力員	傍聴	事務局	合計	議題 計画	事業 江の島道の整備	事業 民俗文化財等継承	その他
6	1月13日(水) 10:00～11:30	3	1		2	6			企画	地区集会企画
7	2月15日(月) 15:30～17:20	2	3		2	7	計画	報告	↓	↓
	2月21日(日) 10:00～12:40	3	3		3	9			片瀬こま大会(参加者約150人)	
合計		22	15	1	16	54				

(7) 地域広報部会

＜担当事業＞　地域広報事業

＜会議開催状況＞　会議 3 回　延べ 14 人出席(他, 電子メールによる意見交換･校正等多数)

回	日時	出席人数(人) 委員	協力員	事務局	合計	議題 計画	事業 ポータルサイト	事業 まちづくり通信	課題 地域情報の共有化
1	6月11日(木) 20:40～20:55	3		1	4	体制		企画	
2	11月2日(月) 20:50～21:10	2		3	5		報告	↓	検証
3	1月21日(木) 20:20～20:45	3		2	5	計画	↓	↓	
合計		8	0	6	14				

(8) 空き家対策検討ワーキング・グループ

＜担当地域課題＞　廃屋への対応課題

＜会議開催状況＞　会議 8 回＋視察 1 回　延べ 80 人出席

回	日時	出席人数(人) 委員	協力員	傍聴	関係課	事務局	合計	議題 計画	課題 実態把握	課題 相談窓口の設置	課題 情報発信	課題 啓発キャンペーン	課題 対策集	課題 利活用	情報収集
1	4月27日(月) 10:00～11:40	5	2			2	9	予算	企画		企画	企画	企画	企画	各種制度
2	6月1日(月) 10:00～11:30	5	2			2	9		↓	企画	↓	↓			法
3	7月13日(月) 10:00～11:30	5	2			2	9		↓	↓		↓			
4	9月14日(月) 10:00～12:00	5	2	2		2	11					まつり出展企画			
5	10月5日(月) 10:00～12:10	5	1	2	2	2	12								市取組
6	11月2日(月) 10:00～11:40	5	2	1		2	10	計画							
7	12月14日(月) 10:00～11:30	5		1		3	9	↓	県内状況					事例研究	パブコメ結果
8	2月8日(月) 9:30～12:20	5	5			1	11		視察						視察･振返り
合計		40	16	6	2	16	80								

(9) ごみのポイ捨て等環境課題検討ワーキング・グループ

＜担当地域課題＞　ごみの持ち帰り，ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題

＜会議開催状況＞　会議 6 回＋視察 1 回　延べ 36 人出席

回	日時	出席人数(人)				議題				
		委員	協力員	事務局	合計	計画	視察	犬のフン対策	ポイ捨て対策	その他
1	5月12日(火)　15:00～16:15	3		2	5	計画	企画	企画	市取組	
	5月18日(月)　10:00～12:00	3	3	2	8		実施			(保健所視察)
2	7月30日(木)　15:00～16:15	3		1	4	計画		企画		
3	9月10日(木)　10:00～11:20	3		2	5					まつり出展企画
4	10月15日(木)　15:30～16:40	2		2	4					
5	1月20日(水)　10:00～11:15	3		2	5	計画				まつり出展報告
6	3月10日(木)　10:00～11:45	3	1	1	5					
合計		20	4	12	36					

３．まちづくり事業について

平成 27 年度に計画したまちづくり事業，下記 13 事業の各々の内容や実施状況については，次頁から記載のとおりです。

(1) 片瀬地区人材･情報バンクセンター事業
(2) ボランティアセンター事業
(3) まちかど相談事業
(4) 青少年居場所事業
(5) 小学生夏休みふれあい事業
(6) 青少年ボランティア活動支援事業
(7) 公民館活用事業
(8) まちかどミニベンチ設置事業
(9) 生活道路の安全向上対策事業
(10) 緑と花いっぱい推進活動事業
(11) 民俗文化財等継承事業
(12) 江の島道の整備事業
(13) 地域広報事業

≪事業名≫　片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

〈担当部会〉　人材・情報バンクセンター運営委員会

〈事業の概要〉

地域で行われている様々な地域活動情報，人や団体の情報などを蓄える「人材・情報バンクセンター(通称：JJBC)」（平成 24 年３月開設）に専属のコーディネータ３人を配置し，地域でボランティア活動をしたい・できる団体や人と，ボランティアを求めている団体や人を「つなぐ」ことや，地域の情報発信，新たな人材発掘など，地域の人材や情報の拠点として地域活動の推進を図りました。

〈事業の実施状況〉

①地域の情報収集（関係づくり），登録者・情報の蓄積（バンク）

地域の様々な団体と積極的にコミュニケーションを図り，バンクセンターのＰＲや外部との関係づくりや，地域の情報収集・登録団体の増加（情報のバンク）に向けて継続的に取り組みました。特に，これまで登録していただいた団体や個人の方々にもコンタクトをとり，登録情報の棚卸と活動状況等の把握を行い，データの更新に努めました。

【平成 28 年 3 月 31 日時点の登録実数】118 件（開所からの累計 128 件）

・「できます」登録（ボランティアできるという団体・個人の登録）

団体：28 件　福祉関係団体による高齢者の支援，障がい者の支援など

個人：40 件　高齢者の生活支援，話し相手，庭木の手入れ，楽器演奏など

・「おねがい」登録（ボランティアしてほしいという団体・個人の登録）

団体：50 件　福祉施設，地域活動団体からのボランティア募集

個人：　0 件　個人からのボランティア依頼に対するコーディネートは現段階では対象としていない(ボランティア団体を紹介することはある)

②相談対応，コーディネート

毎週火・木・金曜日の週 3 日(10 時～15 時)開所し，地域活動に関する相談への対応，人と団体と情報とを結びつける業務（コーディネート）を進めてきました。

【開設から平成 28 年 3 月 31 日までの対応状況】

・電話又は窓口への来所による相談対応　累計 218 件

27 年度 42 件（24 年度 39 件(10～3 月)，25 年度 92 件，26 年度 45 件）

・上記のうち，コーディネート成立件数　累計 112 件

27 年度 22 件（24 年度 17 件(10～3 月)，25 年度 41 件，26 年度 32 件）

③地域情報の発信

広報紙の発行，ウェブサイトへの掲載等により，地域活動に関する情報の発信に取り組んできました。

【情報発信の状況】

・ボランティア通信「らぶらぶ片瀬」の発行：年 2 回発行

（片瀬地区の全約 8,000 世帯へ各戸配付）

地域で活動する団体も順次ご紹介

裏面にボランティア情報を掲載

・片瀬地区ポータルサイトの更新：随時

（地域団体の活動も取材し，地域全体の情報を随時更新しています）

④活動参加へのきっかけ作り

地域住民を対象とした講演会など，地域ボランティア活動へ参加してもらうきっかけとなるイベントを実施しました。

ボランティア講演会

テーマ　地域の仲間づくり＆居場所づくり

日　時　12 月 19 日（土）10:00～12:00　片瀬市民センター2 階ホール

３．まちづくり事業について

概　要　特定非営利活動法人「地域魅力」理事長の田中美乃里さんを講師にお呼びし，たくさんの方々との関わり合いを持ちながら活動している仕事の様子や，生まれ育った地元逗子でのボランティア活動の紹介を通じて，地域で生き生きと活動していくことで地域力が上がるお話をしていただきました。講師と地元で一緒に活動する仲間たちにもご一緒していただき，参加者とともに意見交換を行いました。（一般参加者　15 人）

〈事業の評価・予算〉

目標値 130 件　→　実績値 128 件　※活動指標　開設からの累計登録件数

予算額 1,520,000 円（委託料）→　執行額 1,520,000 円（執行率 100%）

※登録データの棚卸等整理に力を入れてきたことやコーディネータの更新時期と重なり，目標値の登録件数には達しなかったものの，登録情報や今後に向けた体制の充実が図れたものと評価しています。

〈事業の今後の方向性〉

この事業も発足して４年が経過したので，基本的な仕組みを再度しっかりと押さえながら進めていきたいと考えています。そのうえで，地域ボランティア活動をつなぐ(マッチングする)とともに，地域活動・公民館活動との連携を通じて様々な地域情報を集め，発信していくことにも力を入れてまいります。

また，コーディネータの体制を更新したことから，あらためて「地域の人材」と出会い・話を聞き・コーディネートすることや，「地域の情報」を集めて発信し広く地域を知ってもらうことをポイントとして，一層精力的に活動を進めてまいります。

≪事業名≫　ボランティアセンター事業

〈担当部会〉ボランティアセンター運営委員会

〈事業の概要〉

人と人とのつながりを拡げ，支え合う地域の実現を図ることを目的に，片瀬・江の島地域の福祉活動の拠点として，赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる居場所「片瀬地区ボランティアセンター（愛称　ひだまり片瀬)」（平成 22 年 1 月開設）の充実に向けた取り組みを実施しました。

〈事業の実施状況〉

○「居場所・ひだまり」の実施

＊誰でも気軽に立ち寄れる居場所として，毎週月曜日～金曜日の 10～15 時に開催してきました。
（平成 27 年度 193 日間開催，利用者延べ 3,412 人）

○「かたせ・にこにこ広場」の実施

＊幼児と保護者のフリースペースとして，毎月第 1 を除く木曜日 10～15 時に開催してきました。（平成 27 年度 42 日間開催，利用者延べ 1,405 人。他に，絵本の読み聞かせ等イベントを 2 回開催，利用者延べ 106 人）

＊よちよち前までの赤ちゃんと保護者や妊婦さんも対象に，「ねんねの赤ちゃんの日」（平成 25 年 5 月から開始）を毎月第 3 木曜日 10～11 時 30 分に開催しました。（平成 27 年度 12 回開催，利用者延べ 202 人）

＊「出張にこにこ広場」として，片瀬中学校や西浜公園などに出向き，新たなふれあいスペースの創出に取り組んできました。（平成 27 年度 5 回，利用者延べ 113 人）

「ねんねの赤ちゃんの日」の兜づくり

片中での「出張にこにこ広場」

○機関紙「ひだまり片瀬通信」の発行について　※平成 25 年度～

３．まちづくり事業について

＊平成 27 年度は夏号(7 月) 及び春号(3 月)を発行し，にこにこ広場等各種事業やミニ講座の予定などについてご紹介してきました。

○「従事者交流会」の実施

＊ひだまり片瀬に従事するボランティアスタッフの交流会を実施いたしました。

2016 年 3 月 22 日（火）11:00～13:00　市民センター・ホール　63 人参加

〈事業の評価・予算〉

目標値 2,000 人　→　平成 27 年度実績値 3,412 人

※活動指標　居場所ひだまり利用者数（年間）

予算　まちづくり事業　0 円　※市の地区ボランティアセンター運営費助成金で運営

〈事業の今後の方向性〉

○今後も継続して事業に取り組み，赤ちゃんから高齢者までが気軽にふれあえる居場所づくりを進めていきます。また，高齢者がさらに利用しやすくなるよう，様々な工夫を検討してまいります。

市の「地域の縁側（交流スペース）事業」の指定を受けています！

平成 26 年 10 月 1 日，住民同士のつながりや絆を大切にしながら人の和を広げ，互いの暮らしを協力して支え合う仕組みとして藤沢市の「地域の縁側」事業がスタートするときに，ひだまり片瀬はモデル事業として市から指定を受けました。この指定に伴い，ＡＥＤの設置や「いきいきパートナー事業」の受入施設としても認定され，見守りボランティアのスタッフに対してポイントが付与されるなど，ひだまり片瀬の運営について一層の充実を図ることができるようになりました。

≪事業名≫　まちかど相談事業

〈担当部会〉ボランティアセンター運営委員会

〈事業の概要〉

子育て・思春期・老後・介護などに関する相談を行政窓口より身近な地域の居場所を活用し，地域包括支援センター・在宅介護支援センター・地域ボランティア・専門資格を持つ臨床心理士等の連携によって実施しました。

〈事業の実施状況〉

〇活 動 場 所 ･･･＊ 片瀬地区ボランティアセンター「ひだまり片瀬」

〇子育て相談　･･･＊ 第 1 除く木曜日，臨床心理士による乳幼児から思春期までの子育てに関する相談を実施しました。（平成 27 年度相談件数 69 件）

〇高齢者相談　･･･＊ 毎週水曜日，鵠生園在宅介護支援センター，藤沢市片瀬地域包括支援センターの相談員による介護保険制度や日常生活・健康などに関する相談を実施しました。（平成 27 年度相談件数 63 件）

＊ 毎月第３水曜日には，上記相談事業に併せて，鵠生園在宅介護支援センター，藤沢市片瀬地域包括支援センターの相談員による健康法についての話や体操など様々な内容のミニ講座を実施しました。（平成 27 年度参加者 131 人）

〇成年後見相談･･･＊ 毎月第 2 月曜日，社会福祉士により，判断力に難しさがある方についての相談を実施しました。

（平成 27 年度相談件数 10 件）

〈事業の評価・予算〉

目標相談件数 100 件　→　実績件数 142 件

予算額 196,000 円(補助金)　→

執行額 159,000 円・執行率 81.1%

※予算額と執行額との差額については、

相談員の都合により､今年度については 6 月からの相談開始であったため。

内訳：臨床心理士(子育て相談員)への謝礼

〈事業の今後の方向性〉

〇今後も身近な相談場所として多くの方々に利用してもらえるようＰＲを行うとともに，継続して事業を進めていきます。

≪事業名≫　青少年居場所事業

〈担当部会〉青少年健全育成部会（片瀬地区青少年居場所事業運営委員会）

〈事業の概要〉

青少年サポーター養成講座を受講したサポーターが，片瀬しおさいセンター（片瀬公民館分館）のふれあいルーム（オープンスペース）に立ち寄る青少年への見守り・声かけを通しながら思春期の青少年と関わる居場所事業を実施し，次世代育成と地域コミュニティづくりを進めてきました。

〈事業の実施状況〉

実施日時について，週１回の隔週水・金曜日だったものを、金曜及び火曜又は木曜の週２回、１７時半から２１時半までのうち２時間の実施に変更して活動しております。

◎ふれあいまつり（居場所事業紹介パネル作成展示）　１０月

◎イベント企画

・クリスマスイベント　１２月

片瀬中学生合唱部によるハンドベル演奏とクリスマスソングの合唱露バルーンアート作り体験、各種ゲーム。

・卒業イベント　３月

記念写真撮影、ダーツ等各種ゲーム。

◎青少年サポーター視察研修　３月

〈事業の評価・予算〉

目標値 100 回　→　実績値 96 回

※活動指標　居場所開催回数（年間）

予算額 408,000 円（謝礼）→

執行額 408,000 円　執行率 100%

〈事業の今後の方向性〉

今後も青少年を見守り，声かけや相談に乗るなどコミュニケーションを図ります。

≪事業名≫　小学生夏休みふれあい事業

〈担当部会〉　青少年健全育成部会

〈事業の概要〉

夏休みの期間，片瀬しおさいセンター（片瀬公民館分館）ふれあいルームを利用する地域の小学生を対象に，ゲームを取り入れた学習を行うとともに，自習室を開放し大学生等が見守りを含めて宿題や勉強等を支援するふれあい事業を実施しました。

〈事業の実施状況〉

実施日 2015 年 8 月 20 日（木）と 21 日（金）
午前 9 時 30 分から正午まで
対象　小学生３年生から６年生まで
内容　**夏休み☆おもしろ塾**
一日目　楽しい防災　ゲームで学ぼう
防災トランプを通して、楽しみながら防災意識を高める。
二日目　チャレンジ！わくわく理科教室
鏡の反射を利用したコインが消える貯金箱作り。

自習室開放

実施日 2015 年 8 月 20 日（木）と 21 日（金）
午後 1 時 30 分から 2 時 30 分まで
※地域の大学生などが見守りを含め，宿題や勉強を支援。

〈事業の評価・予算〉

目標値 25 人　→　実績値 44 人（2 日間延べ人数）
※活動指標　参加人数
予算額 46,000 円（謝礼等）→　執行額 35,000 円　執行率 76%

〈事業の今後の方向性〉

地域が見守りながら学習に関わることで，学力向上の一助となることができたので，今後も継続して実施します。

〈〈事業名〉〉　青少年ボランティア活動支援事業

〈担当部会〉　青少年健全育成部会

〈事業の概要〉

社会貢献を通して喜びを感じられたり，地域の方との絆を深めていく機会があることで青少年の成長を促すことを目的に，地域で実施されるイベント等事業の主催者等と調整し，地元青少年のためにボランティア活動の場を提供しました。

〈事業の実施状況〉

〇8 月 1 日龍の口竹灯籠（たけとうろう）のボランティアスタッフとして活動

片瀬中学校の生徒さんや地元高校生など 20 人が，ボランティアとして活躍していただくことができました。地元のお手伝いの方々と一緒に，竹磨き・設置・ろうそく点火など行い，工夫して並べられた竹灯籠が大変好評でした。

〈事業の評価・予算〉

目標値１回　→　実績値１回　※活動指標　提供できた活動・イベント数

予算　なし

〈事業の今後の方向性〉

今後も青少年ボランティアスタッフの募集や地域のイベント情報の収集などを実施していきます。

≪事業名≫　公民館活用事業

〈担当部会〉　公民館活用部会

〈事業の概要〉

公民館の運営・事業は，平成 26 年度に市民による運営委員会から市非常勤職員の実施に移行しました。それに伴い，市設置の公民館評議員会が公民館の運営・事業について意見や評価等を行うことに対して，当部会では公民館活用に於ける課題を把握・検討し，行政への提言，まちづくりとしての事業企画等を検討しました。

〈事業の実施状況〉

年間計 10 回の部会の開催と市内公民館施設見学及び分館「片瀬しおさいセンター」の施設状況の確認を行いました。

◎施設見学・研修会

・6 月 1 日片瀬公民館のサークル部屋貸し抽選会を視察し、抽選会場における地区集会ビデオの放映及び抽選漏れしたサークルの市民の家活用について検討を実施しました。

・6 月 15 日村岡公民館及び長後公民館の視察を実施し、各地区公民館の特色及び現在抱えている課題や改善点について担当者と意見交換を実施しました。

・9 月 28 日分館「片瀬しおさいセンター」のふれあいルームの損傷被害について昨年に引き続き現地確認を実施しました。

◎地域利用者の声の把握

・6 月 1 日から翌 3 月 31 日まで公民館施設及び利用方法についての意見箱を本館及び分館に設置し、地域住民やサークル利用者の声の把握に努めました。

◎把握した意見の整理・提言等

・施設について，公民館へ要望

◎その他（抽選会の活用，分館駐車場利用方法，陶芸用施設の今後のあり方，公民館事業への市民参画，サークルの高齢化問題、本館と分館をつなぐ案内板の設置等の検討）

〈事業の評価・予算〉

目標値　設定無し→実績　上記実施状況のとおり，　予算　無し

〈事業の今後の方向性〉

今後も，公民館活用に於ける課題の把握・検討，行政への提言，片瀬・江の島まちづくり協議会としての事業企画・実施等を検討します。

≪事業名≫　まちかどミニベンチ設置事業

〈担当部会〉　まちづくり推進部会

〈事業の概要〉

買い物や散歩途中でちょっとひと休みやおしゃべりのできる場として，腰かけやベンチを遊休地・緑地など地区内のスペースに設置し，ふれあいのある，やさしいまちづくりを目指してきました。

〈事業の実施状況〉

〇ミニベンチ(腰掛け)を設置する候補地の選定，土地所有者との折衝，設置するベンチの検討などを行い，設置の実現に取り組みました。

【平成 26 年度までの設置箇所】

①片瀬小学校校庭脇　⇒「江の島道の整備事業」の一環として整備
②やまかストア江の島店　⇒店舗側と調整し，入口前のスペースに設置
③モノレール湘南江の島駅　⇒事業者に要望し，駅舎 2 階フロアに設置
④片瀬三丁目緑の広場　⇒町内会と調整し，入口付近に設置
⑤境川右岸公園管理地(白百合小学校付近)　⇒市及び町内会と調整し，川沿いの歩道スペースに設置
⑥片瀬山一丁目地内（市道片瀬 129 号線の道路用地内）⇒近隣住民と調整し，坂途中に設置

【平成 27 年度設置箇所】

⑦片瀬山北公園⇒公園愛護会と調整し，公園南西側に設置
⑧モノレール目白山下駅前⇒
モノレール事業者に要望し，駅舎降りた北側に設置

〈事業の評価・予算〉

目標値 7 箇所　→　実績値 8 箇所
※活動指標　ミニベンチの設置箇所数（累計）
予算額 150,000 円（消耗品費）→
執行額 149,040 円　執行率 99.36%

〈事業の今後の方向性〉

〇引き続き，候補地の選定及び設置に向けた土地所有者との折衝，設置するベンチの仕様の検討などを進めてまいります。

≪事業名≫　生活道路の安全向上対策事業

〈担当部会〉　まちづくり推進部会

〈事業の概要〉

生活道路の危険と思われる箇所について，注意喚起のための交差点カラー舗装，カーブミラー設置，スコッチシール設置等の実施や通学路を中心に外側線による区切りしかない歩道にカラー舗装（グリーンベルト）を実施しました。

〈事業の実施状況〉

【平成 26 年度までの実施状況】

通学道路の危険箇所に的を絞り，自治町内会から提供された情報をもとに現場を確認し，スコッチシール設置による注意喚起，交差点のカラー舗装の実施（片瀬小学校前・片瀬４丁目８付近），駐車禁止ポールの設置（片瀬地区ボランティアセンター向かい），グリーンベルトの設置（山本橋から国道 467 号線まで，西浜橋から小田急線踏切までと江ノ電湘南海岸公園駅前踏切まで，片瀬小学校校門以北から旧郵便局前まで），警察への要望など安全対策を施しました。

【平成 27 年度実施】

通学道路の安全向上対策として，グリーンベルトの設置について，片瀬小学校校門以北から新屋敷橋前まで行いました。

岩谷不動明王入口付近
グリーンベルト

〈事業の評価・予算〉

目標値 10 箇所　→　実績値 3 箇所　※活動指標　安全対策実施箇所数（年間）

予算額 945,000 円（施設修繕費）→　執行額 942,840 円　執行率 99.8%

〈事業の今後の方向性〉

今後も通学道路の安全向上対策を実施していく予定です。

≪事業名≫　緑と花いっぱい推進活動事業

〈担当部会〉　まちづくり推進部会

〈事業の概要〉

全国でも有数の観光地である片瀬・江の島地域としてふさわしい景観確保等のため，地域ボランティアを募り，花植え・草取りを定期的に実施する体制を築きました。

〈事業の実施状況〉

江の島弁天橋において年 2 回（6 月，11 月頃）の花の植替え，定期的な水遣り，草取りを行っている「弁天橋花いっぱい愛好会」に対して，活動の支援を行いました。

〈事業の評価・予算〉

目標値 100 ㎡　→　実績値 120 ㎡　※活動指標　花植え活動等実施面積（累計）

予算額 40,000 円（苗等消耗品費）→　執行額 36,126 円　執行率 90.3%

予算額 12,000 円（上水道代）→　執行額 9,198 円　執行率 76.6%

〈事業の今後の方向性〉

「弁天橋花いっぱい愛好会」「片瀬地区子ども会連絡会」とともに花壇の拡大を検討し，既設の花壇においては，花苗に限らず芝桜や芝生等の常緑植物を植える等，実施方法についても検討していきます。また，他の場所や団体との連携も検討していきます。

植替え作業

≪事業名≫　民俗文化財等継承事業

〈担当部会〉　郷土文化推進部会

〈事業の概要〉

市無形民俗文化財に指定されている「片瀬餅つき唄」や伝統を誇る「片瀬こま」，その他，片瀬地区にゆかりのある文化財の継承・発展を支援しました。

〈事業の実施状況〉

〇片瀬餅つき唄の活動を支援し，8 月 26 日の諏訪神社例大祭，10 月 25 日の片瀬地区ふれあいまつりにおいて披露しました。

〇片瀬こまの活動を支援し，　10 月 25 日の片瀬地区ふれあいまつりにおいて体験会と小学生以下限定でこま大会を実施しました。2 月 21 日には西方公園でこま大会を実施しました。

〇片瀬地区で代々伝わる，五頭龍伝説，過去の五頭龍ページェントの様子を片瀬地区ふれあいまつりにおいてパネル展示を行いました。

（片瀬餅つき唄の披露）

（片瀬こま大会）

〈事業の今後の方向性〉

片瀬地区にゆかりのある文化財の継承・発展のために活動支援をしていきます。

≪事業名≫　江の島道の整備事業

〈担当部会〉　郷土文化推進部会

〈事業の概要〉
旧江の島道を歴史探訪の道として整備を進めてきました。

〈事業の実施状況〉
【平成 26 年度までの実施状況】
片瀬小学校前の道祖神及び杉山検校道標，旧郵便局前の杉山検校道標，市民センター向かいの西行戻り松道標，片瀬３丁目まちかど公園内に当時の様子を描いた絵巻物看板設置の計５ヶ所を整備しました。
【平成 27 年度の実施状況】
常蓮橋たもと庚申塔，片小前の杉山検校道標の計２ヶ所を整備しました。

常蓮橋たもと庚申塔

片瀬小学校前の杉山検校道標

〈事業の評価・予算〉
目標値 15 箇所　→　実績値 8 箇所　※活動指標　史跡の整備箇所数（累積）
予算額 780,000 円（施設修繕費）→　執行額 761,400 円　執行率 97.6%

〈事業の今後の方向性〉
年に 1，2 箇所を目標に道標の整備，説明板，案内誘導板，総合案内板の設置を進めていきます。

〈〈事業名〉〉 地域広報事業

〈担当部会〉　地域広報部会

〈事業の概要〉

① **広報紙『片瀬・江の島まちづくり通信』の発行**

片瀬・江の島まちづくり協議会や地域団体等の活動を地域のみなさまに知っていただくことを目的に，全戸配付の広報紙を年 5 回発行しました。

② **片瀬地区ポータルサイトの充実**

片瀬地区の地域情報を広く発信するウェブサイト(2011 年 4 月設置)を充実し，情報発信の輪を拡げました。 URL: http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp/

③ **地域情報の整理と共有の促進**

地域情報を集約・整理し，共有化と活用を図るための研究を行いました。

〈事業の実施状況〉

① 第 16 号　2015 年 6 月 10 日発行（市長との意見交換特集，今年度計画）
第 17 号　2015 年 8 月 10 日発行（地域団体紹介特集カラー版）
第 18 号　2015 年 12 月 10 日発行（第 1 回地区集会報告特集）
第 19 号　2016 年 3 月 25 日発行（第 2 回地区集会報告特集）
第 20 号　2016 年 3 月 31 日発行（まちづくり活動報告）

［発行広報紙　片瀬・江の島まちづくり通信のイメージ］A3 版中折り

第 16 号
（浅黄色）

第 17 号
（カラー印刷）

第 18 号
（浅黄色）

② ポータルサイトを活用して地域の情報を広く発信しました。また，地域団体が実施するポータルサイト利用研修会への支援も行いました。

［ポータルサイトのイメージ］

※主な掲載内容
〇片瀬・江の島トピックス（片瀬市民センターからのお知らせ）
〇片瀬・江の島まちづくり協議会　最新情報
〇片瀬・江の島地域団体　最新情報
〇片瀬公民館　最新情報
〇人材・情報バンクセンター　最新情報
〇ひだまり片瀬＆安全・安心ステーション　最新情報
〇地域で活動する団体等の最新情報
〇片瀬・江の島地域情報特集ページから

③ 公民館や地域団体等の事業等地域情報を集約・整理し，「見える化」と目的別整理の検討・試行を実施しました。→ポータルサイトへ「片瀬・江の島地域情報特集ページ」の開設，イベント情報のオープンデータ化

〈事業の評価・予算〉

目標値 4 回　→　実績値 5 回　　※活動指標　広報紙の発行回数（年間）

予算額 223,560 円（印刷製本費）→　執行額 158,760 円　執行率 71.0%

※まちづくり通信の発行経費（郷土づくり推進会議費　カラー版外注印刷代）

〈事業の今後の方向性〉

① 今後も継続して広報紙を発行するとともに，地域活動やまちづくり活動を多くの方にわかりやすくお伝えできるよう内容の充実を図ります。
② 今後もポータルサイトを充実するとともに，利用者側の視点での情報提供の切り口など，地域の情報の玄関口となるように発信力を高めていきます。
③ 地域情報の共有化と活用について，今後も継続して研究していきます。

４．地域課題の検討について

≪地域課題≫　市民の家の利便性向上課題

〈担当ワーキング〉　市民の家の利便性向上課題検討ワーキング

〈課題の概要と経緯〉

【平成 23～24 年度】

地域コミュニティの活性化や地域活動の推進を図るため，地域の公的資産のひとつである市民の家（江の島市民の家，片瀬浪合市民の家，片瀬山市民の家）の有効活用について，「公的資産活用部会」がまちづくり事業（公的資産有効活用推進事業）として検討を行い，各地域団体へアンケート調査や関係者との意見交換・利用改善の提案等を実施し，改善も一部図られたので，まちづくり事業としては終了いたしました。

【平成 25 年度】

市民の家の利便性の向上について，協議会の継続課題として位置づけ，地区集会での意見も踏まえて，片瀬浪合市民の家の予約方法の改善及びフリースペースの増設，3 箇所の市民の家ともに利用時間・管理制度・耐震化の改善の点について絞り，解決に向けて検討いたしました。

【平成 26 年度】

市において市民の家を含めた市の公共施設再整備の検討が始まったことを受け，検討ワーキングを設置して情報収集及び意見交換を行いました。

〈課題の検討状況〉

【平成 27 年度】

市の公共施設再整備プランの策定が進められているので，市の方針や計画が明確になるまで検討ワーキングの活動は休止することといたしました。

〈今後の方向性〉

今後も引き続き地域の課題として認識し，市の公共施設再整備プランの動向に注目しながら，必要に応じて活用に向けた提案等の検討を再開いたします。

≪地域課題≫　**廃屋への対応課題**

〈担当ワーキング〉　空き家対策検討ワーキング

〈課題の概要と経緯〉

少子高齢や核家族化等の社会的背景や維持管理経費などの要因から，市内はもとより全国的にも空き家が発生して廃屋が増えている状況にあり，庭木の繁茂，家屋の腐朽や破損による防犯・防災上の問題として，特に高齢化率の高い片瀬地区においても大きな課題となってきています。

【平成 25 年度】

地区集会での意見を踏まえ，自治町内会等からの空き家・廃屋の状況についての情報提供を基に，地域課題として認識し，市等からの情報収集を行ってきました。

【平成 26 年度】

市が横断的組織によるプロジェクトを設けて空き家の把握方法や対処方法等の検討を進める方向であったので，協議会内に「空き家対策検討ワーキング」を設置し，市との意見交換や情報収集，空き家等対策の推進に関する特別措置法や国県他市動向等についての勉強会，地区集会ワークショップのーテーマに設定しての意見交換などを行ってきました。

〈課題の検討状況〉

【平成 27 年度】

引き続き検討ワーキングを設置し，情報交換や課題解決に向けた検討を進めてきました。

◎メンバー（10 人）　岡田（座長）・藤田・高木・原・畠山・青木・福島各委員，協力員（㈱サンヨーホーム鈴木様・武井様，落合様）

◎ワーキング実施状況（会議開催はＰ．８参照）

〇10 月のワーキングでは，市民自治推進課及び防犯交通安全課職員から市の動向について説明していただき，意見交換を行いました。

［説明概要］市は，法に基づいた「藤沢市空き家の適正管理に関するガイドライン」を 10 月に施行しました。内容を 10 月以降各地区の自治連会議や民児協会議などへ説明し，広報ふじさわでも周知していきます。空き家対策に関わる現在の市の窓口は，防犯交通安全課と市民自治推進課であり，現状，庭木・ドア・門・屋根に関する苦情が約 7 割を占め，市から所有者へ対応を依頼しています。今後はガイドラインにより，市が特定空き家の

認定を行い適正管理を指導等実施していくことになり，空き家の利活用については，改めて「藤沢市空き家対策方針」として年度内にお示しできる予定です。

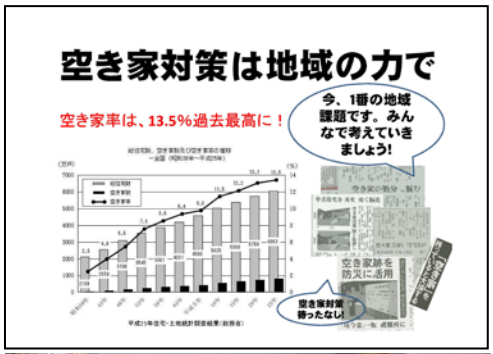
［意見等概要］

・企業の空き倉庫は対象？→建築指導の観点から対応することになります。
・空き家予備軍の対応や補助制度は？→広報活動で啓発していきます。現時点では補助制度は考えていません。
・空き家を無くすためには、市全体の土地住宅政策から考えていく必要があり，組織的な対応を含め庁内の体制について検討中である。
・実態調査は継続的に行い、フォローが必要である。
・空き家調査員は、判断が必要となるので建築や環境の専門家が随行することもある。調査員の資格制度は予定していない。
・課題としては，空き家問題に関する市民への周知，広報活動，空き家の実態把握のために市民や地域団体などの協力得ることで，今後 2025 年問題における位置づけを踏まえながら，空き家対策を推進していく予定との市の考え方をお聞きしました。

〇ふれあいまつりでの啓発活動

テーマ：「空き家対策は地域の力で」

内容：空き家が地域課題であることを知っていただくことを趣旨とし，法関連の情報提供や空き家相談のための自己チェックシートの提示，所有者・行政・不動産業界・NPO・地域（町内会・隣人など）の関係が描かれている相関図，空き家で困った場合の問い合わせ先や対応についてのチェックリスト等の配付や説明を行い，ご意見も伺いました。



意見概要：・歩道に木が飛び出ている。・ノラネコのたまり場になっている。・どこに相談していいかわからない。・娘の家の近くに住むのに空家が利用できると良い。・子育てのために一戸建をお借りできたら。他

〈今後の方向性〉

市の動向に注視するとともに、自治町内会等とも連携をとりながら，今後の方向性を検討していきます。

〈〈地域課題〉〉

ごみの持ち帰り，ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題

〈担当ワーキング〉　環境課題検討ワーキング

〈課題の概要と経緯〉

片瀬・江の島地域内のごみの持ち帰りやポイ捨て防止等について，キャンペーン等を実施し啓発を行うとともに，実効性ある手法について協議・検討していくものです。

【平成 23～24 年度】

環境美化推進部会が，まちづくり事業（環境浄化事業）を実施しました。

〇落書き消し事業：　片瀬地区生活環境協議会の活動に協力し，落書き消しに参加しました。一定の成果があったため，平成 25 年度以降はまちづくり事業の対象外としました。

〇壁画事業：　片瀬中学校美術部の協力によりパネルに描いた壁画を，弁天橋遊歩道から東浜へ抜ける地下道に設置することで，きれいな景観を保つ計画を実行してきました。平成 24 年度で壁画は完成し，まちづくり事業としては終了しました。

【平成 25 年度】

地域団体の意見から，公民館オープンスペースの利用上のごみのマナーや，まちなかでのごみのポイ捨て等が，地域課題として注目されてきたことを把握しました。

【平成 26 年度】

各地域団体にも協力をいただきながら，子どもから高齢者までの様々な層や様々な分野を通じて，ごみのポイ捨て等課題の解決に向けた協議・検討を行うため，協議会内に検討ワーキングを設置し，検討を進めてきました。

また，地区集会ワークショップの一テーマとして取り上げ，参加者との意見交換を行ってきました。ゴミやタバコのポイ捨てについては，家庭ゴミの出し方，コンビニのゴミ箱，観光客対策についての議論があり，ゴミ拾い活動をしている団体や人の紹介等による啓発のアイディアが出ました。

また，犬のフンの放置についても議論が盛り上がり，ペットショップでの飼い主に対してマナー注意喚起，保健所での登録の際の指導，不動産業者の窓口や転入時の市役所窓口でのマナー冊子配付など，具体的な対応策についての様々な提案・意見をいただきました。

これらのご意見を踏まえ，今後のワーキングにおいて，保健所へ視察研修を

行い，生活とどのように保健所が関わりあるのか，環境衛生向上のためにどのような取組をしているのかを知り、片瀬地区の環境衛生向上活動に活かすことといたしました。

〈課題の検討状況〉

【平成 27 年度】

引き続き検討ワーキングを設置し，次のとおり検討を進めてきました。

◎メンバー（3 人）　三觜（座長）・村越・福島各委員

◎ワーキング実施状況（会議開催はＰ．９参照）

これまでの活動を踏まえ，保健所への視察及び意見交換を行いました。

保健所への視察で，犬の飼い始めから死後までに行うべき届出が数多くあることやフン持ち帰りの啓発チラシがあることを確認できたが，犬のマナー・飼い方冊子（飼い主のためのガイドブック）がないため，飼い犬に対して何をすべきかわからず，愛犬精神を持つことができないのではないかと考えました。そこで，ガイドブックを作成・配布し，飼い主に飼い犬に対して行うべきこと・届出を認識してもらい愛犬精神を持ってもらうことにより，犬のフンを持ち帰ってもらう方策として進めることとし，検討を進めてきました。

また，独自の犬のフン持ち帰りポスターや啓発プレートを作成し，プレートについては，ふれあいまつり等で配付しアンケートへの協力をお願いしてきました。アンケート結果を踏まえて，今後の対策を検討してまいります。

〈今後の方向性〉

引き続きワーキングを設置し，今後とも情報収集等行いながら継続して検討していきます。

≪地域課題≫　小学生の居場所課題

〈担当部会〉　青少年健全育成部会

〈課題の概要と経緯〉

平成 26 年度第 2 回地区集会のワークショップにおいて公民館の活用についての意見交換を行う中で，子どもたち，特に小学生の居場所についての課題が浮き彫りになってきた。そこで，協議会では地域の課題として位置づけ，課題の担い手や取り扱いの方向性について検討を行ってきた。

【平成 26 年度】

片瀬しおさいセンターで起きた器物破損問題は，市が実態把握し管理体制の強化が図られたが，ゲーム機や食べ物の持ち込みができない施設が多くなり，多数の小学生が公民館のオープンスペースへしだいに集まるようになって利用マナーが問題視されてきたもので，市と学校が相談し，学校が今後も児童へ注意していくことと，市もルールに基づく対応をしていくこととした。

協議会としては，青少年関連の団体選出委員により，学校関係者や PTA を含めた話し合いから始め，実情の把握と地域団体の関わり等を検討した。

①1 月 7 日（火）子ども居場所課題の整理（波多・三觜・長坂各委員）

②1 月 13 日（火）PTA の意見聴取（青少年育成協力会企画会）

③1 月 21 日（水）今後の進め方について（青少年健全育成部会）

④3 月 6 日（金）　小学生の放課後の過ごし方の現状把握と情報交換

出席 28 人（委員 3，片小教頭，児童クラブ 2，片瀬学園，子どもの家 5，青少協 2，片子連 5，片小 PTA3，事務局 3）

⑤3 月 17 日（火）情報交換会のまとめと今後の進め方について（部会）

以上の検討を踏まえ，青少年健全育成部会が窓口となり，関係者と情報共有する場を継続して設けていくとともに，現状の子どもの様子を直接見るなどで把握しながら検討を進めていくこととした。

〈課題の検討状況〉

【平成 27 年度】

しおさいセンターふれあいルームを見学し，実態を把握したうえで，対策を検討しました。その結果，片瀬小学校とも相談をしながら，公民館利用マナーに関するポスターを小学校で募集依頼し，作品をふれあいルームに掲示しました。中学校にも校長をはじめとする巡回等のご協力により，公民館の利用については落ち着きを取り戻してきました。

また，平成 27 年度第 1 回地区集会のメインテーマとし，市長を迎えて地域の皆さんとの意見交換の場としました。いただいたご意見を踏まえ，片瀬地区の子どもたちの居場所や放課後対策等について，部会として継続検討していくこととしました。

〈今後の方向性〉

引き続き部会で扱い，地域団体や学校等とも意見交換しながら市への提案を検討し，平成 28 年度中に提案書を提出予定です。

５．まちづくり地区集会について

平成 27 年度に開催したまちづくり地区集会について，結果の概要及び今後の方向性をご紹介します。なお，配付した資料については，一部を資料集に掲載していますので，併せてご覧ください。

<<平成 27 年度第１回>>

日時　2015 年 10 月 31 日（土）　12 時 34 分開会～14 時 57 分閉会（143 分間）

会　場　片瀬市民センター２階　ホール

出席者　121 人（市民 79 人，委員 21 人，市長等関係課市職員 10 人，教職員 4 人，事務局 7 人）

内　容

－１　開　会　（司会　徳江副会長）

－２　会長挨拶（長谷川会長）

－３　議　題

（１）地域課題ワークショップ

市長と片瀬・江の島っ子の未来を語り合おう！

～いま、子どもたちに必要な環境とは～

（２）協議会活動報告

まちづくりタイム

－４　その他

意見概要

議題（１）ワークショップでの主な意見

■公園の利用の仕方を現実に合ったようにしてほしい。子どもたちが体をあまり動かさないので，公園でボール遊びとかをもっとできるようにしても良いのではないか。

市：傾向としては高齢者の健康づくり（例えば健康づくりのための遊具を置く）の取り組みをどちらかというと進めている。特に片瀬地区は，新しい公園を作ることにはならないので，シェアをうまくすることしかない。放課後の時間帯を優先的に使う，曜日を決めるなど色々な知恵を出して，公園を最大限に活かせるよう考えることが非常に大事。個別ごとの使い道については，今後考えていきたい。

■子どもの貧困に関し，勉強が遅れている子たちへの学習支援を。

市：この問題について真正面から取り組んでいかなくてはならない。また皆様の意見を聞きながらやっていきたい。

塾に行けない子どもたちには，貧困等経済的な問題がかなり大きいが，家庭環境等の複合的な問題も影響している場合もある。また，唯一の食事が給食だけという問題もあ

り，一つの視点から見て解決しようとしても無理なので，多方面から支援していくことが非常に重要である。行政としては，横の連携をとり様々な課が関わって，ひとりのお子さんの問題を解決していこうという体制づくりをした。次は，行政と地域の皆さんとの協力をどうつくるかが大きな課題となる。皆さんのお力もお借りしながら，行政がコーディネートをして支援に向かう形を作っていくことが大事である。

　また，勉強がわからないというのを解決するには，学校の授業の充実にある。教師が忙しく，様々な課題に対応しないといけないので授業に集中できないという問題が背後にあり，できるだけ負担を少なくしていくことが大事である。子どもたちには，小学校と中学校の教育の基本のところが大事で，かなり人的な対応やお金の面でも割かしていただいている。

■子どもの放課後について，放課後児童クラブや別の形での支援（例えば家庭で保育している方への支援・見守りなど）の問題

市：色々勉強になりましたので，これからきめの細かいところまで反映できるようにしていきたい。

議題（２）協議会活動報告での主な意見

■貧困については，片瀬地区社会福祉協議会としても部会で取り上げて考えているところ。相談は市のどこの課へ行けばよいか。

子ども青少年部長：子どもの貧困対策を所管している特定の課はないが，子ども家庭課では様々な相談をお受けしているので，不明な点はご連絡を。具体的に生活の困窮であれば生活福祉課，ひとり親家庭であれば子育て給付課へということもあるが，抱えている課題により所管する課が異なるので，市も連携しながら家庭の課題解決に向けて取り組んでまいりたい。

片瀬市民センター：本庁のどこに訊けばよいのかわからないときは，市民センターへお問い合わせください。

■再三出ている公園における子どもたちの遊びについて，こういうことをしてはいけないなど，郷土づくり推進会議などの話し合いでなんとかならないか。

片瀬市民センター：副市長からの提案もあり，公園のルールを地域ごとに変えられないかという市として大きな動きになる可能性もある。今日のお話をきっかけにセンターとしてみなさんの声を聴きながら，よりよい公園づくり・環境づくりに取り組ませていただきたい。

■本日は参加して本当によかったが，顔ぶれを見ると，各団体の出るべく人が出ている印象がある。一般の方がもっと参加する手だてはないか。

片瀬市民センター：今日の市長を交えてのグループトーク形式は初めての試みで，テーマに関心ある方にご参加いただけたらという趣旨。昨年度は，地域課題を扱ったワークショップ形式でも行った。今日の反省も踏まえ，今後も工夫していきたい。

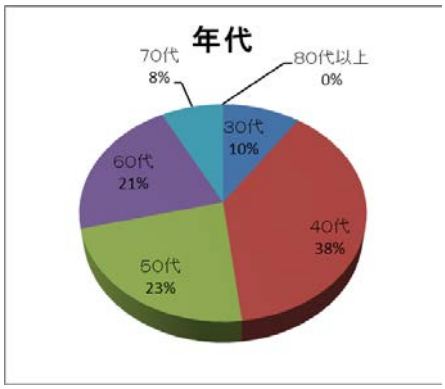
■川名まで来ている道路（計画道路横浜藤沢線）が片瀬海岸方面まで抜けるという噂を聞

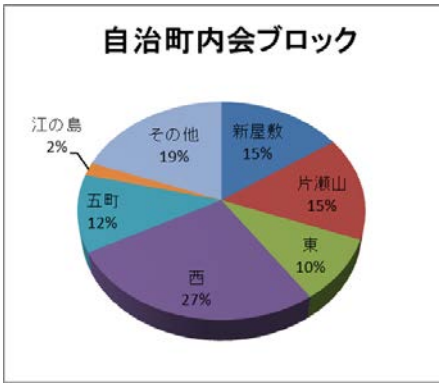
くが，進捗状況など郷土づくり推進会議ではどのように考えているのか。

片瀬市民センター：県が主体で進めている事業になり，こちらもなかなか情報がない。具体的なお話ができる状況になったときに，お伝えする場を設けていくことを市民センターが調整していきたい。

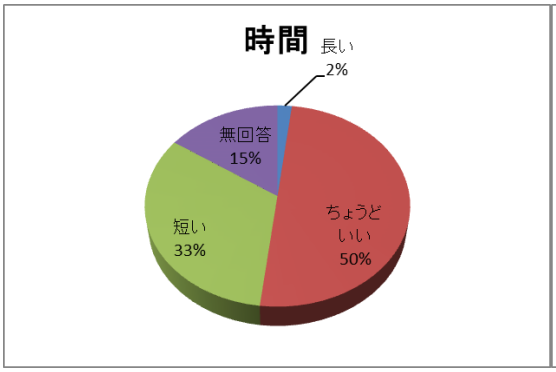
アンケート結果　　※回答者５２人／参加者７９人（回収率６６％）

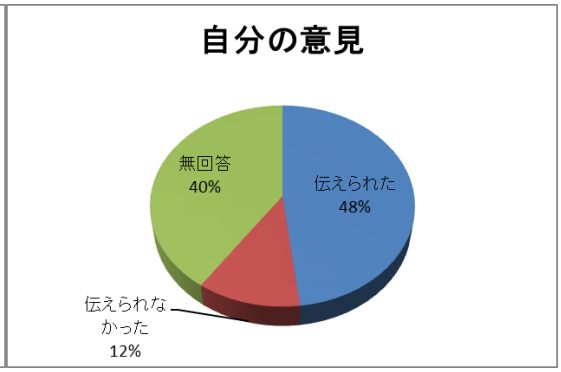
問１　年代・自治町内会について





問２　グループトークについて





◆グループトークで伝えられなかったこと

＜居場所＞

〇球と使って遊べる場所づくり。住民との調和とのためにも環境を整える（ネットの設置など）

〇外食産業店が地域の縁側に？再考を望みます。行政やボランティアがコマーシャリズムと組む必要なし。外食産業店は、子どもにとって悪い影響しかありません。学校で進めている「食育」に逆行する道です。

〇図書館をもっと有効にしてほしい。学習室の整備や夜までの開館は無理でしょうか？鎌倉市の「学校にいきたくない子は図書館においで…」などは、とても良い案だと思います。

〇片瀬山地区にも縁側を。空き家を利用してはどうか？子ども図書みたいなコーナーも設けて、世代間交流、障がい者さんとの交流もできたらいい。

〇日帰り温泉施設（茅ヶ崎）にて、中学生が夜通しいることがあるそうです。中学

生らしき子どもがいたら、警察に通報してもよいと思います。ぜひカラオケやゲームセンターを含む施設への呼びかけをお願いします。PM11:00～AM4:00 の外出禁止は野外だけでなく、”家以外の場所”ととらえてほしいです。

〇子どもの居場所について話し合いたいと参加しました。

・市長が依然より進めている多世代型縁側事業地域ささえあいセンターを増設する際に、子どもも利用できる前提で作ってほしい。

・海岸サイドに子どもの集える場所がないことから山本公園に手を入れるときには、子どもの立場に立って改良をしてほしい。子どもの家の様なものでなくとも「屋根のある公園」という感じのものが良いと思う。幼児からお年寄りまでが自由に居られる場所。雨でも居られるところ。もし、学童を作るなら、鎌倉市のように学童に一般児童も自由に出入り出来るようにしてほしい。学童の子と他の子が遊ぶ機会が出来るし、子どもの居場所にもなるため是非検討してほしい。

＜進め方＞

〇伝えたい事をと言われたらたくさんあります。１人１回の発言時間では足りないです。

〇様々な立場から、活発な意見交換を行うことができ、良かったと思っております。もう少し時間をかけて話し合いが行うことができれば良かったと思います。

〇自己紹介がてらの意見だけしか発言できなかった。

〇「市長と話そう！」ということですが、おいそがしいと思いますが、市長にはもう少し長くいていただきたかったと思います。

＜その他＞

〇子どもに注意して苦情がこないか心配

〇勉強不足のため学ぶことが多かった。今後も学んで意見を言えるようにしたい。

〇時代が変わったこと（ゲームなど）を痛感。いろいろ問題があることを感じました。まちづくりの問題ではないと思いますが、その問題を小さい単位、地域、そして小学校、中学校各クラスでいろんな問題を話し合ってみたらどうでしょうか（PTA 参観日には多くの参加がありますが、懇談会には帰る方が多いと聞きましたので）

〇・中学校給食の実施

・片瀬小給食の食器がアルミ？古い（汚く見える）形もおかしい。食文化が豊かでない。

〇子ども会へ入会してくれる人が少なくて存続の危機です。どのようにして入会者を増やすか悩んでいます。

〇様々ないい機関があるので、もっとアピールを

◆今後とりあげてほしいテーマ

＜子どもたちに必要な環境＞

５．まちづくり地区集会について

〇ぜひ今後も継続して話し合ってほしい。
〇第 2 回の話し合いの場をお願いします。
〇今日もあがった公園について、引き続き話し合っていただきたい。
〇子育てや子どもの育つ環境については、とても大切な事なので、更に充実した話し合いの場となり、結果の出るようになるといいと思います。
〇子ども関連はテーマとしてよかった。ただ、もう少し絞ってもいいかも。「公園」に特化する、とか。そのうえで、自分は何ができるか、各々に述べさせるなど。
〇放課後の過ごし方について、子ども自身の声が聞いてみたい。
〇子どもの居場所（小学生の親なので）
〇空き家対策として高齢者や子どもの居場所利用等を考えていく
〇子どもの遊び場に絞って、空き家 or 市民の家があるので、この方面からの活用も検討を進めてほしい。
〇寺小屋事業
〇貧困、子ども、老後含めて片瀬に貧困者がいないと思うのは大間違い！居場所を提供して、そこに集まる子どもはまだ健全。他の子どもをどうするか？でも居場所づくりは必要です。
〇子どもたちのいじめ問題、不登校問題、貧困問題
〇子どもと老人のコラボ
〇ゲーム、インターネット、スマホについて、年代関係なく問題が山積みなので取り上げてほしいです。
〇通学路
〇小学生について
①子どものおこずかいについて
②モールに行く時は家族と一緒にという決まりを作ってもらいたい　（子どもだけでは行かない）

＜オリンピック・まちづくり＞
〇2020 年オリンピック・パラリンピックに向けての防犯を意識した街づくりについて。街の景観意識等々。
〇町の雰囲気づくり。南部は観光に頼りすぎ

＜取り上げ方について＞
〇一般の参加者が「参加したい！」と思われること。特に WS 形式だと学びも多いと思うのでお願いしたいです。今回は子育て世代が参加し易かったので、嬉しかったです。いつもはどうしても文句大会になってしまうので、建設的でない様に感じていたので。

問３　まちづくりタイムについて
〇違年代の方との話が多く聞けて参考になりました。

５．まちづくり地区集会について

〇皆さん熱心で、良い街を作っていこうという意欲を感じました。
〇みんなの熱い思いに感心しました。
〇知らないことがわかり良かったが、もう少しゆっくり見せてほしかった。
〇自分の子どもの所属していないところの情報が聞けて、とても勉強になりました。
〇みなさんの日頃の意見が聞けて良かったと思います。
〇色々な地域の問題が知れてよかった。
〇貴重な意見交換の場をありがとうございました。次回も参加したいです。
〇とてもわかりやすかったです。こんなに色々活動しているのに、残念ながら一般（？）の人にあまり知られていない。
〇まとまっていてよかった。青少年以外に、クローズアップしたかった課題を強調しても良かった。
〇まちづくり通信は、情報発信として今後とも積極的に出してほしい。
〇地区集会の感想として
・市長の考えを聞くことができてよかった。
・グループトークで本音が言えてよかった。
・一般参加の方が増えるといいと思った。
〇多くの人から意見をすいあげる
〇意見の内容が聞き取れない所が多々ありました。
〇今日の流れのメインはグループトークだったのに、前座のまち協からのメッセージやまちづくりタイムのかなりの時間が割かれていたのは残念だった。
〇初回という事で説明部分が長く、話し合いの時間が無かったのが残念。ほぼ自己紹介をかねての意見だけで終わってしまった。
〇テーマとあまり関係ないことしか話せなくて、申し訳ありません。
〇都心部の町の変化と比べると、片瀬地区の変化が大変遅い様に思うのは私だけでしょうか。民間の力も必要であると思うが、市も特区の様なもので変化と促進を考えてください。

問４　日頃感じている地域の課題・意見

＜居場所＞

〇山本公園の工事の回覧板が回りましたが、その後の情報がありません。子どものいる親としては、デッキや高い建物ができるよりも、ちょっとした屋根やテーブルなどがあるものが数か所にある感じのほうが、そこにお年寄りの方と子どもとが交わる事もあるのかなと思います。
〇子どもの放課後居場所、身体を動かす機会の減少⇒成長に及ぼす影響について
〇ボール遊びができると場をつくっていただきたい。
〇ぜひ、公園の使用について良い方向へ進んでほしいと思います。（子どもたちが楽しめる）

５．まちづくり地区集会について

〇・子どもの居場所を検討する中で、地域ささえあいセンター（北口、よろしくまるだい等）とのコラボで、今後増やしていってほしい。

・山本公園の集会所のその後はどうなっているのか？

〇山本公園のその後どうなっているのか。学童が出来るといううわさは本当なのか？市長がグループに居られた時間が少なすぎ意見交換にならず、市長のパフォーマンスにしか見えなかったのが残念。

＜ミニベンチ＞

〇まちかどミニベンチを諏訪神社正面左側に設置していただきたい。江の島に帰る子どもたちが居る場所が狭く、通行人のじゃまにもなり危険。桜の名所でもあり、諏訪神社内にベンチがあればと願います。

＜生活道路の安全向上対策＞

〇小学校・中学校へのスクールゾーンについて、緑と白のラインは大変良い。湘南海岸公園駅付近は道幅狭く危険。そちらも配慮してほしい。また、街灯の整備、草木、大雪の時の雪かき…細かい事ですが、意外と重要です。

＜住環境＞

〇オリンピックに向けての整備はいいが、その後、住みやすい街づくりを視野に入れて

〇2020 年のオリンピックに向けても街の景観を意識した環境づくりが出来ていないのではないか。

〇観光客との共生

〇片瀬山は風致地区で制限があるのですが、空き家も目立ってきているので、高さ制限は残して、もう少し小さな面積（分割）で家を建てられるといいと思っています。そうすれば、若い方も購入できるかもです。何と言っても人が増える事がいいと思うので。せっかくの片瀬山の環境も守りたいのですが・・・。

〇川名←→海岸への新道路建設については、多くの住人が不安に感じていると思います。ぜひ、話し合い、情報の場を十分に設けて頂きたい。

＜その他＞

〇私は社協の高齢者の活動を中心に行っているので、「いきいき長寿プラン藤沢」の展開を推進してほしい。

〇・世代間の交流

・ボランティアに参加する人の掘り起し

〇子どもと関わる施設関係者として参加させていただきました。日頃から片瀬地域の皆様が子どもたちをあたたかく見守ってくださることに感謝しています。

〇たくさんのサポートがあり、感謝している。

〇パトロールや子どもの下校時間の見守り、いつもありがとうございます。感謝しています。地域に見守られながら、子どもが成長しています。

５．まちづくり地区集会について

〇小さな子どもに、もう少しあたたかい目で見守っていただけると嬉しいです。
〇運営、準備ありがとうございました。
〇今日参加して、地域の課題の共有性の大切さを強く感じました。参加したくさんのご意見をお聞きすることができ、有意義な時間でした。ありがとうございました。
〇いつも参加するメンバーが似たりよったり。どうしたらもっと多くの人に周知し、参加してもらえるのか。回覧だけでは限界？地域によって課題は違う。市民の家でミニ集会は可能か？

総　括

このたびの地区集会を開催するにあたり，市長との意見交換という機会を捉え，参加者の拡大を図ることも狙い，地域課題の検討を深め，解決の方向性を探る場としての企画を組み立ててきました。また，これまでの地区集会の反省点を踏まえて，参加者が気軽に参加でき，かつ，発言できることを目標に，参加しやすいテーマ設定や意見を出しやすいグループトーク手法を取り入れるなどの検討を重ねてきました。

その結果，市長等理事者が各グループを訪問し，短い時間ではありますが参加者と直接顔を合わせながらの意見交換ができる運びとなり，関係課の市職員や教職員も同席し議論に加わっていることから，多様な意見が積極的に出されてきました。

このことは，アンケートからも窺うことができ，グループトークの時間についての評価が，長いが２%，ちょうどいいが５０%，短いが３３%となっていて，また，自分の意見が伝えられたかどうかの評価については，伝えられたが４８%，伝えられなかったが１２%となっていることと自由記述の内容も併せて判断すると，時間はやや短かったものの自分の意見は伝えることが概ねできたという評価と捉えています。

特筆すべきは参加者の年代層にあり，３０代が１０%，４０代が３８%，５０代が２３%と全体の７割強を５０代までのいわゆる子育てや仕事の現役世代で占めていることです。これまでの集会では４分の１にも達しなかったこの世代が，まちづくりの集会に参加してきたことは，機微なテーマの設定で関心層が若手に集中したとはいえ，身近な地域でのテーマを取り巻く実情や取り組みの一端を五感で知ることができた貴重な機会であったと言えます。

五感という意味では，ドリップで淹れた薫りの高いホットコーヒーと香ばしい手焼きのクッキーをスタッフが用意し，委員も徹底してホスト役に努めたことは，結果として場が和み，意見交換がスムーズに進んで盛会につながったものと評価しています。

そして，普段はまちづくりや地域活動との関わりが少ない地域の方にも参加していただくことができ，参加者同士が本音で意見を出し合い，自分たちの住むまちの課題についての解決の方向性を一緒に探っていくという，短くも共有・共感できる時間を持てたことで，まちづくりへの参加体験ができたものと考えています。

このことは，今後，自分ができるものがあったら，考えて行動しよう，あるいはま

ちづくり事業や地域活動に参加しようというきっかけづくりになったものと思います。

古くは地区集会が市民対行政という構図のもとに，一方的に要求要望をしていく場のイメージが強調されてきた感がある中，今回のように企画の工夫により，実は市民参加の新たな機会づくりの場・ツールとなりえる可能性・重要性があることをしっかりと認識し，ワークショップなど様々な手法を今後も研究・活用するとともに，さらに魅力のある地区集会となるよう，今後も実施方法やテーマ等企画の充実を継続して検討していく必要があると考えております。

<<平成 27 年度第 2 回>>

日　時　　2016 年 2 月 27 日（土）13 時 30 分～15 時 36 分（126 分間）

会　場　　片瀬市民センター　2 階ホール

参加者　　74 人（市民 41 人（江の島・藤沢ガイドクラブ 5 人含む），委員 18 人，郷土文化推進部会協力員 3 人，郷土歴史課 1 人，市民自治推進課 3 人，事務局 8 人）

内　容

－１　開会（13:30）　司会：徳江副会長

－２　会長挨拶

－３　片瀬・江の島まちづくりトピックス（13:35）　ナレーター：徳江副会長

※平成 27 年度まちづくり活動のトピックス報告

－４　400 年の蔵出しワークショップ（13:45）　　案内人：杉下協力員

テーマ　片瀬・江の島マニア大集合！郷土魅力をとことん語り合おう

（１）水先案内　※進め方，郷土魅力の事例紹介等導入情報

（２）グループトーク　※途中でブレイクタイムあり（情報・人交換）

（３）トーク紹介

（４）今後に向けて

－５　その他（15:25）　※まちづくりに関する情報提供（市民自治推進課）

－６　閉会（15:36）

意見の概要

＜ワークショップでの意見＞

〇昔の片瀬・江の島に関する脈々と受け継がれる郷土歴史について

江の島の歴史，集落の歴史，一遍上人の地蔵堂，龍口寺一帯の歴史，境　　川新屋敷橋付近の片瀬みなと，江戸時代の幕府鉄砲場，龍口寺の穴ぐら，江ノ電敷設の歴史，龍口園遊園地，乃木大将像，ラジウム鉱泉と西浜銀座，目白山のメジロ，諏訪神社横のため池，片瀬小学校前の牧場，片瀬山の砲台，昔の江の島道，正月の餅つき，海の砂浜，川での遊び，地引き網など

〇日常生活から感じる魅力について

地域を大切に思う心あたたかい人が多い，交通の便が良い，気候が暖かい，海産物

がおいしい，地域活動が盛んで毎日充実している，戻ってくるとホッとするなど

〇多くの人に知ってもらいたい魅力について

全国の諏訪神社の中でも上社下社があるのは片瀬だけ，江の島の弁財天は女神ゆえやきもちで別れさせる言い伝えにある真実など

〇時代によって変化するおまつりについて

屋号により太鼓のたたき方やリズムの微妙な違い，諏訪神社例大祭は昔 7 月に行われていたが忙しいため現在の 8 月になった，諏訪神社のおまつりは上社・下社と 1 年ごと交互に行われていた，町内会ごとに御神輿を自分たちで作り担いでいたことや公民館まつりでも御神輿があったのはおまつり好きの人が多い象徴など

〇さらに魅力のあるまちにするための意見

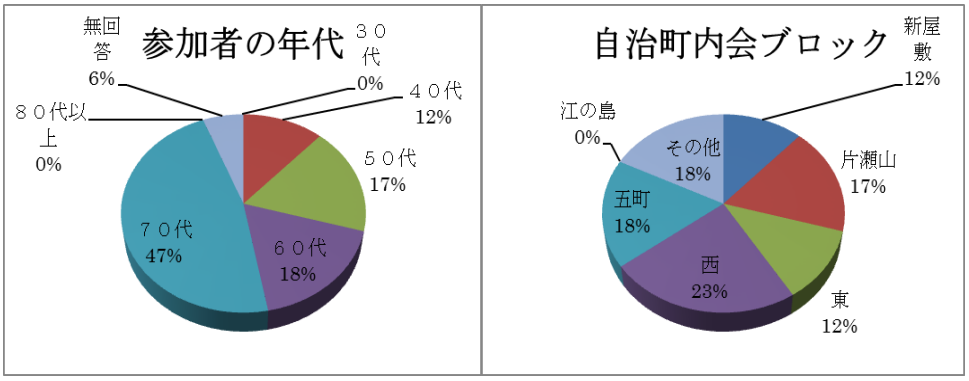
屋号を残していくことは大事，インフラの整備を，マスコミへの PR で観光客誘致を，前回のオリンピックで地元民は関わることができなかった反省から江の島を良くする会ができた，「ぼたもち」をキーにまちおこしを！，富士山の見え方がとても綺麗なので片瀬・江の島ビュースポットの周知を，絶景スポット 10 を，近隣の鵠沼や鎌倉とのタイアップ，江の島道は片瀬地区だけではない，江の島以外の商店街が少し寂しいなど

＜ワークショップ案内人まとめ＞

言い足りなかったり，十分聞けなかった話題やテーマについては，今後地域で研究会を立ち上げたりとか，ワーキングを行ったらもっと面白くなる。ひとつの短期の目標としては東京オリンピックがあるので，世界中から来た方々にこの片瀬地区の魅力をしっかりお伝えをし，このまちは素敵だという思い出を持って帰っていただけるようなまちづくりになるように，今後も力添えをお願いしたい。また違った形で議論の場を作っていきたい。

アンケート結果　　※回答者１７人／参加者４１人（回収率４１％）

問１　年代・自治町内会について



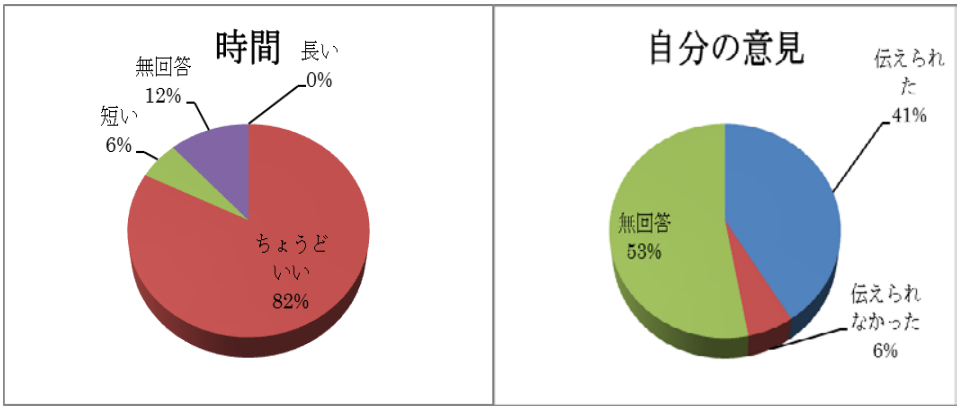
問２　今回の地区集会をどこで知りましたか

回覧 7 人，市民センター1 人，町内会掲示板 1 人，人から 1 人，他 7 人

問３　第一部まちづくりトピックスについて

〇ご苦労さま。がんばって下さい。
〇歴史が好きです。身近な歴史はさらに好きです。今日、お聞きした事をまたネットや図書館の資料室で調べたいと思いました。
〇判りやすかった。
〇片瀬地区の事が今まで以上に知ることができた。富士山の美しいまち。高齢者のために江の島灯台からの下りのリフトがほしい。
〇このビューのすばらしさを思う時、やはり片瀬は観光の地としてを基に様々な展開・発展があれば良いのかなと思います。
〇緑と花いっぱい推進事業について。「事業の今後の方向性」については活動主体の団体と事前の話し合いをしましたか。
〇短い時間の中でも活動の詳細がわかり、とてもよくまとまっていたと思う。
〇まちづくり事業のチェック、見直しを行い、つぎに前進。
〇多方面に多くの方が参加していることを知りました。

問４　グループトークについて



◆このワークショップについて
〇昔から片瀬に住んでいる方の「証言」は貴重ですね。今日の話を記録として残していただければと思います。旧地名（東り町、下の谷など）をおまつりの時だけではなく、何かの形で残していければと思います。
〇小グループの話し合いの形はとてもいいと思いました。身近な感じで。
〇昔の片瀬の話を沢山聞くことができて楽しかったです。40～50 年前のまたは昭和初期などの片瀬の地図が欲しいと思いました。話が出来て、また聞くことができ楽しかったです。

◆今後とりあげてほしいテーマ
〇私は片瀬が好きな外部（善行）の人間なので、名所、旧跡、観光関係をとりあげてほしい。
〇「江の島道」このまま残して欲しい。
〇防災計画の現状（3.11 から 5 年後の成果を発表してほしい。）

５．まちづくり地区集会について

〇すみやすい（安心して）地域にするために。

〇昭和 39 年の東京オリンピックの時の状況や取り組み。2020 年のオリンピックに向けて今後の取り組み。

問５　日頃感じている地域の課題・ご意見について

〇川名～片瀬・鵠沼間の道路建設計画は進んでいますか。それとも中止？

〇地域活動に参加する方に若手 30～50 代が全くいない。本日もそうでした。どうしたら若い人の参加出来るのか討議が必要です。

〇土日の交通混雑の解消を考えてほしい。

〇片瀬は良い！村岡地区からの出席でしたが、大変楽しいひとときでした。

〇生活道路の安全対策を。

〇車の交通量の多い道には歩道を（拡幅して）。

〇30㎞道路には車用段差を（スピードオーバーが困難になるように）。

〇川の道路の管理、県・市・警察の範囲がわからない。

〇山本橋～弁天橋間はマナー・ルールとして自転車通行できないと思うが今はフリーで危ない。

問６　その他，まちづくりの活動について

〇新しい血を入れる。

〇楽しいのでまた参加させていただきたいと思いました。

〇片瀬みなとには標のようなもの建ててください。

総　括

このたびの地区集会については，歴史と文化の豊富な片瀬地区の郷土魅力をひとつでも多く掘り起し，次世代へ繋いでいくことをひとつの地域課題としてとらえる中，片瀬地区を好きな方・関心のある方が集まって話し合うことで，あらためて地域の良さを知り，新しい繋がりや仲間づくりのきっかけになる場として設定したものです。

開催にあたっては，これまでの地区集会の反省点を踏まえて，次の事項に留意しました。

１）報告は短時間とし，意見交換に少しでも多くの時間を配分できる工夫をする。

２）参加者が意見を出しやすい工夫をする。

３）この場だけで終わらず，次の活動（課題解決や提案）につなぐ工夫をする。

以上の３点について検討を重ねた結果，次の手法をとることで一定の成果を得ることができました。

１）報告は，直近の地区集会でも採用してきたように，活動の様子を撮りまとめてきた写真を活用して動画風に仕立て，説明をナレーションとして加えました。さらに，時間を生み出す点とともに，まちづくりに関心がない人（予備知識がないまま参加している人）にも飽きさせないようにもするべく極力短めに編集し，今回は

概ね８分間程度としました。

結果，短時間でよくまとまり，わかりやすかったという意見もアンケートでいただき，効果があったものと評価しています。

一方，きちんとまちづくり事業等の活動内容を伝える工夫として，活動報告集という冊子資料を作成し，当日配付して自宅に持って帰ってからゆっくり読んでいただくようにしました。そして，なにかご意見やご感想があればアンケートで提出していただくように，アンケートの回収期限も１週間ほど設定いたしましたが，結果，集会翌日以降のアンケート提出は皆無でした。このことは，思惑がはずれてしまったものと反省しています。むしろ，当日にアンケートを記入する時間をしっかり取った方が，回収率は上がるものと思われます。

２）これまでのワークショップのようにグループトーク形式とし，班ごとに進行役と書記を設定しました。前回の地区集会では，１グループあたりの人数が多かったため，なるべく少人数グループとなるように設定し，当日飛び入りの参加者については，委員の参加を柔軟に変えていくことで対応することとしました。

また，今回は郷土文化という点からある程度は専門的知識も必要となるだろうという予測のもと，江の島・藤沢ガイドクラブに協力をお願いし，各班へおひとりずつ入っていただきました。その結果，意見交換のもとになるネタを提供していただいたり，出た意見を拡げたり深めたりという点で，専門家の参加は大変有効でした。さらに，市郷土歴史課職員にも同席願い，フォローをしていただきました。

今回はもうひとつ工夫し，ワークショップ全体の進行を行う「案内人」という役を設定しました。これは，テーマからそれずにスタートできるように導入としての「水先案内」を行うことと，途中で各班から出ている意見や情報の共有，場合によっては人の入れ替えも含めた「空気の入れ替えタイム」を置き，この采配を行うこと，最後に意見・情報を集約し，次のステップや活動へ向けた導きを行うことを役割としたもので，この位置づけは大きな効果があったものと評価しています。いわゆるファシリテータとしての機能でもあり，技術や経験のない人が急にできるものではありませんが，幸いにもまちづくり事業の協力員に適応できる方がいらっしゃいましたので，お願いしてうまく進行していただけました。ほかのテーマで今後同様の形式を採用する場合は，ＮＰＯ等の専門家への依頼も視野に検討した方がよいと思われます。

３）この点については，案内人から最後のまとめで示唆していただきましたが，参加者から自発的に研究会やワーキングのような活動が始まれば支援（会議室等活動の場や情報提供等）を行い，また，協議会の郷土文化推進部会の活動への参加（協力員等）希望があれば受け入れも行うことで，協議会としても活動の裾野が拡がるものと期待しています。

以上の新しい手法を取り入れながら，まちづくりで扱うものとしては珍しいとも

５．まちづくり地区集会について

言えるテーマのもとに開催した今回の地区集会では，普段はまちづくりや地域活動との関わりが少ない方たちにも参加していただくことができ，参加者同士が共通の話題で意見や情報を出し合い，自分たちの住むまちの良さや課題について一緒に探っていくという，短くても共有・共感できる時間を持てたことで，まちづくりへの参加体験ができたものと考えています。これを機会に，次の地区集会があればまた関心を持って見ていただけることにもなり，少しずつでもまちづくり・郷土づくり・地域づくりへの関心層が拡がっていくものと期待します。

なによりも帰り際の参加者の様子が，まさに満面の笑顔と感謝の言葉で溢れており，こういった地区集会は初めてであったのではないかという印象を持ちました。今後も様々な方にご参加いただき，喜んで自発的に自分たちの住むまちについて一緒に考えていける場になるよう工夫を重ねていきたいと考えています。

６．来年度活動へ向けて

協議会としては，ここまでの平成 27 年度活動を振り返り（P.106～107 郷土づくり推進会議及びまちづくり事業に対する課題等について（委員意見要約）を参照）ながら，次の点を運営課題のポイントとして認識するとともに検討を行っております。

（１）協議会組織の改編
（２）まちづくり事業の精査
（３）地域課題の今後の取り扱い

この３点については，検討を進め，４月以降にその結果を平成２８年度計画として運営の方針をお示ししてまいります。引き続き，協議会活動に対するご意見・ご提案をお寄せくださいますようお願いいたします。

以　上

参考資料

平成 27 年度片瀬・江の島まちづくり協議会

参考資料

片瀬・江の島まちづくり協議会（片瀬地区郷土づくり推進会議）

平成27年度　委員名簿

（敬称略，順不同）　　平成27年4月20日現在

No.	役職	氏　名	選出母体等
1	会　長	長谷川　紀夫	片瀬地区自治町内会連絡協議会
2	副会長 人材・情報バンクセンター運営委員長	犬山　聡彦	公募
3	副会長 ボランティアセンター運営委員会会長	杉山　義子	片瀬地区社会福祉協議会
4	副会長 青少年健全育成部会長	波多　善子	片瀬地区青少年育成協力会
5	副会長 公民館活用部会長	田村　順子	片瀬公民館評議員会
6	副会長 まちづくり推進部会長	原　英夫	片瀬市民スポーツの会
7	副会長 郷土文化推進部会長	畠山　義昭	江の島振興連絡協議会
8	副会長 地域広報部会長	徳江　紀子	公募
9		依藤　光雄	片瀬地区商店会
10		高木　誠四郎	片瀬地区防犯協会
11		田中　誠治	片瀬地区自主防災協議会
12		常泉　孝子	片瀬地区民生委員児童委員協議会
13		長坂　訓子	片瀬地区青少年支援フォーラム
14		高橋　洋児	片瀬地区交通安全対策協議会
15		三觜　由見子	片瀬地区子ども会連絡会
16		村越　てる美	片瀬地区生活環境協議会
17		小池　トシミ	片瀬公民館サークル連絡会
18		岩田　克美	片瀬地区老人クラブ連合会
19		阿井　丈夫	公募
20		青木　美和子	公募
21		石倉　保男	公募
22		岡田　昇	公募
23		福島　規惠	公募
24		藤田　文康	公募

●平成27年度片瀬・江の島まちづくり協議会（片瀬地区郷土づくり推進会議） 部会名簿

部会			まちづくり事業		
No.	部会名	部会構成委員	事業名	事業実施構成員（協力員・委員）	事業単位人数
1	**人材・情報バンクセンター運営委員会**	委員長： 犬山聡彦委員(公募) 副委員長： 徳江紀子委員(公募) 部会員： 長谷川紀夫委員(自治連)，杉山義子委員(社協)，波多善子委員(青少協) 5 人	人材・情報バンクセンター事業	協力員： 小山田知子協力員，柳田あゆ協力員 2 人 委員： 左記部会構成委員 5 人	7
2	**ボランティアセンター運営委員会**	部会長： 杉山義子委員(社協) 副部会長： 田村順子委員(公民館評議員会) 部会員： 藤田文康委員(公募)，波多善子委員(青少協)，三嶌由見子委員(片子連)，常泉孝子委員(民児協) 6 人	ボランティアセンター事業	協力員： 山口絢子協力員，正田恵美子協力員，松本庸子協力員，新見正彦協力員，甘粕忠雄協力員，鶴見昭子協力員，堀口幸子協力員，高橋豊子協力員，青山千恵子協力員，村紀子協力員，小堀暢子協力員，三輪藤子協力員，有本由美子協力員，松本真理子協力員，菅原智栄子協力員，関根康江協力員，長沼牧人協力員 17 人 委員： 左記部会構成委員 6 人	23
			まちかど相談事業	協力員： 同上 17 人 委員： 左記部会構成委員 6 人	23
3	**青少年健全育成部会**	部会長： 波多善子委員(青少協) 副部会長： 三嶌由美子委員(片子連) 部会員： 長坂訓子委員(フォーラム)，犬山聡彦委員(公募)，石倉保男委員(公募) 5 人	青少年居場所事業	協力員： 塚田尚子協力員，青木博子協力員，富山渉協力員，折原美知子協力員 4 人 委員： 左記部会構成委員 5 人	9
			青少年ボランティア活動支援事業	協力員： 同上 4 人 委員： 左記部会構成委員 5 人	9
			小学生夏休みふれあい事業	協力員： 同上 4 人 委員： 左記部会構成委員 5 人	9
4	**公民館活用部会**	部会長： 田村順子委員(公民館評議員会) 副部会長： 青木美和子委員(公募) 部会員： 徳江紀子委員(公募)，三嶌由見子委員(片子連)，小池トシミ委員(サークル連絡会) 5 人	公民館活用事業	委員： 左記部会構成委員 5 人	5
5	**まちづくり推進部会**	部会長： 原英夫委員(スポーツの会) 副部会長： 高木誠四郎委員(防犯)，田中誠治委員(自主防) 部会員： 村越てる美委員(生環協)，常泉孝子委員(民児協)，依藤光雄委員(商店会)，高橋洋児委員(交対協)，岩田克美委員(片老連)，田村順子委員(公民館評議員会)，阿井丈夫委員(公募)，岡田昇委員(公募) 11 人	生活道路の安全向上対策事業	委員： 左記部会構成委員 11 人	11
			緑と花いっぱい推進活動事業	委員： 左記部会構成委員 11 人	11
			まちかどミニベンチ設置事業	協力員： 若林直美協力員 1 人 委員： 左記部会構成委員 11 人	12
6	**郷土文化推進部会**	部会長： 畠山義昭委員(江の島振興連絡協議会) 副部会長： 福島規恵委員(公募) 部会員： 青木美和子委員(公募) 3 人	民俗文化財等継承事業	協力員： 杉下由輝協力員 1 人 委員： 左記部会構成委員 3 人	4
			江の島道の整備事業	協力員： 大串兎紀夫協力員，金子皓協力員 2 人 委員： 左記部会構成委員 3 人	5
7	**地域広報部会**	部会長： 徳江紀子委員(公募) 副部会長： 犬山聡彦委員(公募) 部会員： 長谷川紀夫委員(自治連) 3 人	地域広報事業	委員： 左記部会構成委員 3 人	3

部会構成委員・延べ人数 38 人　　事業実施構成員・延べ人数 131 人

平成27年度片瀬・江の島まちづくり協議会　課題別検討ワーキング名簿

地域課題		ワーキング・メンバー
1	市民の家の利便性向上課題	（休止）
2	廃屋への対応課題	座長：　岡田昇委員（公募） 委員：　藤田文康委員（公募），高木誠四郎委員（防犯協会），原英夫委員（スポーツの会），畠山義昭委員（江の島振興連絡協議会），青木美和子委員（公募），福島規恵委員（公募） 協力員：　鈴木みどり協力員（株式会社サンヨーホーム），武井紀子協力員（株式会社サンヨーホーム），落合協力員 １０人
3	ごみの持ち帰り，ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題	座長：　三觜由美子委員（片子連） 委員：　村越てる美委員（生環協），福島紀恵委員（公募） ３人
4	小学生の居場所課題	（青少年健全育成部会扱い）

まちづくりボランティア 協力員さん大募集！

ボラセン スタッフ

お手伝いしながら元気をもらえます！

スタッフの交流会もあります！

ボランティアセンターで行っている，赤ちゃんから高齢者の居場所で、利用者のお世話をお手伝いしてくださる方

青少年サポーター

養成講座もあります！

片瀬しおさいセンターにおいて，青少年の見守り活動へ参加してくださる方

文化普及 スタッフ

イベントでPRのお手伝い

片瀬こまや**片瀬餅つき唄**保存・普及活動のお手伝いをしてくださる方

大会や発表会の裏方さん

ミニベンチ スタッフ

候補地の調査・選定などをお手伝いしてくださる方

江の島道 整備スタッフ

歴史の薫り漂う旧道沿いに拡がる道標や遺跡の調査や整備のお手伝いをしてくださる方

広報スタッフ

まちづくり通信やポータルサイトの記事の取材・編集をお手伝いしてくださる方

取材のお手伝い

記事の入力

お問い合わせは，片瀬市民センターへ（0466-27-2711）

平成26年度片瀬地区地域まちづくり事業費決算報告

No.	事業名	予算額	執行額	執行率
1	人材・情報バンクセンター事業	1,520,000	1,520,000	100.0%
2	ボランティアセンター事業	別途市補助金で運営		
3	まちかど相談事業	196,000	196,000	100.0%
4	青少年居場所事業	408,000	408,000	100.0%
5	小学生夏休みふれあい事業	別途予算（消耗品等）にて試行		
6	青少年ボランティア活動支援事業	0	0	
7	公民館活用事業	0	0	

No.	事業名	予算額	執行額	執行率
8	まちかどミニベンチ設置事業	50,000	49,999	99.9%
9	生活道路の安全向上対策事業	945,000	945,000	100.0%
10	緑と花いっぱい推進活動事業	52,000	49,156	94.5%
11	民俗文化財等継承事業	0	0	
12	江の島道の整備事業	780,000	462,240	59.3%
13	地域広報事業	別途予算(印刷費，消耗品等)		
計		3,951,000	3,630,395	91.9%

平成27年度片瀬・江の島まちづくり協議会委員一覧

役職	氏　名	選出母体等
会長	長谷川　紀夫	片瀬地区自治町内会連絡協議会
副会長	犬山　聡彦	公募
副会長	杉山　義子	片瀬地区社会福祉協議会
副会長	田村　順子	片瀬公民館評議員会
副会長	波多　善子	片瀬地区青少年育成協力会
副会長	畠山　義昭	江の島振興連絡協議会
副会長	原　英夫	片瀬市民スポーツの会
副会長	徳江　紀子	公募

氏　名	選出母体等
依藤　光雄	片瀬地区商店会
小池　トシミ	片瀬公民館サークル連絡会
高木　誠四郎	片瀬地区防犯協会
田中　誠治	片瀬地区自主防災協議会
常泉　孝子	片瀬地区民生委員児童委員協議会
長坂　訓子	片瀬地区青少年支援フォーラム
高橋　洋児	片瀬地区交通安全対策協議会
三嶺　由見子	片瀬地区子ども会連絡会

氏　名	選出母体等
村越　てる美	片瀬地区生活環境協議会
岩田　克美	片瀬地区老人クラブ連合会
阿井　丈夫	公募
青木　美和子	公募
石倉　保男	公募
岡田　昇	公募
福島　規惠	公募
藤田　文康	公募

あいさつで地域の人とつながろう！

平成24年度あいさつ運動推進標語
中学生の部優秀賞　中村結花さん

片瀬・江の島まちづくり協議会

まちづくり通信

第十六号
発行日　2015年(平成27年)6月10日
発　行　片瀬・江の島まちづくり協議会
発行人　長谷川 紀夫
事務所　片瀬市民センター内
0466-27-2711 FAX0466-25-8907
Kata-c@city.fujisawa.kanagawa.jp
片瀬地区ポータルサイト

特集　市長との意見交換を行いました！

片瀬・江の島まちづくり協議会では，5月25日に郷土愛あふれる藤沢について 協議会委員と市長等との意見交換を行いました。

片瀬･江の島まちづくり協議会(片瀬地区郷土づくり推進会議の通称。以下,「協議会」といいます。)では，今後の活動を進めていくうえで，片瀬･江の島地域の課題を中心に市の考え方や方向性を改めて確認するため，5月25日(月)に協議会委員と市長等市理事者との意見交換の場を設け，協議会委員21人，鈴木市長，石井副市長,藤間副市長,渡辺市民自治部長が同席する中，約1時間に渡り中身の濃い意見交換を行いましたので，ご報告いたします。

市長を囲み活発な意見交換

<<意見交換の概要>>

■子どもの居場所課題について

［委員］児童クラブの整備計画について。

［市］片瀬地区は現２箇所に２箇所を追加予定。場所はこれからの検討。

［委員］子ども達の居場所へ活用を。

［市］見守り等地域の担い手が重要。児童クラブは子どもの２割が利用，他８割の居場所も含めて，多世代が集う等色々な形で考えて良いものにしていきたい。

■ 超高齢地域としての課題について

［委員］空き家対策は，市民が相談できる窓口が重要。関係課の連携はどう図るのか。

［市］切り口が多く対策も部門をまたがるので，相談窓口を作り，横断的に対応できる組織の検討を進めていきたい。

［委員］市空き家対策計画の状況について。

［市］ガイドラインを年度内にお示ししたい。

［委員］適切に管理されていない空き家等が，生活環境に与える影響は大きいので，市として問題に向き合い，積極的な関与を。

［委員］高齢者や障がい者等への配慮の点でモノレール駅のエレベーター設置等のバリアフリー対応を要望したが，報道によると売却話も出ており，反映されるか心配している。

［市］確認したところ，営業や駅改修検討等は継続するとのこと。市としては，経過を見守り状況により申し入れを行っていく。

■地域防災課題について

［委員］モノレール駅や西浜公園管理棟，下藤が谷ポンプ場への津波一時避難所設置に期待。日ごろから集える居場所にも活用を。

［市］避難場所設置に向けてモノレールへ働きかけをし，ポンプ場にはどういう形で作ることができるのか考えたい。公園管理棟の有効利用は，居場所等様々な要素があるので，地域の意見を尊重しながら考えていきたい。

［委員］片瀬しおさいセンターは地域の防災避難所としても期待。昨年台風の避難状況からも備蓄等整備を進めていく必要がある。

［市］状況を受けとめ，どうすればよいか，備蓄等も検討していかないといけない。地域にとって大事な場所という認識はある。

以上の意見交換を踏まえ，協議会としても地域課題等への取り組みを一層活発にし，郷土づくりの活動を充実していきますので，今後ともご参加やご協力をお願いいたします。

片瀬・江の島まちづくり協議会　平成27年度計画のご案内

活動項目			スケジュール／活動内容			
分野		まちづくり事業／地域課題	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
地域コミュニティの推進	地域活動の活性	片瀬地区人材・情報バンクセンター事業	地域の活動と人材をつなぎ地域の活性化を推進するため，市民センターに人材・情報バンクセンターを設置し，情報収集，登録者・情報の蓄積，コーディネーターによる相談・コーディネート，情報発信（広報紙・ポータルサイト），参加のきっかけづくり（講演会等イベント開催）を実施			
		青少年ボランティア活動支援事業	青少年の成長を応援するため，地域のボランティア活動への参加支援の企画と準備	ボランティア支援（龍の口 竹灯篭へ参加予定）		
	居場所づくり	ボランティアセンター事業	高齢者等の居場所づくりとして「居場所・ひだまり」や子育て支援の場として「かたせ・にこにこ広場」を実施（地域出張型の子育て支援の場や各季節に応じたイベントも開催）			従事者交流会
		青少年居場所事業	片瀬しおさいセンターを利用した青少年の居場所づくり（毎週水曜・金曜の夜間），青少年を見守るサポーターの配置，サポーター養成研修を実施			
		小学生夏休みふれあい事業	夏休み中に公民館へ集う小学生の見守りや学習支援の企画と準備	おもしろ塾等実施（8月20日・21日開催予定）		
		公民館活用事業	公民館事業の活性化と公民館の有効活用を推進するため，公民館施設のメンテナンス必要箇所の抽出と改修の提言，公民館事業と各地域団体事業の計画を効率的・効果的にするための調整			
		小学生の居場所課題	青少年健全育成部会を中心に解決へ向けての情報交換や方策等の検討を実施			
		市民の家の利便性向上課題	ワーキング・グループを中心に解決へ向けての情報交換や方策等の検討を実施			
		まちかどミニベンチ設置事業	ふれあいのあるやさしいまちづくりをめざし，まちかどの小さなスペースを活用したミニベンチの設置をするため，場所の調査・検討・所有者や近隣等との調整して設置工事を実施			
		まちかど相談事業	誰もが安心して暮らせる地域を推進するため，ボランティアセンターに相談場所を設置し，臨床心理士等の専門家の連携による子育て・高齢者・成年後見相談を実施			
安全・安心向上	環境向上	生活道路の安全向上対策事業	生活者の視点による道路の安全対策を推進するため，危険箇所の調査・対策を検討し，注意喚起のための交差点カラー舗装やスコッチシール等の設置，外側線歩道カラー舗装等を実施			
		廃屋への対応課題	ワーキング・グループを中心に解決へ向けての情報交換や方策の検討を行い，地区集会やワークショップ等の機会を設けて地域全体で意見交換を実施			
郷土愛の推進		緑と花いっぱい推進活動事業	観光地にふさわしい景観の確保や防犯対策・環境浄化につなげるため，江の島弁天橋植栽帯花植え等の活動を行う弁天橋花いっぱい愛好会，子ども会等ボランティア団体活動の支援を実施			
		ごみのポイ捨て等の検討課題	ワーキング・グループを中心に解決へ向けての情報交換や方策の検討を行い，地区集会やワークショップ等の機会を設けて地域全体で意見交換を実施			
		江の島道の整備事業	旧江の島道を歴史探訪の道として道標・史跡の整備を実施，生活道路として安全性の向上等環境整備を実施			
	地域活動の活性	民俗文化財等継承事業	片瀬餅つき唄保存会・片瀬こま保存会の活動発表や展示事業等の支援を実施，地域にまつわる五頭龍伝説等文化芸術に関するフォーラム等の開催や片瀬ゆかりの文化の継承・発展を図る事業を検討・実施			
		地域広報事業	まちづくり協議会の広報紙「まちづくり通信」発行，片瀬地区ポータルサイトの充実を図るとともに，地域情報の整理と共有の推進（各種イベントの実施が一目でわかるような情報集約と表示の検討）を実施			
まちづくり協議会会議等全体活動		役員会	随時，会議を開催			
		各部会・課題別検討ワーキング				
		全体会（傍聴できます）	4月23日 / 5月25日 / 6月25日	7月15日 / 8月18日 / 9月17日	10月16日 / 11月19日 / 12月15日	1月21日 / 2月18日 / 3月15日
		地区集会（どなたでも参加できます）			10月31日	2月27日
		その他	委員と市長との意見交換会 / まちづくり通信	まちづくり通信	まちづくり通信	公募委員の募集（市実施） / まちづくり通信
活動項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月

小学生対象のおもしろ塾

相談しやすい雰囲気づくり（高齢者相談のミニ講座）

片瀬こま

地域の輪
老いも若きも
あいさつから

平成24年度あいさつ運動推進標語
一般の部優秀賞　小峯穂乃さん

片瀬・江の島まちづくり協議会

まちづくり通信

第十七号
発行日　2015年(平成27年)8月10日
発　行　片瀬・江の島まちづくり協議会
発行人　長谷川 紀夫
事務所　片瀬市民センター内
0466-27-2711 FAX0466-25-8907
Kata-c@city.fujisawa.kanagawa.jp
片瀬地区ポータルサイト
http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp

江の島振興連絡協議会

江の島の発展・振興のため，島内環境の充実に取り組んでいます。

オリンピック・パラリンピック
～祝　2020年東京五輪～
セーリング競技会場決定！

■課題への取り組み■

防犯カメラの設置，津波避難路の整備，駐車場の建て替え等の対策を行っています。

民生委員児童委員協議会

民生委員・児童委員が職務を遂行するために必要な調整等の活動に取り組んでいます。

■自主研修■

福祉等の勉強会や視察研修を行っています。

■PR活動■

老人クラブ連合会等の催しに参加し，民生委員・児童委員の活動をPRしています。

公民館サークル連絡会

社会教育活動における諸問題を共有し，地域文化の振興・創造に取り組んでいます。

■音楽芸能春うららコンサートinかたせ■

■サークル交流会■

分野ごとに交流！

片瀬-市民スポーツの会

社会体育の普及により，健全で明るい地域づくりに取り組んでいます。

■ソフトボール大会■ 4月

■スポーツフェスティバル■ 6月

■かっぱまつり■ 8月

■パークゴルフ大会■ 11月

■地区レクリエーション大会■ 10月

商店会

商業振興や地域の活性化等に取り組んでいます。

■龍の口竹灯籠■ 8月

実行委員として協力

■江の島ドラゴンボートレース■ 9月

共催・協力

今回ご紹介した各団体は，片瀬・江の島まちづくり協議会へ構成委員を選出し，各団体の活動や地域課題について情報交換をしながら，課題解決に向けた方向性を検討しています。そして，ひとつの団体だけでは解決できない課題や既存の団体では扱っていない課題について，地域の特性を活かした事業を企画・実施し，まちづくり活動を推進しています。各団体の詳しい活動等の問い合わせは，片瀬市民センターへ(TEL27-2711)

地域で活躍する団体をご紹介します！

社会福祉協議会

誰もが安心して生活できるよう，地域で支え合う環境づくりに取り組んでいます。

■児童交流会■

小学生に片瀬の文化・歴史を伝承します。

■敬老会■ 9月

敬老会ではみんなで長寿をお祝いします。

■福祉バザー■ 10月

収益金は地域福祉活動に還元します。

■元気シニア■

体を動かしていつまでも元気なシニアをめざします。

青少年育成協力会

青少年の健全な育成や非行防止に取り組んでいます。

■デーキャンプ■ 7月

カレーを食べて，ゲームやキャンプファイヤーを行い，夏の思い出をつくります。

■夏期海岸夜間パトロール■ 7~8月

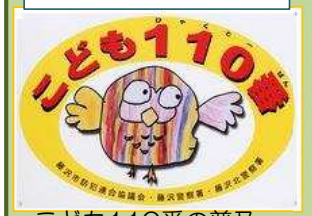
■球技大会■ 11月

防犯協会

犯罪のないまちづくりに取り組んでいます。

■防犯キャンペーン■

■こども110番■



こども110番の普及活動をしています。

自転車にひったくり防止の網をつける活動も行っています。

■安全・安心ステーションでの見守り■

こどもたちの登下校を見守る活動です。

交通安全対策協議会

地区から交通事故をなくすよう取り組んでいます。

■交通街頭キャンペーン■

事故防止のチラシ配布をしています。

■イベントでの交通事故防止運動■

■交通安全ポスター展■ 7月

片瀬市民センターで展示しています。

老人クラブ連合会

各老人クラブとの親睦と老人福祉の推進に取り組んでいます。

■歩け歩け大会■ 5月

健康のために歩きます！平成27年は片瀬しおさいセンターから新林公園まで歩きました。

■奉仕活動■

公園清掃を行っています。

生活環境協議会

環境衛生を推進し,住民モラル高揚に取り組んでいます。

■クリーン活動■ 4月

平成27年は，江の島，片瀬東浜・西浜で809名にご参加いただき，ゴミを660kg回収できました。

■さかなの放流■ 3月

■らくがき消し■

青少年支援フォーラム

学校・家庭・地域の連携により，子どもたちの成長の支援に取り組んでいます。

■地域パトロール■

徒歩や青色回転灯搭載車で地域を巡回するボランティアです。ボランティア仲間を募集しています！

■学校行事への支援■

小・中学校行事での児童の見守り等支援を行っています。

自主防災協議会

各自治町内会との連携により，地域防災力向上に取り組んでいます。

■自主防災活動の推進■

江の島，片瀬山，片瀬と地域ごとに防災訓練を実施し，防災力の向上に努めています。

■防災意識の向上・普及啓発■

平成27年は，ペットの防災講演会を実施し，ペット飼育者として必要な災害への備えなどに関する講演を開催しました。

自治町内会連絡協議会

地区住民の福祉の向上や安全で住みよい地域づくりに取り組んでいます。

■地区新年賀詞交歓会の開催■ 1月

地域の住民・各団体との交流を深め，片瀬・江の島の繁栄を誓います。

■定例会での情報交換と情報発信■

定例会では，各自治町内会会長が情報交換を行い，広報紙「自治連だより」では地域の情報を発信します。

子ども会連絡会

子どもの健全な育成発展に取り組んでいます。

片瀬地区青少年指導員・片瀬公民館との共催事業

■わくわくキッズ天国inしおさい■ 6月

子ども自身が企画運営を行い楽しむおまつりです。責任感や協調性を養う交流の場を目的として行っています。

■弁天橋の花壇づくり■

（弁天橋花いっぱい愛好会の事業に参加しています）

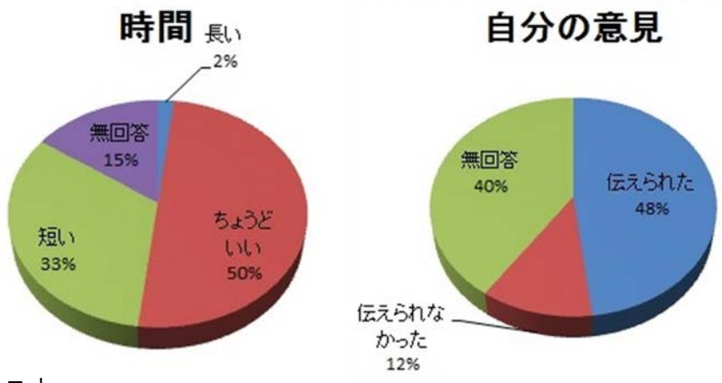
平成27年度第1回地区集会参加者

アンケート集約結果

回答者52人／一般参加者100人

参加者

グループトークについて



◆グループトークで伝えられなかったこと

○球を使って遊べる場所づくり。住民との調和のためにも環境を整える（ネットの設置など）
○フランチャイズ店の地域の縁側は再考を
○図書館学習室の整備や夜までの開館を。鎌倉市の「学校にいきたくない子は図書館においで…」は，とても良い案
○片瀬山にも縁側を。空き家を利用し，子ども図書コーナーも設け，世代間や障がい者との交流も
○市外の日帰り温泉に中学生が夜通しいる。カラオケやゲームセンターを含む施設への呼びかけを
○ささえあいセンターの増設は，子どもも利用できる前提で。
○海岸サイドに子どもの集える場所がないので山本公園に手を入れるときには，子どもの立場に立って改良を。「屋根のある公園」という幼児からお年寄りまでが自由に雨でも居られる場に。
○鎌倉市のように学童へ一般児童も自由に出入り出来るように。学童の子と他の子が遊ぶ機会が出来，子どもの居場所にもなる
○子どもに注意して苦情がこないか心配
○学ぶことが多かった　○中学校給食の実施を
○時代が変わったこと（ゲームなど）を痛感。学校各クラスで問題を話し合ってみたらどうか
○子ども会が存続の危機。どのように入会者を増やすか悩んでいる
○様々ないい機関があるので，もっとアピールを
○伝えたい事はたくさんある。発言時間が足りない
○市長にはもう少し長くいていただきたかった
○様々な立場から，活発な意見交換を行えた

◆今後とりあげてほしいテーマ

○今後も継続して話し合いを。第2回を。子育てや子どもの育つ環境について更に充実した話し合いの場となり，結果の出るようになるといい
○子ども関連はテーマとしてよかった。もう少し絞って「公園」に特化するとか。公園を引き続き話し合いを
○放課後の過ごし方を子ども自身の声が聞きたい
○子どもの遊び場。空き家対策として居場所利用を
○子ども，老後含めた貧困。居場所に集まる子どもはまだ健全。他の子どもをどうするか
○子どもたちのいじめ問題，不登校問題，貧困問題
○子どもと老人のコラボ
○ゲーム，インターネット，スマホについて
○通学路　○寺小屋事業
○小学生についておこずかいや外出の家ルール
○オリンピックに向け，防犯や景観を意識した街づくり　○町の雰囲気づくり
○一般の方が参加したいと思うこと。ワークショップ形式で。今回は子育て世代が参加し易く，嬉しかった

◆日頃感じている地域の課題・意見

○山本公園のその後の情報
○子どもの放課後居場所，身体を動かす機会の減少⇒成長に及ぼす影響について
○ボール遊びができる場
○公園の使用について良い方向へ進んでほしい
○子どもの居場所として，地域ささえあいセンターとのコラボで，今後増やして
○まちかどミニベンチを諏訪神社正面左側に設置を
○スクールゾーンの緑と白のラインは大変良い。湘南海岸公園駅付近は道幅狭く危険なので配慮を
○オリンピック後，住みやすい街づくりを視野に
○オリンピックに向けて景観を意識した環境づくり
○観光客との共生
○片瀬山の風致地区制限緩和
○計画道路横浜藤沢線の情報の場を十分に設けて
○いきいき長寿プラン藤沢の展開を推進して
○世代間交流・ボランティアに参加する人の掘り起し
○日頃から地域が子どもたちをあたたかく見守ってくださることに感謝
○たくさんのサポートがあり感謝
○パトロールや見守りに感謝。地域に見守られながら子どもが成長
○小さな子どもに，もう少しあたたかい目で見守っていただけると
○運営，準備ありがとうございました
○参加して地域課題の共有性の大切さを強く感じた。
○いつも参加するメンバーが似たりよったり。市民の家でミニ集会は可能か？

あいさつは
ハート(心)をつなぐ
魔法だよ！

平成24年度あいさつ運動推進標語
中学生の部最優秀賞　永浦愛良さん

片瀬・江の島まちづくり協議会

まちづくり通信

第十八号
発行日　2015年(平成27年)12月10日
発　行　片瀬・江の島まちづくり協議会
（片瀬地区郷土づくり推進会議）
発行人　会長　長谷川 紀夫
事務所　片瀬市民センター内
0466-27-2711 FAX0466-25-8907
Kata-c@city.fujisawa.kanagawa.jp
片瀬地区ポータルサイト
http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp/

特集　市長と意見交換しました！

片瀬・江の島まちづくり協議会では，『市長と片瀬・江の島っ子の未来を語り合おう！～いま，子どもたちに必要な環境とは～』と題して,10月31日(土)12時30分から片瀬市民センターにおいて,平成27年度第1回地区集会を開催しました。

当日は,市長や副市長,市職員等含む総勢120余人が出席し,子どもたちを取り巻く環境や現状の様々な課題等についての有意義な意見交換を行うことができました。あらためて,地域の方々のご協力をいただかないと解決できない課題であることを認識し,今後も関係団体とともに議論を継続してまいります。

最初に，片瀬地区の青少年健全育成に関する様々な取り組みについて映像でご紹介し，市長からも市全体の課題や進めていることについてのお話をしていただきました。

そして，６つの班に分かれて参加者同士のグループトークがスタート。そこに，鈴木市長，藤間副市長，子ども青少年部長，市民自治部長が順にグループを回り，参加者と意見交換・交流をしていただきました。

主な話題としては，子どもの居場所の問題，安全にのびのびと遊べる場やボール遊びができるような公園のあり方，貧困等家庭の問題で勉強が遅れている子への学習支援，子どもの放課後の過ごし方などについての意見が交わされました。

※詳細は中面をご覧ください。

■市長・副市長からのメッセージ■

グループトーク終了後に，市長と副市長から参加者へコメントをいただきましたので，概要をご紹介します。

◇−◇−◇−◇−◇−◇−◇−◇−◇−◇−◇−◇−◇

各グループを回らせていただき，生活の中からの実情としていろいろなお話が出てきましたので，行政の立場としてひとつひとつきちんと受け止め，市政を進める中で反映していくことが大切であることを痛感しました。

例えば，公園でのボール遊びについては，いろいろな知恵を出してどう使ったら公園が最大限に活かせるのか考えることが大事です。

また，学習支援については，貧困の問題がかなり関わっていますが背景は複雑で，ひとつの視点から解決しようとせず，多方面から支援していくことが非常に重要です。行政だけではできないこともありますので，地域のみなさんとの協力をどう作るのかが大きな課題です。

今日のようにお話を積み重ねていただき，行政も本音でお話をして，汗をかいたり知恵を出すことをやっていきたいと思います。

グループトークの紹介

1班

○子どもが産まれましたが，近くに親がおらず，頼れる人がいなくて不安です。一時期だけでもお手伝いをしていただける方がいてくれると助かります。
（市）市では，ファミリー・サポート・センターを設置し，子育てのサポートを受けたい人(おねがい会員)とサポートできる人(まかせて会員)が，地域の中でお互いに助け合っていく制度を実施しています。また，保育園での一時保育も実施していますので，ご利用ください。
○ファミリー・サポート・センターは認知度が低いので，もっとPRをしてほしい。まかせて会員は，登録研修の日程を分け，片瀬でも受講できれば身近で増えると思います。
○にこにこ広場をよく利用しています。片瀬山，片瀬海岸周辺にもあると良いのですが。幼稚園や公園管理事務所など既存の施設を，にこにこ広場との複合施設としてつくることはできないでしょうか。
○地区で子どもに関する講座が多く開催されていますが，主催団体が色々あり，詳細がわかりづらい。
○公園でのボール遊びは，幼児・低学年はできるように看板へ添書きを。

○公園の遊具の不具合について，看板にメールアドレスを載せることで，写真を付け連絡できるようにしてはどうか。
○地域の縁側事業で飲食店とコラボすることは，子どもたちのたまり場になりそうで心配です。

2班

○放課後に子どもが公園でよく遊んでいますが，公園内で飲酒したと思われる跡があったり，空き缶やビンが散乱して危険を感じます。
○小学生から高校生の子どもたちの居場所がなく，市全体で若い世代を育てる事業を考えていく必要があります。
○片瀬子どもの家から自宅が遠い子どもの行き帰りが心配ですが，規制が多い公園は敬遠されがちのようです。
○ボール遊びや素振り，ドッヂボール，サッカー,野球などの自主練習ができる遊び場所がほしい。公園は規制が多く，周辺住民からのクレームも多いようで，どうしたらよいか。
○子どもが外で遊ばずゲームばかりしているのが心配。公園からブランコなどの遊具が減っているようですが，危ないからと排除するのはいかがか。五感を使った遊びは大切。
○その場所を管理している側としては，リスクが大きいものを置きたがりません。身近にある公園をもっと色々な遊びができる場にしていければ。

○にこにこ広場にはとても助けられます。引っ越してきた者から見ると大変良い街。支援側の高齢化が気になります。
○片瀬山幼稚園跡地利用の検討を。
○子どもの事業に対する保護者の関わりが減っています。子どもは参加させたいが，保護者は関わりたくない傾向に。
○片瀬は世代を超えたOBのつながりがあり，お祭りも多く，タテ(異世代)の関係が大事にできています。一度地区外に出ても祭りには戻るなど地域愛が素晴らしい。

3班

○片瀬こどもらんど（子どもの家）が遠くて利用できない子もいます。海岸方面にも場をつくれないでしょうか。
○公園など子どもがボール遊びできる場所が少ない。
○しおさいセンターでの子どもの過ごし方が意外と乱雑で驚きました。子どもが雨の日に何か楽しめる場所がほしい。
（市）子どもたちが素直，元気で良い地域。地域力にも感心します。放課後の過ごし方について，安心して過ごせるには何ができるのか考えていきたい。
○あいさつや反応のある子が多い。引き続き見守りたい。
○子どもと高齢者とのマッチングの検討を。子どもが悪いことをしたら大人が叱る意識を持つことが大事だと思います。
（市）児童クラブにボランティアが入り，高齢者施設へ相談をしています。他地区では，小規模多機能施設で放課後に子どもたちと高齢者がコミュニケーションをとっている例もあり，今後も異世代交流のソフトを考えていきたい。
○居場所として小学校の開放はできないでしょうか。
（市）教室には児童の私物もあり，不特定多数の人が入ることは難しく，管理面でも課題があります。
○ひだまり片瀬の時間を延長するなど，居場所をもう少し増やしてほしい。

○子ども会は会員が減ってきていますが，町内会行事や地区レクなどで親睦会を兼ねることで大変良いコミュニケーションがとれています。

4班

○にこにこ広場で子育てが終わった方にもお手伝いいただけると，大きな力になると思います。
○小さい時から地域で見守っているので，中学生になり反抗期が来て何かあっても，地域で気づいて支援ができます。
○子ども会の加入を親が役を面倒に思い，減少したことがありましたが，少人数でもできることを続けた結果，また加入者が増えてきました。続けることが大切だと思います。
○小学生の公共施設でのマナーの問題については，親とも話し合うことで，子どもも注意して遊ぶようになりました。
○新林小から中学へ行くと居場所が定まらず見守りが難しい。
○江の島は夜遅くでも子どもの姿が。地域で見守りたい。
○子どもには遊びが大切。公園の利用規制が多すぎます。
○子どもの貧困に関し，子どもに夕食を届ける制度があると，親も安心でき，安否確認にもなると思います。
（市）地域の見守りの大切さを実感。貧困についてはサポートを検討しています。公園は周りの方と時間帯等使い方を話し合うなど，柔軟な発想で地域で決めていいと思います。
○公園は看板の注意事項を守るのが正しいと思っていましたが，話し合いで遊び方を決められることがわかり良かった。
○海岸方面には集える場所がない。片瀬山も幼稚園跡地を地域のコミュニティの場所として利用できればと思います。
○夜間ひとりでいる子どもの支援には，行政と地域のパイプ役が必要。

○青少年の居場所に専属の見守る人を置いてほしい。多感な時期なので，対応はそれなりの技術が必要。

5班

○ゲームばかりやっていることについては，安全に遊べる場所があれば外で遊ぶようになると思います。
○片瀬海岸にも片瀬こどもらんどのような場所がほしい。山本公園の管理事務所を利用できるといいと思います。
○インターネットやゲーム，スマホなどが，子どもたちへどのような影響があるのか心配です。幼稚園の保護者向けにセミナーを行えるといいと思います。
○レンタルビデオやカラオケ店の利用カードを親の承諾無しに中学生でも作れてしまうので，事故やトラブルが心配です。ファミレスなどでも「何かあったら親へ連絡するよ」など声かけをしてもらえたらと思います。
○引っ越してきましたが，藤沢は遊び場がありません。もっと自由にのびのび遊べるスペースがあるといいです。
○片瀬山の自宅へ帰ると，遊びに出るのが面倒になります。遊べる所がすぐ近くにあればと思います。片瀬山幼稚園の跡地などを活用できないでしょうか。
○公園のボール遊びは議会でも話題になり，競技につながらないボール遊びはOKと聞きました。しかし，子どもだけでは何かあったときに対応できないこともあるので，「見守る人」を募集し，困ったときに助けられる体制を考えていけるといいと思います。

6班

○学習塾のように勉強を教えてくれる場所があるといい。やる気を起こしてくれることも大事です。ニートや思春期の子どもたちへの配慮もしてほしいと思います。

○にこにこ広場は未就学児までで，児童クラブでは勉強を教えられないのが現状であり，通える子も限られます。
○中学校では勉強の遅れた子への補習がありますが，小学校では難しいようです。
○親～子～学校の関係だけではなく，しおさいセンターなども連携できるといいと思います。
○遊び場が自宅から小学校の間にあるといいと思います。自然を活かしたり，安全で安心できる場を作りたい。
○片瀬海岸では，津波避難場所まで時間がかかるのが心配。子どもの多い地域に避難場所も兼ねるような施設がない。
○片瀬こどもらんどへ初めて来た子にも催しの案内を渡していますが，利用者の多くが常連というのが実態です。
○夏休みに子ども事業を開催しても子どもが来ません。やはり，日常的に接点を持つことが大事だと思います。
（市）子どもの居場所は学校の近くが理想的とは思います。高齢者の居場所も確保していきたい。学習支援については，ＮＰＯなどとマッチングをとっていき，児童クラブの利用や放課後の過ごし方もきめ細かに考えていきたい。

あいさつで
みんなのえがお
きらきらに

平成24年度あいさつ運動推進標語
小学生の部最優秀賞　福岡俊太さん

片瀬・江の島まちづくり協議会
まちづくり通信

第十九号
発行日　2016年(平成28年)3月25日
発　行　片瀬・江の島まちづくり協議会
（片瀬地区郷土づくり推進会議）
発行人　会長　長谷川 紀夫
事務所　片瀬市民センター内
0466-27-2711 FAX0466-25-8907
Kata-c@city.fujisawa.kanagawa.jp
片瀬地区ポータルサイト
http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp/

地区集会　郷土魅力を語り合いました

片瀬・江の島まちづくり協議会では,『片瀬・江の島マニア大集合！郷土魅力をとことん語り合おう～400年の蔵出しワークショップ～』と題して,2月27日(土)13時30分から片瀬市民センターにおいて,平成27年度第2回地区集会を開催しました。

第一部で活動報告を行い(まちづくり通信第二十号で報告致します。),第二部でワークショップを行いました。当日は,総勢70余人が出席し,片瀬・江の島の郷土魅力について大いに語り合い,新たな魅力を発見するとともに,今後,オリンピックを迎えるにあたり,私たちが紹介できる郷土魅力を再認識することができました。

◆第二部は,はじめに司会より片瀬・江の島の魅力を映像で紹介しました。それから５つの班に分かれて参加者同士のグループトーク前半がスタート。協力者として江の島・藤沢ガイドクラブも各班に入り,参加者から片瀬・江の島の好きなところや,とっておきの郷土魅力ネタを話していただきました。途中,中間共有タイムとして,各班から盛りあがっているテーマを発表していただきました。グループトーク後半では,前半に出たテーマ話題のほりさげを行いました。最後には今後に向けて,地域の魅力を来訪者に何をアピールしていくべきか,片瀬に転入してきた人や次世代にどのように伝えていけば良いか考えていきました。

※詳細は裏面をご覧ください。

◆最後に,片瀬山市民の家の再整備計画について市民自治推進課より情報提供がありました。閉園予定の片瀬山幼稚園の跡地に市民の家を移設することに向け,協議を進めていくとのことです。今後の進捗状況につきましては,地区集会やまちづくり通信等でお知らせいたします。

アンケート集約結果

◆第一部まちづくりトピックスについてのご意見
○活動の詳細がわかり,とてもよくまとまっていた。
○「事業の今後の方向性」は活動団体と事前の話し合いをしましたか。　○事業のチェック＆見直しを。

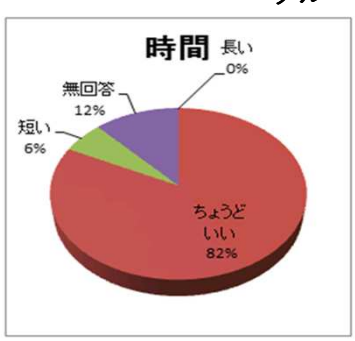
◆今後とりあげたいテーマ
○名所,旧跡,観光関係。
○防災計画の現状（3.11から5年後の成果を）
○昭和39年の東京オリンピックの時の状況や取り組みを知り,2020年に向けて今後の取り組みをテーマに。

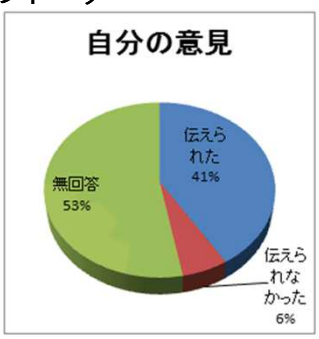
◆日頃感じている地域の課題・ご感想
○川名～片瀬・鵠沼間の道路建設計画。
○地域活動に参加する方に若手がいない。
○土日の交通混雑。○生活道路の安全対策を。
○川や道路の管理の範囲。県か市か警察かわからない。

◆まちづくり活動についてのご意見
○片瀬みなとには標のようなものを建てて。

◆ワークショップの感想
○昔から片瀬に住んでいる方の「証言」は貴重。
○今日の話を記録として残していただければ。
○旧地名(東り町,下の谷など)をおまつりの時だけではなく,何かの形で残していければ。
○小グループの話し合いの形はとてもいい。
○昔の片瀬の話を沢山聞くことができて楽しかった。
○40～50年前のまたは昭和初期などの片瀬の地図が欲しいと思いました。

グループトーク





昔の片瀬・江の島

脈々と受け継がれる郷土歴史も魅力の１つ

○江の島は西暦552年にできた説がある。
○青銅の鳥居は木造だったが，今のは2代目。
○ミネベア付近に集落があり，その後馬喰橋～本蓮寺と集落が広がっていった。
○一遍上人は鎌倉に入れずに，4ヶ月半片瀬の浜の地蔵堂で踊り念仏を行った。
○龍口寺一帯は鎌倉時代，都の外縁部ということで処刑場だった。常立寺の辺りからは当時処刑したと思われる人骨が発掘された。
○境川の新屋敷橋あたりに「片瀬みなと」という港があり，海から運んできた品物を，その港で小さい船に乗せかえて，藤沢(宿)の方まで運搬していた。その「片瀬みなと」を利用していた漁業関係者が鳥居を寄進し，今もなおその寄進者の名前が鳥居に刻まれている。
○江戸時代には幕府の鉄砲場があった。
○龍口寺の穴ぐらは，処刑された人を片瀬の人々がとむらった。
○明治時代に江ノ電を敷設する際に，人力車組合が反対し用地が難航したため，大地主が用地を提供した。
○昭和初期には，今の龍口寺のところに「龍口園」という施設（遊園地）があった。龍口園は，五重の塔と同じ高さの展望台になっていて，エレベーターもあった。眺めがとても良かった。
○片瀬には乃木大将の像があった。
○西浜橋から50m先の駐在所前にラジウム鉱泉があった。西浜橋周辺は西浜銀座と言われていた。
○片瀬目白山にはメジロがたくさんいた。
○諏訪神社の横にため池があり，釣りもできた。
○片瀬小学校前には牧場があった。
○片瀬山には砲台が４つあった。
○昔の「江の島道」は砂利道で，お祭りの時に山車を引っ張るのが大変だった。
○近所で臼，杵を貸し借りをして正月にお餅つきを家族でしていた。
○海の砂浜でよく遊んだ。片瀬には素晴らしい砂浜があるのに，今の子どもたちはあまり遊んでいないようだ。
○川で泳いだりして遊んでいた。うなぎや，めだかもいた。べーゴマや片瀬こまもやっていた。
○子どもも地引き網のお手伝いをしていた。

日常生活から感じる魅力

住んでいる地域の魅力，気づいていますか！？

○地域を大切に思っている，心あたたかい人が片瀬・江の島には多い。　○交通の便が良い。
○気候が暖かい。　○はまぐりラーメンがおいしい。
○地域活動が盛ん。社会福祉協議会や花植え活動をしており，毎日充実している。
○片瀬に戻ってくるとホッとする。

（お願い）参加者からあげられた郷土魅力を各班の書記が聞き取り，そのままご紹介しております。過去の記憶，歴史の言い伝えもあるため一部信憑性に欠けるくだりもあるかと思いますが，ご了承ください。

こんな魅力も・・・

多くの人に知ってもらいたい！

○諏訪神社はその名のとおり諏訪の神社だが，全国の諏訪神社で上社下社があるのは片瀬だけ。
○江の島は弁財天という女の神様がいるから，カップルが行くと弁天様がやきもちをやいて二人を別れさせるという説がある。・・・実は，パートナーを連れて行かないで心置きなく遊ぶための男が作った都市伝説である!?

お祭り

お祭りも時代によって変化しています

○片瀬はお祭りが活発だが一時期衰退していたこともある。
○屋号によって太鼓のたたき方やリズムが微妙に違う。
○諏訪神社例大祭は昔は7月に行われていた。7月は忙しいため現在の8月になった。
○諏訪神社のお祭りは上社，下社と1年ごと交互に行われていた。
○町内会ごとに御神輿があった。御神輿も自分たちで作り，それを担いでいた。
○公民館まつりでも御神輿があった。片瀬にお祭り好きの人が多い象徴では。

さらに魅力のあるまちに！

私たちに何ができる！？

○屋号を残していくことは大事。下の谷，西方，新屋敷，東り町，西浜。お住まいは？と聞くと片瀬■丁目というような返答ではなく，西方ですといったように屋号で返答する人が多い。
○江の島を鎌倉市と思っている人が多い。
○インフラを整備していかないと住みにくくなる。
○マスコミへもっとPRし，テレビ等で紹介してもらえば観光客誘致につながるのではないか。
○前回のオリンピックは地元民は関わることができなかった。その反省から江の島を良くする会ができた。今回は地元民はどうやって世界の人々をおもてなしできるだろうかと盛りあがっているが，行政の動きがまだ見えない。
○前回のオリンピックは秋だったが今回は夏。道路渋滞等すごいのに，さらにどうなるのか心配。
○オリンピックに向けて，宿泊施設が少ない。選手だけでなく報道機関や観客も来るが大丈夫か。
○道路が狭い。
○　「ぼたもち」をキーにまちおこしを！
○片瀬は富士山の見え方がとても綺麗。片瀬・江の島ビュースポットを周知したらどうか。
○絶景スポット10を作ったらどうか。
○片瀬・江の島だけでなく，近隣の鵠沼や鎌倉とタイアップしてもよいのではないか。江の島道は片瀬・江の島地区だけではないですよね。
○江の島以外の商店街が少し寂しい気がする。

参加者70名余でも書ききれないほどの片瀬・江の島地域の魅力が語られました。まだまだ知られていない地域の魅力がたくさんあるはずです。今後さらに魅力あるまちづくりを進めてまいります。

地域広報部会

■　地域広報事業　■

★広報紙まちづくり通信の発行

協議会や地域団体などの活動を地域のみなさんに知っていただくため，5回全戸配付いたしました！

①第16号 6/10(計画周知)，②第17号8/10(地域団体紹介)，③第18号 12/10(第1回地区集会報告)，④第19号 3/25(第2回地区集会報告)，⑤第20号 3/31(活動報告　※本号)

★片瀬地区ポータルサイトの充実

ウェブサイトで地域情報を発信しました。

片瀬地区ポータルサイト
http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp

★地域情報の整理と共有の促進

地域の活動情報を集約・整理し，見える化と利用者から見た目的別整理を試行。ポータルサイトに「片瀬・江の島を楽しむ地域情報特集ページ」を設置して発信に努めました。

公民館活用部会

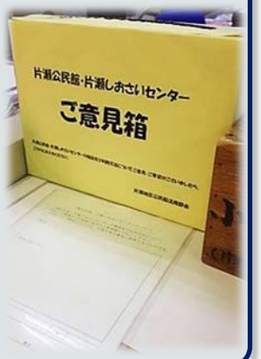
■　公民館活用事業　■

★施設改修等提言

片瀬しおさいセンター及び市内公民館を視察し，課題や改善点の抽出と対策等を検討しました。

★地域利用者の声の把握

昨年度に引き続き，ご意見箱を設置いたしました。



★把握した意見の整理と提言等

施設の利用等について，公民館へ要望いたしました。

その他，公民館事業への市民参画，本館と分館をつなぐ案内板の設置等も検討しました。

地域課題の検討状況について

○市民の家の利便性向上課題

市が策定を進めている公共施設再整備プランの方針や計画が明確になるまで，検討ワーキングの活動は当面休止としました。市の動向に注目しながら，必要に応じて提案等の検討を再開します。

○ごみの持ち帰り，ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題

検討ワーキングでは，保健所と意見交換を行いながら，昨年度の地区集会ワークショップで議論の盛り上がった犬のフンの放置について対策を検討しました。飼い主に愛犬精神を持っていただくため，飼い方やマナー等のガイドブックづくりの検討や独自の啓発プレートの試作・アンケート等意見集約を進めています。

○廃屋への対応課題

検討ワーキングでは，市や不動産業の方とも情報交換等勉強会を実施しました。市は「藤沢市空き家の適正管理に関するガイドライン」を10月に施行し，市が特定空き家を認定し適正管理の指導等実施することになり，利活用については，「藤沢市空き家対策基本方針」に示される予定です。

○小学生の居場所課題

青少年健全育成部会が窓口として課題を取り扱うこととし，実態を把握し対策を検討しました。公民館の利用については，学校の協力を得ながら児童手作りのポスター掲示や巡回により落ち着きを取り戻してきました。また，今年度第1回地区集会のメインテーマとし，市長を迎えて地域の皆さんと意見交換を行ってきました。子どもたちの居場所や放課後対策等については，今後も継続検討していきます。

【寄せられたご意見のその後の状況について】

★不審者情報を地域で共有する仕組みづくりを

（2014年5月及び2015年3月地区集会でのご意見）

→従来，市民センターに寄せられた不審者情報については，警察への確認に数日間を要し，速やかな情報提供や活動に繋がりにくい状況でした。ご意見を受けて，片瀬地区青少年支援フォーラム，片瀬地区防犯協会，片瀬地区青少年育成協力会の三団体が検討し，不審者発生時には携帯等電子メールを基本に未確認で良いから情報を迅速に共有し，児童の見守りや地域パトロール等へ駆けつける**片瀬地区不審者情報ネットワーク「かけつけネット・かたせ」**を2015年6月にスタートいたしました。登録は，地域団体等に所属している方や学校等児童施設関係に限定していますが，関心のある方は片瀬市民センターまでお問い合わせください。

1年間の活動にご協力いただき誠にありがとうございました！

片瀬・江の島まちづくり協議会(片瀬地区郷土づくり推進会議)平成27年度委員一同

■会長　**長谷川紀夫**（片瀬地区自治町内会連絡協議会）

■副会長　**犬山聡彦**（公募，人材・情報バンクセンター運営委員長），**杉山義子**（片瀬地区社会福祉協議会，ボランティアセンター運営委員長），**波多善子**（片瀬地区青少年育成協力会，青少年健全育成部会長），**田村順子**（片瀬公民館評議員会，公民館活用部会長），**原英夫**（片瀬市民スポーツの会，まちづくり推進部会長），**畠山義昭**（江の島振興連絡協議会，郷土文化推進部会長），**德江紀子**（公募，地域広報部会長）

■委員　**依藤光雄**（片瀬地区商店会），**高木誠四郎**（片瀬地区防犯協会），**田中誠治**（片瀬地区自主防災協議会），**常泉孝子**（片瀬地区民生委員児童委員協議会），**長坂訓子**（片瀬地区青少年支援フォーラム），**高橋洋児**（片瀬地区交通安全対策協議会），**三觜由見子**（片瀬地区子ども会連絡会），**村越てる美**（片瀬地区生活環境協議会），**小池トシミ**（片瀬公民館サークル連絡会），**岩田克美**（片瀬地区老人クラブ連合会），**阿井丈夫**（公募），**青木美和子**（公募），**石倉保男**（公募），**岡田昇**（公募），**福島規恵**（公募），**藤田文康**（公募）

笑顔で　あいさつ　明るい片瀬

平成24年度あいさつ運動推進標語
一般の部最優秀賞　畑中松江さん

片瀬・江の島まちづくり協議会

まちづくり通信

第二十号
発行日　2016年(平成28年)3月31日
発　行　片瀬・江の島まちづくり協議会
発行人　長谷川 紀夫
事務所　片瀬市民センター内
0466-27-2711 FAX0466-25-8907
Kata-c@city.fujisawa.kanagawa.jp
片瀬地区ポータルサイト
http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp/

特集　平成27年度まちづくり活動の紹介

片瀬・江の島まちづくり協議会（片瀬地区郷土づくり推進会議）の平成27年度の活動につきましては，地域のみなさまや各団体に多大なるご理解とご支援をいただき，無事実施できましたことを感謝申し上げます。この１年間の活動状況と今後の展開について，ご紹介いたします。

協議会では，13のまちづくり事業と4つの地域課題を部会や課題別検討ワーキングの委員と協力員を中心に力を合わせて進めてきました。

これらの進捗については，まちづくり通信や地区ポータルサイトでお知らせしてきましたが，地区集会でもご報告をし，みなさんとの意見交換を踏まえ，事業の充実や地域課題の集約・解決に努めてきました。

特に今年度は，グループトークを中心とした地区集会を２回実施し，参加者同士はもとより，市長や市職員とも地域課題や郷土魅力について活発に意見交換できたことは，平成27年度の大きな成果でした。今後も，手法を工夫しながら実施してまいりますので，一層のご参加をお願いいたします。

地区集会で活発な意見交換

郷土文化推進部会

片瀬・江の島の郷土文化継承活動を応援しています！

■民俗文化財等継承事業■

★片瀬餅つき唄保存活動の支援

諏訪神社例大祭，片瀬地区ふれあいまつりにて，片瀬餅つき唄を披露。餅つきの飛び入り参加も！

★片瀬こま保存活動の支援

ふれあいまつりと2月21日に西方公園にて片瀬こま大会を開催。子どもやおとなも楽しみながら，片瀬こまの魅力を体感していただきました。

こまづくりのメディア取材

■江の島道整備事業■

旧江の島道沿いに多く残る，江戸時代に江の島詣での人たちのために建てられた史跡を整備。今年度は，片小前の杉山検校道標と常蓮橋たもとの庚申塔周辺を整備しました。

青少年健全育成部会

■小学生夏休みふれあい事業■

8月20・21日，片瀬しおさいセンターにて小学生を対象に「夏休み☆おもしろ塾」を開催しました。1日目の「楽しい防災　ゲームで学ぼう！」では，防災トランプを通して身近に潜む危険について考え，楽しみながら防災意識を高めることができました。2日目の「チャレンジ！わくわく理科教室」では，鏡の反射を利用したコインが見えない仕掛けの貯金箱づくりを行い，工作や理科への関心を高めることができました。また，地域の大学生等おとなが見守りながら学習支援したことで，子どもたちの自学自習の意欲を一層育むことができました。

■青少年ボランティア活動支援事業■

8月1日，地域のイベント「龍の口竹灯籠」のボランティアスタッフとして地元の中高大学生が参加。社会貢献への意識や地域との絆を深める機会になりました。

■　青少年居場所事業　■

片瀬しおさいセンターにおいて，青少年サポーターによる青少年の見守り・声かけなどを行いました。クリスマスイベントでは，中学生のハンドベル演奏や合唱，ゲームなどで盛り上がりました。

まちづくり推進部会

■まちかどミニベンチ設置事業■

←
モノレール
目白山下駅前

★目白山下駅前に設置

ふれあいのあるやさしいまちをめざし，買い物や散歩途中でちょっとひと休みやおしゃべりのできるベンチを緑地などに設置しています。

★道路にグリーンベルトを設置　→

通学路の安全向上対策として，グリーンベルトを片小校門以北から新屋敷橋まで設置しました。

■緑と花いっぱい推進活動事業■

★花植え活動の支援

観光地にふさわしい景観を保つため，花植え活動を行っている弁天橋花いっぱい愛好会と子ども会へ肥料など物資の提供をいたしました。

■生活道路の安全向上対策事業■

人材・情報バンクセンター運営委員会

■人材・情報バンクセンター事業■

ボランティア入門講演会(12月19日)

☆地域の仲間づくり＆居場所づくり☆

特定非営利活動法人 地域魅力 理事長の田中美乃里さんと地元の逗子市で一緒に活動している仲間たちにも来ていただき，地域でたくさんの方々と関わり合いを持ちながらゆるやかで気楽に活動することで，結果として地域力が上がるお話をしていただきました。講演会に参加された方が，その後さっそく片瀬でも新たな活動を始めたという話も聞こえています。

地域情報を発信！

☆ブログから地域情報を提供

片瀬地区JJBC　検索

☆広報紙らぶらぶ片瀬を発行しました

コーディネーターを一新！

120以上の登録団体や個人から情報収集し，活動したい方とをつないできました。

毎週火･金曜日と第２土曜日の10時～15時に市民センターの１Fでご相談をお受けしています。お気軽にお立ち寄りください☆

ボランティアセンター運営委員会

■ボランティアセンター事業■

地域の赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる居場所，**ひだまり片瀬**（片瀬地区ボランティアセンター）を毎週月～金曜日10～15時に開き，喜んでご参加いただけるイベントや相談事業を工夫して運営しました。

☆子育て支援　かたせ・にこにこ広場☆

季節にちなんだイベントを開催。親子で歌ったり，手遊びしたりと，いつもたくさんの笑顔であふれています。ぜひ遊びに来てください♪

高齢者相談
毎週水曜日
(第2水曜=ミニ講座)

成年後見相談
毎月第2月曜日

子育て相談
かたせ・にこにこ広場開催日

※相談室あり

■　まちかど相談事業　■

☆高齢者ミニ講座☆

毎月第２水曜の高齢者相談日に実施しました。看護師や相談員等による季節に応じた役に立つお話や健康体操など楽しい企画が好評です。

かたせ・にこにこ広場
第１を除く木曜日（臨床心理士が子育て相談に応じます）

チクチク（お裁縫）
毎月第2金曜日

ふわふわ（編み物）
毎月第3金曜日

第3木曜日の午前中は，ねんねの赤ちゃんとプレママの日♪

事業を支えるボランティアセンター従事者を募集しています。あなたも参加してみませんか！

片瀬・江の島まちづくり協議会
平成 27 年度第 1 回地区集会 次第

日時　2015 年 10 月 31 日(土)12:30～14:40
会場　片瀬市民センター　2 階ホール

テーマ

市長と片瀬・江の島っ子の未来を語り合おう！
～いま、子どもたちに必要な環境とは～

1　開会

2　会長挨拶

3　地域＆市長からのメッセージ

4　市長と語ろう！グループトーク

5　まちづくりタイム

6　閉会

片瀬・江の島まちづくり協議会

平成27年度第１回地区集会

議事録

2015年10月31日

（会場）片瀬市民センター２階　ホール

１２：３４

１　開会

（徳江副会長）略

２　会長挨拶

（長谷川会長）みなさんこんにちは。片瀬・江の島まちづくり協議会会長を仰せつかっております長谷川と申します。どうかよろしくお願いいたします。本日は，ご多用の中をほんとにこの会場一杯座りきれないと思われるくらい大勢の方々にお集まりいただきました。誠にありがとうございます。また，みなさまには日頃から地域のまちづくりのために各方面でご尽力されております。この場をお借りいたしましてほんとに心から御礼とそして，まず日頃からのみなさまからのお力に対して敬意を表したいと思っております。また，本日はもうすでに鈴木市長がご到着されました。予定よりも早くおいでいただいたのですが，これも市長がこの集会に入れている力，そんなものを感じざるを得ません。大変本日は期待したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

片瀬・江の島まちづくり協議会は６年前に他の地域と同時に自分たちのまちは自分たちで作ろうよ，というようなことから立ち上がりまして，その名も片瀬・江の島まちづくり協議会と名前をいたしましてこの場で立ち上がったわけです。この間，多くの方々にご意見やアドバイスをいただきながらどういうことを進めていこうかという事業計画を立て，そして，一年の終わりには実施報告もしながら地域の皆さま方にはまちづくり通信でお知らせするとともに，年２～３回地区集会を持ちまして，いろんなテーマに沿って報告と意見交換をさせていただきました。皆様方からその都度，大変貴重なご意見をいただいておりまして，私ども委員といたしましてはそれらを基にしながら十分な討議を重ね，事業に移し，そして事業を推進してきたわけです。皆様方から頂いた貴重な意見につきましては，この片瀬地区として大変大きな課題であるというものもありましたし，課題解決に向けては時間もかかるものもございます。その時間がかかるものにつきましては，その都度，皆様方の中で比較的関心が高いと思われるテーマをいくつか選定いたしまして，テーマごとのワークショップとして企画いたしました。

昨年度は，地区集会の２回目，３回目を使いましてテーマごとのワークショップを実施したわけです。ちなみにそのテーマもご紹介いたしますと，１つは，公民館に期待すること，こんな公民館になるといいなということで話し合いをいたしました。２つ目として，交流スペースの充実，ということから，子どもグループ，そして，大人グループのふたつのグループに分かれて意見交換を実施いたしました。３つ目には，現在も今後も大きな課題である，空き家・廃屋対策です。これにつきましては大変関心が高いことから，昨年２回の地区集会にわたってワークショップを実施したわけです。そして，最後に４つ目は，皆さん方もいろいろと注意をしていただいております，ごみのポイ捨ての問題です。特に片瀬地区は観光地ですので，ゴミのポイ捨てにつきましてはこれも避けては通れない大き

な問題・課題です。その４つのテーマに沿ってワークショップを実施いたしました。

そして本日，この 27 年度第一回目の地区集会ではご案内のように，健全な子どもたちの育成に向かって地域として，それから家庭として学校として，さらには行政としていろいろと熱心に取り組んできてはおりますが，いろいろな課題が山積しており，一太刀では解決できない大きな課題が従来から引き続いている問題もあります。

そんなことから，本日は鈴木市長においでを願って，みなさん方と共に生の声を市長と交換をしながら，実のある意見交換になればいいなと考えておるわけです。

私たち片瀬地区は風光明媚な環境が持てる貴重な歴史と一体となった文化があります。その文化とは，人を大切にし，自然を大切にし，思いやりの心にあふれた風土であります。そのような中で子どもたちが元気でたくましくすくすくと育っている，そうした地域・社会を私たちは今，住民みんなの力でしっかりと築いていかなければなりません。そのためにも，子どもたちの育成につきましては，真正面から取り組むべき地域課題と考えております。

本日は少ない時間ですが，市長はじめ理事者，および関係部署の管理者の方々もおいでいただいておりますので，どうか実のある意見交換ができればと思っております。しっかりと意見交換をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

３　地域＆市長からのメッセージ

（徳江副会長）略

※青少年健全育成に関わる各地域団体や片瀬・江の島まちづくり協議会の地域での取り組みを写真ムービーにて紹介

（鈴木市長）略

※藤沢市の課題と取り組みについてスライドにて紹介

４　市長と語ろう！グループトーク

テーマ　市長と片瀬・江の島っ子の未来を語り合おう！

～いま、子どもたちに必要な環境とは～

①　グループトーク

・参加者を６班にわけ，市長・副市長・部長が各班を巡回しトークに加わる。各班の巡回時間は８分。

・各グループ進行・書記は参加要請団体から人選。話題提供としてｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀを置く。

【１班】

（司会）今日は，子育て真っ最中の方が多く参加してくれました。かたせ・にこにこ広場を経て PTA 等で活躍している方が何人かいます。

（参加者）第二子が産まれ，近くに親が居ない，頼れる人が居ないととても不安です。親子共々，一時期だけでもお手伝いしてくれる方が居てくれると助かります。介護ヘルパー

の方の用な人が居てくれると助かります。そのような制度ができると良いのですが…。
（市）ファミリー・サポート制度が有りますので利用して下さい。「まかせて会員」が少ないので募集中です。また，保育園での一時保育も実施するなど，多様なニーズに応えられるように考えています。
（参加者）一時保育は直ぐに満員になるようで利用がなかなかできません。
（参加者）かたせ・にこにこ広場へ遊びに行きますが，片瀬山，海岸辺りにも各一ヶ所あると良いです。ちょっと距離があり，天候にも左右されます。片瀬山幼稚園，山本公園等を複合施設への改修を希望します。
（参加者）ファミリー・サポート制度の認知度が低いようです。もっとアピールして欲しい。「まかせて会員」登録の際の研修講座を片瀬地区でも受けられるようにして欲しい。湘南台地域が多く，３日間講座に出席しなければなりません。日を分けて，１３地区でも受けられたら良いと思います。年間の講座の日程を示してくれると助かります。
（参加者）地区で子どもに関する講座がいろいろありますが，地域団体主催のものは詳細がわかりづらいようです。
（参加者）公園でボール遊びができないのはおかしいと思います。幼児，低学年が遊ぶ程度は，良いのでは!?　注意看板に一行，そのことを入れて欲しい。
（司会）このことは何年も言い続けていることですが，近隣の方の理解が必要です。
（参加者）公園の遊具の不具合等について，何処へ言ったら良いのかよくわかりません。公園の看板の何処かに，メールアドレス(遊具の不具合を写メして送れるように)か電話番号を入れて欲しい。
（参加者）片瀬しおさいセンターのサポーター（？）が，子どもが嫌いなのか上から目線で子どもに言う人がいるようで，子どもから反発があるようです。片瀬しおさいセンターの壁，窓などを破損しているのはそのせいではないでしょうか。避難所になっているのにどうなのでしょうか。
（参加者）市は地域の縁側として特定の飲食店にお願いしたとのことですが，新聞等でも騒がれているフランチャイズなのにコラボするのはどうなのでしょうか。商品を購入しなければ遊べないのか，遊びだけでも良いのか，そのあたりは，どうなのでしょうか。中学生，高校生が集まってたまり場になるのでは。小学生だけで行かせるのも心配です。

【２班】
（司会）子どもたちの公共施設の利用マナーについては，3 月に学校で意見交換を行い，子どもたちには「公共施設使用時のマナー」を考えていただき，ポスターを作ってもらったことがあります。環境として何が片瀬に足りないのか，考えていきたいと思います。
（参加者）地域のことがよくわからないこともあり，情報収集のために参加しました。鵠沼石上に近いので，地域的に子どもが地区のイベントに参加しづらい状況にあり，地理的に遠いことと新林学区であることも理由です。

（参加者）子どもが大きくなり，今の子育て事情について疎くなっていたので参加しました。色々な話を吸収して帰りたいと思っています。
（参加者）ランドセルを置いて集まる場所，すなわち，あまりワイルドな場所ではなく，少し手の入った管理された場所が身近にあるとうれしいと思います。
（参加者）放課後，山本公園や上西原公園で遊んでいます。山本公園は木が多く，人が通る時間帯以外は寂しくて危ない感じがします。夜に飲酒した跡があったり，空き缶やビンが散乱していて危険を感じます。
（参加者）小学生～高校生の子どもたちの居場所がありません。見守り事業なのか，隅に追いやられている感がします。市全体で若い世代を育てる事業を考えてほしいと思います。
（参加者）片瀬こどもらんど（片瀬子どもの家）が地域のはずれにあり，家から遠い子どもは行き帰りが心配です。公園は，規制が多すぎて，子どもたちが敬遠しています。
（参加者）ボール遊びができる遊び場所，素振り，ドッヂボール，サッカー，野球などの自主練をやる場所がほしい。子どもたちは「遊ぶ」ことで横や縦のつながりを育てるのに，公園は規制だらけで，周辺住民からクレームが来ます。どうしたら良いでしょうか。
（参加者）かたせ・にこにこ広場の登場は，とても助かっています。外の地区から引越ししてきた人間から見ると，大変良い街に見えます。しかし，支援する関係者の高齢化が気になります。また，寺子屋プラン（学習支援），勉強が遅れているが経済的な問題から塾などに行けないなど貧困児童問題があります。
（市）公園ではボール遊び禁止になっていますが，無人の公園でもダメなのでしょうか。時間帯や曜日などでシェアするのはどうでしょうか。他人に迷惑をかけないようにすれば良いのではないかと思います。相互に協力しながら使用すれば良いのではないでしょうか。学校や企業の運動場を使えないかも含め検討したい。持ち帰りたい。
（参加者）片瀬山幼稚園の跡地の利用法をぜひ検討してほしい。
（参加者）公民館と地域の団体との関わり，タイアップを十分にし，各活動のあり方を検討する必要があります。公民館事業の充実は大事ですが，そこに出てこない子どもたちの存在も気になります。
（参加者）事業に対する保護者たちの関わりが減っているようです。保護者の希望で子どもは参加させたいが，自分（親）は関わりたくないという傾向があります。
（参加者）自分も子どもも自由に育ってきました。今はそうではないのでしょうか。普通に育てることが困難になってきた感があります。
（参加者）子どもが外で遊べない，遊ばない，ゲームばかりに傾倒しているので心配です。公園からブランコなどの遊具が消えていっているようです。ボランティアからの寄付のブランコはありますが。危ないからといって排除するのはいかがなものでしょうか。五感を使って遊ぶことで人間は育っていくと思います。
（参加者）昔は「友だちと遊ぶために」外へ出ていましたが，今はアイテムがないと遊べないようです。

（参加者）今は親にプランを立てさせる子どもが多いようです。「友だちと会う」のではなく，遊ぶ約束と親からプレッシャーがかけられてやっと外に出ているのが現状です。1 人遊びをしたがる，他人と一緒にいるのが苦痛なのでしょうか。
（参加者）遊びたい相手が 1 人遊びしたいタイプだったりします。塾などで予定が合わないこともあります。
（参加者）そもそも，外で遊べと言われても，公園でボール遊びができません。
（市）片瀬は世代を超えた OB のつながりがあり，地域の関係が安定しています。地域にある組織が学校職員～スタッフでまかなえないところをフォローしてくれるのでありがたい。祭りが多いのでタテの関係を大事にできています。一度地区外に出ても祭りの頃に戻ってくるなど，地域愛が素晴らしいと感じています。昔は，学校の校庭で遊んでいた子どもたちが，全体的に今は室内で遊ぶように変化しています。場所が問題で，管理責任を問われるので，公共の場所は排除されがちです。また，学校外，時間外の子どもの行動を学校へ持ち込む（公園でのキャッチボール・河川での立入など）ケースがあります。自分では注意したくないので学校へ電話が来ることがあり，残念に思います。
（参加者）大人にできることが何かあるはずです。
（参加者）学区が新林で片中へ進学，地域の行事などに参加しづらい状況です。もう少し大らかに子どもを育てたいものだと思います。
（参加者）子どものけがは自己責任ではないのでしょうか。
（参加者）その場所を管理しているのが誰かによります。注意書きがあるかないか，リスクが大きいものを置きたがらず，なくなってきているのが現状です。子どもの遊びについての課題かと思います。エリアごとに管理するという発想が市には無いようですが，そろそろ考える時期ではないでしょうか。こういう場はとても大事です。
（参加者）片瀬には色々な団体がありますし，色々な立場から子育ての現場への意見を出すことができると思います。
（参加者）子どもの居場所・遊び方について，身近にある公園をもっと子どもたちが色々な遊び方をできる場所にしてほしいと思います。遊具の排除や規制だらけで外で遊びたい気持ちになりません。公園から子どもたちが消え，室内でゲーム遊びに興じている。外での遊び方がわからない。子どもは五感を使って遊び体や心を育てるのに密室でカードゲームやテレビゲームばかりしていては健全な育ち方ができない。うっそうとしている公園，木が多すぎて公園などへの要望はどんどん発信して良いと思います。

【３班】

（参加者）片瀬海岸２丁目在住ですが，片瀬こどもらんどと離れていて，子どもにとっては遠い場所です。海岸方面にもそのような場を設置できないでしょうか。
（参加者）片瀬海岸３丁目在住で，片小，山本公園で遊んでいますが，ボール遊びの場所が少ないと感じています。片瀬しおさいセンターにおける子どもの過ごし方が，意外と乱

雑で驚きました。注意されそうですし，注意されることが勉強でもあるとは思いますが…。子どもが雨の日に何か楽しめる場所が欲しいです。
（市）子どもたちが素直で元気，よい地域だと思います。地域力にも感心します。ただ，地域からの声を聞くと，片瀬しおさいセンターの居場所のことなどで迷惑をかけていることも事実です。放課後の過ごし方について，生活貧困のため子ども一人で過ごしている家庭もあり，子どもが安心して過ごせるには何ができるのだろうか，地域の注意も関心をもっと頂けるものと期待し，考えていきたいと思っています。
（参加者）あいさつや反応のある子どもが多いように思います。
（参加者）子どもがまだ小さいので，地域の方のいろいろな意見を聞いていきたい。
（参加者）子どもと高齢者とのマッチングを検討していきたいと思います。システム，場所など考えなくてはなりませんが，一緒に何かをやれたらいいと思います。大人が悪さをしたら叱ってほしいとの話を聞きますが，皆がそういう意識をもってくれたらと思います。青パト中，交差点にいた子どもが青パトを追いかけてきて危険なことがありました。認知傾向の高齢者も子どもと一緒にいることで，いい結果となる。子どもの施設に高齢者施設を統合できないでしょうか。児童クラブでは少しずつ検討しているようですが…。
（市）クラブ長との相談により実現可能ではないでしょうか。
（児童クラブ）ボランティアが中に入り，児童クラブから高齢者施設に対して検討相談を行っています。他地区では，小規模多機能施設へ放課後の子どもが寄り，いろいろコミュニケーションをとっているところもあります。
（市）異世代の交流スペースは検討しています。ソフトな部分も少しずつ考えていきたい。待機児童など優先する姿勢はもっています。
（参加者）居場所問題について，小学校の開放はできないでしょうか。ハード部分で小学校を使用できれば…。定年退職の先生がもったいないと感じます。地域を見て頂けないでしょうか。オリンピック関係で，片小でも外国語国際交流を考えられないでしょうか。
（市）教室には児童個人の物もあり，不特定多数の人が入るのは無理だと思います。管理面でも課題はあります。
（児童クラブ）共働きなど，諸事情で子どもが通ってきます。片瀬地区には待機児童はいませんが，市内には待機の施設もあります。西の原会などにご協力を頂き，１～６年生までお互いに面倒みながら，つながりを大切にしています。
（参加者）居場所がもう少し増えてくれればと思います。ひだまり片瀬も，午後３時に閉めるところを午後５時までやってもらえるといいのではないでしょうか。
（参加者）子ども会役員として思うことは，昔は子ども会へ全員加入が当たり前だったものが，今では少なくなってきています。町内会の方たちとの関わりがあり，地引網では家族で楽しめますし，地区レクへの参加にあたり子ども会の中で練習会をしたこともあります。親睦会を兼ねてやってみたら，大変良いコミュニケーションがとれました。異年齢の子どもたちが遊べる児童クラブは，大変良かったと思います。

（参加者）働いているお母さんなどに対して，手伝いなどをしてあげたい。ファミリー・サポートの制度もあります。

【４班】

（参加者）片瀬学園は養護施設として，地域に支えられていることに感謝しています。年々課題が変化しているので地域の方々にご迷惑をおかけしています。人とのコミュニケーションが難しい子どももおりますが，皆さんに支えられ助けられていると感じています。学園も地域に対し出来ることがあれば協力していきたいと考えています。

（参加者）かたせ・にこにこ広場へ来る方で，上のお子さんが下の子へ焼きもちを焼いてお母さんへ甘えて困らせたりしていることがあります。そんな時に，私たちが下のお子さんを抱っこして上のお子さんがお母さんに甘えられるようにしています。地域の子育てが終わった方たちが，そんな些細なことでもお手伝い頂ければお母さんの子育て支援になると思います。

（参加者）中学生になったら反抗期が来ますが，小さい時から地域で見守ってきているので，何かあった時にも地域の人たちが気づいて，親御さんと一緒子どもたちを支えて行けたら思います。かたせ・にこにこ広場でも，安心して子育てが出来る地域であることが伝わっていければと思います。

（参加者）子ども会に入ってくれる方が激減しています。周りを見ていると第３子とかいらっしゃる方も多く，地域にも子どもがたくさんいるのに子ども会に入ってくれません。親は役などが面倒とかで入らないようで，子どもたちはとても楽しく良い活動が出来るのですが，大人が少ないと行事をするのが大変なのが実態です。

（参加者）江の島は観光地ですので夜遅くなっても子どもの姿が見られるのですが，地域の人で見守りたい。

（参加者）片瀬こどもらんどには，午前中は幼児連れのお母さんも来ています。子どもたちが遊びを通して仲良くなることができているようです。

（参加者）子ども会の人数が１２名しかいない地域で，子ども会が潰れてしまうのではと困った時に「少人数でもやっていけること，出来ることをやって行けばいい。」と言われて続けて来ましたが，段々と子どもの人数が増えて 30 人，40 人となりました。続けてきて良かったと思いますし，続けることが大切だと感じました。

（参加者）小学生が，公民館などの利用の仕方が問題となっていますが，そこで気付いた大人が声をかけていただけると嬉しいです。

（参加者）新林小学校の児童は，中学に上がると片瀬中学校では１／３になってしまいます。子どもの居場所として，学校の友達と遊ぶ場所や地域が定まらないので，地域で見守る環境が難しいと思います。

（参加者）ひだまり片瀬の見守りをしていますが，地域でいろいろな方が見守っているのだと感じました。片瀬学園は長年地域に支えられ共存していると思います。子どもは遊び

が大切だと思いますが，地域の公園利用は規制が多く遊べない状況かと思います。
（市）今日は皆さんの意見を持ち帰り，検討していきたいと思います。
（市）片瀬中学校の子どもたちは，地域の方に支えられ見守られ育っています。わんぱく盛りでご迷惑をおかけしていることが多く，地域の方から厳しく温かく支えられていると感じます。学校も施設が綺麗ですので，地域に出来ることがありましたら協力していきたいと思います。
（参加者）民生委員の児童福祉部会に属しています。昨日は児童虐待の講演がありました。皆さんとは違う視点から意見を言わせていただきます。市はお金がないので，どうしてほしいか言わないといけない。皆さん文句はないのですか。もっと文句を言ったらいいのですよ。
（参加者）今，子どもの貧困が世間で問題になっていますが，片瀬地区でもひとり親の家庭や就労の問題や何らかの原因で困窮しているご家庭もあると思います。最近話題の「子ども食堂」までは行きませんが，高齢者の宅配弁当があるように，親が夜遅く帰るご家庭に「子ども宅配弁当」が出来ないかと考えています。おなかをすかせて親を待っている子どもに夕食を届けてあげたら，親も安心して帰宅できると思います。それと，子どもの安否確認も出来ると思います。地域のお料理が出来る方で，週１日でも出来たらと思います。
（参加者）中学生のあるご家庭で以前，子どもの友人で親の帰宅が遅い子どもをご自宅で夕食を食べさせていたそうですが，それが毎日のように来るとになると大変になってしまったと聞きました。やはり個人の家庭で支えるのは難しいと思います。子ども食堂の様なものがあるといいと思います。
（市）子どもの居場所は川崎の事件のこともあり，地域の見守りの大切さを実感しています。子どもの貧困は，「子ども食堂」まではなかなか出来ませんが，なんらかのサポートをしていかなければと検討中です。子どもが体を動かさないということが問題になっていますが，公園の利用の仕方はその公園の周りの住民の方との話し合いで使い方を決めていいのです。例えば，夕方の時間帯は子どもたちが優先で使えるとか，ボール遊びは近隣が良いと言えば使ってもいいのです。柔軟な発想により地域で決めていいのです。
（参加者）片瀬しおさいセンターや市民センターで，子どもたちのゲームがうるさいという意見がありましたが，子どもたちのために親御さんと話し合いました。その結果，子どもたちも注意して遊ぶようになり，他の利用者との共存が出来るようになりました。公園は看板に書かれている規制を守ることが正しいと思っていましたが，近隣の方々で話し合って遊び方を決められることが分かって良かったと思います。
（参加者）海岸方面には地域の住民が集まる場所がないので，山本公園の管理棟建て替え話が出ていますが，赤ちゃんから高齢者みんなが集えるコミュニティーが出来たらと思います。また，片瀬山幼稚園の跡地も，地域のコミュニティーの場所として利用できればと思います。
（参加者）中学校では子どものいじめが起きていますが，様々な形で取り組んで全体で対

応しています。
（参加者）塾に行けない子どもたちにどうしていけばよいか。
（参加者）夜間ひとりでいる子どもの支援が必要ですが，行政と地域のパイプ役が必要ではないかと思います。
（参加者）青少年の居場所にサポーター当番だけではなく，専属の見守る人を置いてほしいと思います。青少年は多感な時期なので，対応はそれなりの技術が必要だと思います。
（参加者）直接子どもの事ではありませんが，まちづくり事業の中でＪＪＢＣの予算が多く，実際に担当者が定着しにくい様子でもあり，今までの経過でどのような実績があったか検討が必要ではないでしょうか。

【５班】
（参加者）公園などで球技ができないので，私有地の道路でやっています。安全に遊べる場所があれば，子どもたちが外で遊び，ゲームばかりやっている事にはならないのではないかと思います。片瀬小学校校庭では，放課後にサッカーと野球をやっています。小学校以外に球技をしてもいい場所があるといいと思います。
（参加者）小６の子どもがいますが，いつもゲームをやっています。片瀬学園を借りてサッカーをやっていたことはあります。海岸方面からは，片瀬こどもらんどは遠いので，海岸にも片瀬こどもらんどのような場所があるといいと思います。山本公園の集会場はどうでしょうか。
（参加者）藤沢の北部に居た時は，公園にネットがあって，球技などもできていました。インターネットやゲーム・スマホなど，子どもにどういう影響があるかが心配です。小学校に入ってからでは遅いので，幼稚園の保護者に向けてのインターネット・スマホのセミナーをした方がいいと思います。
（参加者）中学生の貧困について心配です。学習も遅れていき，家庭ではなかなか勉強ができない状況にあります。子どもだけで，ＴＳＵＴＡＹＡのカードやカラオケのカードが親の承諾なしで中学生が作れてしまいます。お店側でも親の承諾をもらうようにしてほしいと思います。借りたものが無くなった時の賠償などが心配で，ファミレスなどでも，「なにかあったら親に連絡するよ。」と言ってほしい。悪い人との接触がなくなると思います。
（参加者）中学生もカラオケに行っています。市外から引っ越してきましたが，藤沢は遊び場がなく，のびのび遊べるスペースがほしいと思います。
（参加者）昔はのびのび遊んでいました。もっと自由に遊ぶスペースがあるといい。
（参加者）片瀬山に住んでいますので，家に帰ると遊びに行くのが面倒になります。すぐ近くに遊べるところがあるといいと思います。片瀬山幼稚園跡地などはどうでしょうか。
（参加者）議会でも，公園のボール遊びについて話し合いになったことがあります。競技に繋がらない幼児のボール遊びなら O.K ということでしたが，ボール遊びも子どもだけだと何かあった時に責任が取れないと思います。地域の方々に「子どもたちを見守る大人」

を募集して，お散歩や，買い物の時にでも一目でわかるワッペンなどをつけて，困った時には子どもを助けてあげられればいいと思います。
（参加者）野球場の開放，テニスコートの開放などをしたらどうでしょうか。
（参加者）新林小でも放課後遊びに来ています。ボール遊びだけでなく，安心して，身体を動かせる場所があってほしいと思います。

【６班】
（参加者）子どもたちの遊び場が少ない（遠くから通う自宅から片小の中間にあると良い）。
（参加者）勉強を教えてくれる場所があると助かります。
（参加者）ニート・思春期の子どもたちへの配慮をしてほしい。
（参加者）自然の多い場所をいかした遊び場を考えてほしい。
（参加者）安心で安全で過ごせる場所を作るためにはどうしたらよいでしょうか。
（参加者）児童クラブでは勉強を教えられないのが現状です。
（参加者）子どもランドまで家から遠いので，もっと近くにあるとよいと思います。
（参加者）片瀬海岸在住ですが，津波避難場所（白百合）まで 15 分かかり，心配です。
（参加者）児童クラブは働いている家庭の子しか通えません。
（参加者）かたせ・にこにこ広場は小学校に行く前の場所です。
（参加者）学習塾のように勉強を教えてくれる場所があると良いと思います。
（参加者）毎週木曜日に公民館で１年間やっています。
（参加者）勉強を教えるだけではなく，やる気を起こすことも必要です。
（参加者）少子化だと税金が入ってきません。
（参加者）親←→子←→学校の関係だけではなく，片瀬しおさいセンターなどとうまくつながると良いと思います。
（参加者）夏休みなどにセッティングしても，子どもは来ないです。日常に接点を持つことが必要です。
（参加者）子ども３人を別々の小学校にいれました。末っ子を片瀬小に入れ，地域との関わりが導きやすかったと感じています。
（参加者）片瀬こどもらんどは，いつも同じ子が利用しています。初めて来た子にも催し物の案内を渡していますが，常連の子だけが利用しています。
（参加者）中学校では勉強に遅れた子には補習をしてくれますが，小学校ではしてくれません。先生も忙しいので時間的にないようです。
（市長に子どもたちの遊び場が少ないこと，子どもの多い地域に避難場所も兼ねる施設がない旨を伝えました）
（市）子どもの居場所は，理想的には学校の近くにあると良いと思います。高齢者に対しても居場所を確保していきたい。学習支援は，NPO 法人などとマッチングをとっていきたい。児童クラブの利用や子どもの放課後の過ごし方も持ち帰り，きめ細やかに考えたい。

② 市長・副市長コメント

（鈴木市長）各グループを回らせていただきました。公園の利用の仕方を現実に合ったようにしてほしいということがあり，持ち帰り考えていきたいと思います。また，貧困に関する問題もかなり提起がありましたので，我々としてもこの問題について真正面から取り組んでいかなくてはならないと思います。また皆様の意見を聞きながらやっていきたいと考えております。子どもの放課後の時間をどのようにしていくかということで，放課後児童クラブの話，別の形での支援というか，家庭でみている方が上のお子さんから下のお子さんに手がかかるようになったら，その部分を見守って支援をしていかないといけない問題も聞かせていただいたり，色々勉強になりましたので，これからきめの細かいところまで反映できるようにしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

（藤間副市長）まず皆さんにお礼を申し上げたいと思います。本当に色々生活の中から実情としてお話が出てきましたので，我々行政の立場として，それをひとつひとつきちんと受け止めて，今後のいい市政を進める中に反映させていくことが大切であることを痛感いたしました。市長の方から基本的なお話がありました。私の方からは２つだけ例をあげながら申し上げたいと思います。

１つは公園についてありました。大きく言うと，子どもたちが体をあまり動かさないので，公園でボール遊びとかをもっとできるようにしても良いのではないかというお話があります。今，公園の傾向としてはどちらかというと高齢者の方が多くなってきているので，高齢者の皆さんの健康づくり，例えば健康づくりのための遊具を置こうというような取り組みを進めていますので，あまり子どもたちに目線がいっていないのが率直なところです。特に片瀬地区，藤沢の南の方でいうと，新しい公園を作ればいいじゃないかという話もあるかと思いますが，なかなかやはり限られて，市街化も進んでいるので，一定の広さの面積を確保するのは非常に難しいので，新しい公園を作ることにはならないと思います。ではどうするかと言うと，シェアをうまくすることしかないと思います。どういう事かと言うと，例えば，どこかの班でお話をさせていただきましたが，例えば放課後の時間の３時から夏場で言うと６時～７時くらい，冬場で言うと５時くらいまでは，子どもたちに優先的に使ってもらったらいいのではないか，というのを決めてそこをやる。それから，曜日を例えば決めて，そういうことも認めていったらよいのではないか。ですから，色々な知恵をだして，どういう風に使っていったら公園が最大限に活かせるのかと考えることが非常に大事かなと思っており，どちらかというと市というのは，市内に街区公園という普通の公園が約２８０あったと思うのですが，一律的に管理しようとするので，なかなか個別ごとに使い道を考えることがなかったこともあり，これからそのあたりを担当部門と考えていくことをやっていきたいと思います。

もう１つあったのが学習支援です。勉強が少し遅れてしまっている子どもたちに教えるということをやってくれたらどうですかと話をいただきました。これは，背景には子どもの貧困の問題がかなり関わっていて，塾に行ける子どもたちはいいけれども，塾に行けな

い子どもたち，子どもたちの中でもさらに貧困という言葉で括ってよいのかわかりませんが，課題を抱える子どもたちがいて，その背景にあるのが，経済的な問題がかなり大きいかと思います。その子どもたちは，そのことだけではなくて，学習支援の問題だけではなくて，例えば家庭環境がひとりしか親がいないとか，経済的にもこまっているとか，病気を持っていて親が働けないなど，悲惨な例をあげるといくらでも言えるくらい限りなく複合的にその子どもにかかっていて，それが学習の遅れとして出ていく場合もある。また，食事の問題で，朝食もまともに食べられません，夕食もまともに食べられない，唯一の食事が給食だけというお子さんまでもいるという状況もあり，実は藤沢市の中でもあります。そういった問題は，一つの視点からみてそれを解決しようとしても無理なので，やはり多方面から支援していくことが非常に重要です。そのためには行政は，それを問題意識として持って，最近横の連携をとって，色々な課が関わって，ひとりのお子さんの問題を解決していこうと，一応の仕組み，体制はできました。横断的連携をとってということですが，スタートラインにはついた。しかし行政だけではできないので，次は行政と地域の皆さんとの協力をどうつくるのかが大きな課題となります。そう言った意味で皆さん方のお力も色々お借りしながら，それをきちんと行政がコーディネートをしておひとりのお子さんの支援に向かう形をどうやって作るかということが大事だと思います。そこをきちんとやっていきたいと考えております。今日みたいなお話を積み重ねて頂いて，こういう取り組みがいいなと思うのは，我々も本音で実はこういうことがありですよとお話をして，皆さんからも伺って，それで一番いい知恵を出すことが非常に大事なので，汗をかいたり知恵を出す，そこをやっていきたいと思います。学習支援の問題であえてもう１つ申し上げますと，子どもたちが，勉強がわからないというのを解決する根本にあるのは，学校の授業の充実なんですね。校長先生と教頭先生いる中でなぜそう申し上げるかといいますと，先生方は実は今ものすごく忙しいです。色々な課題に対応しないといけないのでなかなか授業に集中できないという問題が実は背後にあります。ですから先生方ができるだけ子どもたちに関わる時間をもってもらう，授業に集中していただくために，それ以外の問題をできるだけ少なくして，そちらに集中していただくことが大事かと思います。これは鈴木市政になってからと言っていいものかあれですが，教育についてもかなり人的な対応とか，お金の面でも割かしていただいて，子どもたちの根本にあるのは，小学校と中学校の教育の基本のところ。ここを大事にしていかなくてはいけない。そこをやらせていただいていることだけをあえて付け加えさせていただいて，私のまとめとさせていただければと思います。どうもありがとうございました。

（市長・副市長退席）

５　まちづくりタイム

①まちづくり活動報告

（徳江副会長）略
※まちづくり事業や地域課題検討の進捗状況を写真ムービーにより紹介

②意見交換

（片瀬山３丁目Ａさん）先ほど，副市長が貧困対策で市では横のつながりでやっております，というお話がありましたが，私たちも，社協の青少年・子育て福祉部会でいろいろと貧困のことについて考えております。そういう相談はどこの課に行けばできますか。

（平岩子ども青少年部長）子どもの貧困対策については，どこの課が所管しているというのはございません。子ども家庭課では様々な相談をお受けしておりますので，貧困関係のみならず，様々な相談でわからないことがありましたらご相談下さい。そして，生活の貧困ということですと生活福祉課，ひとり親家庭であれば子育て給付課がございますので，ご相談いただけたらと思います。内容によっては貧困だから云々ではなく，先ほど副市長からも話しがございましたが，その家庭が抱えている課題が何か，子どものことなのか，親自身に課題があるのか，それにより所管する課が異なります。どこに行けばわからなければ，生活福祉課，福祉総合部相談窓口もございますので，とりあえずどこかの課につないでいただければ，その相談によって，それぞれ内容をたらい回しにせず，適切な所につないでいくことをやらせていただきたいと思います。具体的には，例えば，お子さんの学校の場となると教育委員会となりますので，それぞれ部門分かれていて，課題によって課も異なることをご承知おきいただきたいと思います。市が連携しながら，ご家庭の課題解決に向けて，取り組んでいまいりたいと思いますので，よろしくお願いいたします。

（松崎片瀬市民センター長）補足ですが，本庁のどこに聞けばよいかわからない，そういったときのために片瀬市民センターはおります。福祉の方も担当しておりますので，片瀬市民センターにお問い合わせしていただけたらと思います。

（東り町東会Ｂさん）再三でておりますが，公園における子どもたちが遊びについて，こういうことしてはいけないなど，まちづくり協議会などで話し合いで何とかならないか，ぜひ検討していただきたいなと思います。

（松崎センター長）私自身，公園でのボール遊びは禁止というように思っておりましたが，副市長から提案いただいたことは，非常に思いきった判断だと思います。早速，市には公園課という公園のルールを決めている課がありますので，連携して地域の方のご要望を公園のルールを地域ごとに，公園ごとに変えられないのかという，もしかしたら政策転換となる大きな動きかもしれません。すぐにそれが行政として，この公園はボール遊びができますよ，というような短期間の政策転換になるかはわからないですが，今日の市長，副市長からのお話をきっかけにセンターとして皆さんの声を聞きながら，よりよい公園づくり，公園の環境づくりに取り組ませていただきたいと思います。そういうご質問をいただいたことがきっかけとなりました。ありがとうございました。御礼申し上げます。

（新屋敷第２町内会Ｃさん）本日の地区集会に参加して本当に良かったと思います。ただ

顔ぶれをみると，それぞれの団体の出るべき人が出ているかと思っております。一般参加がどれくらい出ているのかなと考えると少し少ないと思います。一般の方が参加するためにはどうすれば良いのかなと今後思います。まずは同じ子ども会の人を２～３人誘って今度は参加していきたいなと思います。何か手だてとかありましたらお願いします。

（金子片瀬市民センター主幹）まちづくり協議会の事務局をしておりますので，よろしくお願いします。今日のテーマでのグループトークという試みはまちづくり地区集会としては初めての形式でございまして，こういったテーマで日頃関心を持っている方にご参加いただけたらというのがまず１点ございましたので，一般参加者は全体の１割ぐらいかと思います。冒頭の会長からのご挨拶で，昨年度は様々な地域課題について課題別にワークショップ形式でやりましたというお話がありましたが，そういった形で集会の形式や進め方もどんな形がいいのかと，いつも委員の皆様に検討をしていただいてきたところです。今日の集会についても，良かった点，変えるべき点等を検証するいい機会だったと思っておりますので，今後委員の皆様と事務局で検討していきたいと思いますし，皆様からも何かいいアイデアがあればいただきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。ご意見ありがとうございました。

（片瀬中学校 PTA Ｄさん）2020 年のオリンピックに向けて，江の島がセーリング会場になるということで，噂で聞いたのですが，川名まできている道路が，片瀬中学校の近くまで延長になり，そこから片瀬海岸方面までぬけるのではないかと話がでているのですが，その進捗状況とかまちづくり協議会でどのように考えているのかお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

（金子主幹）地元では関心のあるお話ではあるがなかなか情報が伝わってこないということでのご質問だと思いますが，これは計画道路である県道横浜藤沢線のことかと思います。これは県で進めている事業になりますので，実はこちらもあまり情報がないという状況です。具体的になってお話ができる状況になりましたら，場を設けてお伝えしていく。そういったことを市民センターとして調整していきたいと思います。またその機会には是非ご参加いただけたらと思いますので，よろしくお願いいたします。

６　閉会

（松崎センター長）略

１４：５７終了

以　上

市長と 片瀬・江の島っ子の未来を語り合おう！

～いま、子どもたちに必要な環境とは～

○日　時　10月31日(土)　12:30～14:40（受付12:00から）

○会　場　片瀬市民センター2階ホール

放課後の過ごし方は？

片瀬地区に足りないのは？
人材？場所？情報？

グループに分かれて意見交換！

子どもたちを地域力で育てる。
今，おとながができること

おかあさん、おとうさんも集まりましょう!!

子育ての悩みは？
ネットワークを作ろう！

地域団体からのメッセージや
まちづくり活動の紹介などもあります。

手話通訳もご用意します

主催　片瀬・江の島まちづくり協議会
［片瀬地区郷土づくり推進会議］

申込・問合せ先（まちづくり協議会事務局）
藤沢市　片瀬市民センター　地域担当
TEL0466－27－2711　FAX0466－25－8907
e-mail　kata-c@city.fujisawa.kanagawa.jp

参加申し込みとご意見をお待ちしています。日程等のご都合がつかない場合は，意見提出だけでも大歓迎！

（切り取り）

片瀬市民センター　行

平成27年度第1回まちづくり地区集会　参加申込・意見提出用紙

各項目にご記入・チェックのうえ，**10月20日(火)までに片瀬市民センターへ**お届けください。（FAX，e-mail，持参等で）

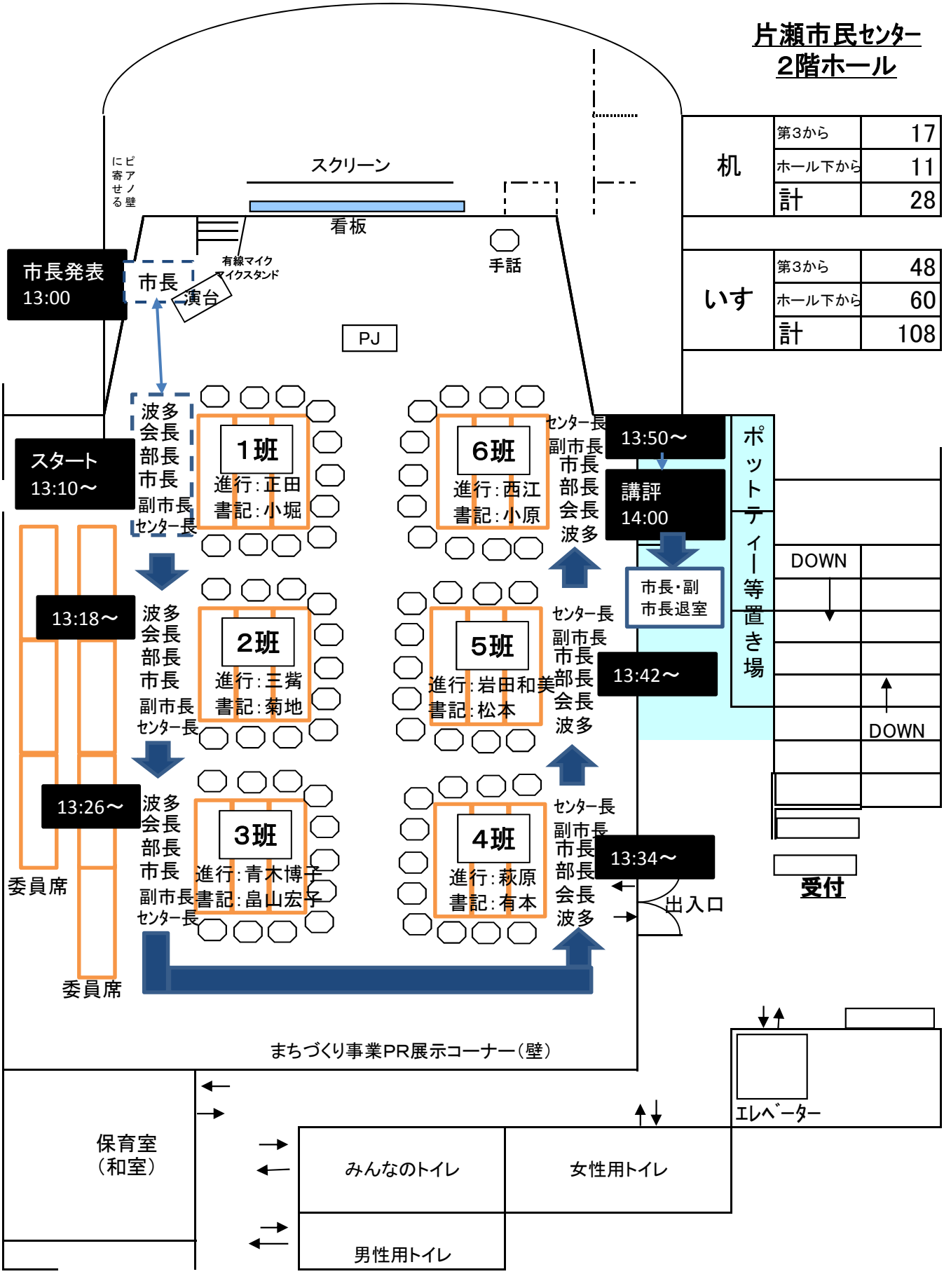
氏名		年代	20 ・ 30 ・ 40 ・ 50 ・ 60以上 ※該当する年代を○で囲んでください。	□参加します ※参加ご希望の場合は□へチェックを。
連絡先	電話番号または電子メールアドレス			□保育を希望します ※参加時お子様の保育ご希望の場合。卒乳した1歳から未就学児対象。詳細は後日ご案内。

意見欄

（参加されない方も）ご意見をお寄せください。

個人情報は適切に管理いたします。

平成27年度第1回地区集会　会場図



片瀬・江の島まちづくり協議会
平成 27 年度第 2 回地区集会 次第

日時　2016 年 2 月 27 日(土)13:30～15:30
会場　片瀬市民センター　2 階ホール

テーマ

片瀬・江の島マニア大集合！
郷土魅力をとことん語り合おう
～400 年の蔵出しワークショップ～

開会

会長挨拶

第一部　まちづくりトピックス

第二部　400 年の蔵出しワークショップ
(1)水先案内

(2)グループトーク

(3)トーク紹介

(4)今後に向けて　～郷土縁をつくる

その他

閉会

片瀬・江の島まちづくり協議会

平成27年度第２回地区集会

議事録

2016年2月27日

（会場）片瀬市民センター２階　ホール

１３：３０

・　開会

（徳江副会長）略

・　会長挨拶

（長谷川会長）みなさんこんにちは。本日はご多様の中を，片瀬・江の島まちづくり協議会の地区集会にこのように多くの皆様方にご参加いただきまして，誠にありがとうございます。

また，皆様には日頃から地域のまちづくりのために，各方面で貴重なご意見とご協力を賜っております。この場をお借りいたしまして心から厚く御礼申し上げます。

片瀬・江の島まちづくり協議会は平成 21 年 11 月から準備が始まり，地域の各方面の皆さんから幅広く意見をいただきながら集約・分析すると共に課題解決に向けて具体的事業計画としてまとめ，行政とも密接な連携を高めつつ事業を進めてまいりました。この間の活動計画や実施報告等につきましては「まちづくり通信」や地区集会等でお知らせすると共に意見交換を実施してまいりました。

昨年度は，片瀬地区の中のいくつかの課題についてテーマを設定して地区集会の中でテーマ別のワークショップを行い，参加者全員で課題について認識を新たにすると共に，課題解決に向けて意見交換が活発にできたと考えております。

本日の地区集会は，ご案内のとおり 27 年度の第２回目の地区集会であります。27 年度の第１回目は昨年 12 月に行いました。ここではこれからの重要な課題の一つであります健全な子供の育成について市長・副市長をお迎えし，『片瀬・江の島っ子の未来を語り合おう！～いま，子どもたちに必要な環境とは～』と題して，活発な意見交換を行いました。

そして今回は，すでにご案内しておりますように，今までとはやや視点を変えて私たちの郷土である片瀬・江の島の魅力をとことん語り合おう，そして，もっと地域のことを知ろうと，このような題にいたしまして，小グループのワークショップを中心にした地区集会としました。今日お集まりの皆さん方をずっと先程から眺めておりますと，まさに片瀬江の島の歴史・文化についてより深く知っている方々ばかりだな，そんな風にお見受けしたわけです。「片瀬のことは俺に話させろ」と，そんな方々がふるってご参加を頂けたのではないかと思います。

歴史と文化がいっぱい詰まっているまち片瀬・江の島，今回は郷土の魅力を一つでも多く掘り起こし，次世代にいかにして伝えていけるかを地域課題の一つとして考え，実施するものでございます。

話し合うことにより地域の良さを知り，新しい繋がりや仲間作りのきっかけになればと考えております。住んできてよかった，これからも長く住み続けたい，そう思えるまちをみんなで知恵と力を出し合って作っていこうではありませんか。そのためにも本日の地区集会を有意義なものにしていただきたいと考えております。

開会にあたりまして，甚だ雑駁でございましたが挨拶に代えさせていただきたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。

・第一部　まちづくりトピックス

（徳江副会長）略

※まちづくり事業の報告を行うとともに，片瀬・江の島まちづくり協議会の地域での取り組みを写真ムービーにて紹介

・第二部　400 年の蔵出しワークショップ

（１）水先案内

（杉下協力員）みなさん，こんにちは。案内人の杉下です。

私の役どころは，案内人ということですので，文字どおりみなさんの意見交換が活発になるように案内・ガイドをしていくことにあります。ご協力のほどお願いいたします。

さて，今回は片瀬地区の郷土魅力という非常に幅が広いテーマになりますので，当然みなさんの関心がいろいろな点にあったり，逆に全く地域のことをご存知でない方もいらっしゃると思いますので，まず話題のきっかけとなるネタをいくつかご紹介いたします。

少し映像をご覧ください。

※片瀬・江の島地区の郷土魅力事例を写真にて紹介

以上，ネタをご提供いたしました。

ご紹介した内容にこだわらず，十分お話しを楽しんでいただければと思います。

ご参考までに，お話していただくひとつの視点として，江の島で行われるオリンピックに来られた方へ，地域の住民として一番何をアピールしていきたいか，片瀬地区の良さってこれです！そんなことも考えていただければと思います。

では，この先は各グループの進行役の方にお任せいたしますので，よろしくお願いいたします。

（２）グループトーク

・参加者を５班にわけ，前半 30 分グループトークを行う。その後 10 分間の中間共有タイム～空気の入れ替え（人・情報）を設け，各班から１分程度でスポットを当ててきたテーマやトークの様子の発表を行う。案内人の誘導により関心のあるテーマを扱う班へ人の移動（交流）も促す。後半 25 分は前半のテーマの掘りさげを行い，オリンピックのおもてなしの一環として私たちが紹介できる郷土魅力を再認識していく。

・各班進行は郷土文化推進部会員および協力員，書記は事務局。ガイドとして江の島・藤沢ガイドクラブを置く。

（３）トーク紹介

【１班】

別紙にて

【２班】

別紙にて

【３班】

別紙にて

【４班】

別紙にて

【５班】

別紙にて

（４）今後に向けて～郷土縁をつくる

（杉下協力員）いろいろな話題が出ましたね。今日，事前には言ってないのですが，郷土歴史課の細井さんが来られておりまして，全体的なお話を聞いて，今までで行政側からとかいろいろと資料を集めた中で片瀬・江の島地区の郷土歴史とか調べてると思うのですが，無形有形文化財的なことではなくて人間的なこととか風土的もいろいろあったかと，聞けたかと思いますですけど，率直にどんな感じかなと感想を一言頂ければと，お願いします。

（細井郷土歴史課）いろいろお世話になっております。

今回って少しずつ話を聞いたのですけど，本当に面白くてですね，なんとなくまとめてなんかだったら片瀬の歴史の本ができるのではないかなと思ったくらい，結局これだけ話が伝わっているんだなという気がしました。素晴らしいなと思います。

最後にお話がありました片瀬みなとの話なんかもですね，面白いのですけど，来た時にですね，宿場のおばあちゃんが「舟ここまで来たのだよ」という話を聞いて，いろいろ辿ると，やっぱり先ほど新屋敷橋の辺りで船を乗り換えて小さな船で宿場の裏手まで回っていったというのが，裏付けられるというかちゃんと伝承で残っているのですね。

馬喰（まくらい）橋がありますよね。僕の勝手な自説ですけど，あれ，字体で読むと馬喰（ばくろう）橋なので，馬喰というと馬喰ですけど，おそらくあの辺りまでですね，馬で荷揚げをして動かした，それで「ばくろう」と付けたのが何故か「まくらい」になったのではないかなっていう，きっと船と馬と多分競合したので，その関係なのかなという伝承があるんですけど。本当に片瀬というところは非常に伝承が面白いところで，もう龍の話ひとつ取ってもそうですし，すばらしいなと思って聴いていたのですけど，もうコメントをする場もなくてですね，皆さんこれだけ地域の話が共有できる場が作れていることが本当に羨ましいとか凄いなと思います。

僕は茅ヶ崎の生まれですけれども，結構点々と転居を繰り返していて。お祭り大好きですけど，お祭りって新住民の人にとっては最初，他所事なのですよね。なかなか入り込め

ないのですけど，実際に中に入り込むと，実は隣のおじさんがお祭りの中心人物だったりとか，そういう過去があるので，その辺は新住民の方が，状況が見えたりします。新旧でどういう風にお祭りが共有できるのかなって，この街だったらうまく繋いでいけるのかなって感じました。どうも失礼しました。

（杉下協力員）どうもありがとうございました。私も最後簡単にまとめをということを言われているので，全体回った中で，やっぱりこの片瀬地区の特有だなと思うのが，最初皆さん，自己紹介をされたかなと思うのですが，その時に，こういう司会とかもよくいろんなところでもさせてもらうことがあるのですが，そうすると例えば「私，片瀬何丁目に住んでいる，杉下です。」というような説明を自己紹介すると思うんですが，ここに限っては大体「西浜の」とか「西方」とか「新屋敷に住んでいて」って，さっき 4 班でしたか，「屋号が」ということで，やっぱり何丁目っていうよりは，屋号で「新屋敷に住んでいるだれだれです。」とか「下の谷に住んでいるだれだれです。」，やっぱり地域のこの風土というか歴史というか，その屋号とは，すごいなんかこう，引き継がれているんだな，というところですよね。やっぱそういうところがほんとに特徴的だなと感じました。

それから，やはりどんどん昔の歴史とか自分の愛する街がこうなっていったんだと，どんどん話せば話すほど各グループの皆さんの顔がどんどん笑顔に変わっていくところが，全体的見たときに特徴かなと思いました。

あとは 2 班ですかね，一つ具体的な提案として，富士山ベストビュースポットとかね，こういうのがあるとほんとに議論すると自分の家の前から見るのが一番きれいだということを絶対譲らないような議論になっていたんですけど，あとはガイドクラブさんの人でしたね，後ろの方で聴いていたら，「御殿場のほうで見たら，富士山，気持ち悪くなる。なんでかっていったら，近すぎて」って。やっぱり，富士山，近ければいいじゃなくて，やっぱり，藤沢から見る，この片瀬から見る江の島というのが遠からず近からず，日本で一番きれいな場所なのかな，というところだから，逆にさらにすばらしいスポットをみんなで集めてみようかな，ということですので，地域の方々が同じ片瀬江の島といっても見方が変わってきたりとか，また素晴らしいところがまた再発見できる，と思いました。

また，今後課題として笑顔になったのが，2 班と 5 班で，男遊びやら遊郭の話だから盛り上がったのかなと感じましたが・・・，まあ，そういう歴史っていうのもいろんな逸話的な民族的な魅惑ですかね，そういうのもあるというのも一つ面白いテーマなのかなって思いましたので，それは研究するかについては皆さんにお任せしますが。

それ以外にも，今発表しきれなかった話題とかテーマとか，今後，地域で研究会を立ち上げたりとか，ワーキングやったらもっと面白くなるんじゃないのかなというのもあればアンケート用紙お配りしておりますので，そちらの方に書いていただければ，まちづくり協議会だったり，また，地域の活動に情報提供したりとか，そういうのを続けていって，一つの短期的な目標としては，東京オリンピックがある，そういうときに世界中から来た方々にこの片瀬・江の島地区の魅力をしっかりお伝えをし，ほんとにこの街って素敵だな，

という思い出を持って帰っていただけるようなまちづくりであるような今後を皆様の力添えを賜ればと思います。

ちょっと雑駁なまとめになってしまったのですが，非常な皆さんの有意義な意見，また，ご感想，また発言があって今日は本当に時間が足りなかったと思いますが，また違った形でこういう議論の場も作っていければと思います。つたない進行でご迷惑をかけたと思いますが，以上で私の案内人の役をおろさせていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

・その他

（林市民自治推進課長）皆さんお疲れのところ，5 分ほどお時間いただきましてありがとうございます。本日お邪魔させていただいていて，1 階から来まして非常に下まで，にぎやかな声が聞こえまして，私も 13 地区いろいろ地区の全体集会を回ってますけど，本当にこれほど賑やかな地区集会は今日初めてここで味わいさせていただいて，非常にいい雰囲気で本当にいい皆さんの笑顔で話をされていたので，非常によかったと思います。

早速ですが本題に入りまして，ご案内いただきましたけれども，片瀬山市民の家の再整備，建て替えに向けてのご報告をさせていただきたいと思いますが，片瀬山市民の家は昭和 51 年に建築されておりますので約 40 年経過しております。市内には 41 ヶ所市民の家ございますが，平均築 30 年ということで今後老朽化に伴う建て替えというのが市の課題となっておりまして，片瀬山市民の家は一番最初の時代に建てられたものの一つでございます。ということで，建て替えに向けて市として考えていたところでございまして，一昨年になりますが，片瀬山自治会連絡会の方から建て替えに対する提言書も頂いております。こういった提言書を頂いたことをきっかけにしまして，市としても建て替えに向けての検討をこれまでしてまいりました。そして，また引き続き片瀬山自治会連絡会との意見交換，昨年の 3 月，市長がこちらにお邪魔した意見交換会の中でもこの市民の家のことについてお話，ご意見を頂いております。

それで，ちょうど片瀬山幼稚園が山の上にございます。こちらが来年の 3 月で閉園という予定になっております。この幼稚園の跡地をぜひ購入してほしいということで片瀬地区からのご意見がございまして。これまで法人，保有する学校法人側とお話をさしていただきました。今回，一定の法人側のご理解も頂いていることで，この 2 月議会に敷地の取得についてのご報告をさせていただく予定でございます。

この議会の中で一定のご理解がいただければ，敷地の取得については土地公社の先行取得ということで取得予算についても議会の中でご承認いただきますけれども，そちらの方がご承認いただいた後には今後本格的に取得に向けて交渉，協議を進めていきたいと思いますので，今後，閉園後の 3 月に市としてはできれば敷地を取得していきたいと思っています。そうなりますと，今の敷地が大体 485 平米で平均の敷地より非常に狭い状況の 2 階建てでございますが，バリアフリーにも対応できる大きさの敷地が取得できますので，市

民の家だけではなく，その他複合的な機能も市民の家に合わせ持たせたものを是非検討していきたいと思います。

具体的な検討はこれからになりますので，今日の段階では，まず取得に向けた今，学校法人側と今，交渉を進めてる，ということで片瀬地区の皆さんに報告をさせていただきますのでどうぞご理解いただきますようよろしくお願いします。

・閉会

（松崎センター長）略

１５：３６終了

以　上

片瀬・江の島まちづくり協議会

平成27年度第２回地区集会

第二部　400年の蔵出しワークショップ記録

2016年2月27日

（会場）片瀬市民センター２階　ホール

1班

・オリンピックにより江の島、片瀬が変わる。

・ガイドクラブの活動として、子どもと舟に乗ること等、片瀬地区は文化に誇りを持っている。

・住みやすくて気候も良いが、最近江の島以外の商店街が寂しくなった気がする。

・高齢化が進み、自動車の運転が不可となってくる。
買い物ができる所がなく、そういう面で不便。

・日本は神仏の国。龍神様のお告げ等。ロウソクに龍が出た。

・江の島の道。子ども達にも通りやすくするため、安全面を再検討するべき。
歩きやすさに重点を置く。

・ノギ対象の像はどこへ言ったのか？（ノギ→シラユリへ名称変更）

・気候がいい。長後はトンネルあり、気候が３℃違う。
一般の子供が遊ぶところがない。
子供達を遊びを通して育てていったらどうか？

・片瀬小学校は防災の面で避難所となっているが、子供と一般人すべてを収容できるものなのか？

・鉄道が多く、住みやすい。

・片瀬の人は海に行かない。家にこもる人へＰＲしたい。

・公共の建物をたくさん造った。

・子供会を３０年間やっている。

テーマを３つに絞る

①お祭り（龍と関わる　龍とお祭り）
②お祭り（地域住民との関わり合い）
③今後の片瀬江の島はどうあるべきか

①龍神について（全ての神の守護神）
住民に対して　伝説　ペイジェント　密蔵寺（アイゼンカツラ）
タカスの森→龍口寺の前
浄レン寺に石をもってきた（場所違う。）

鎌倉に入る為の守り　龍の口　ケイ場の跡
鎌倉がけがれる→鎌倉の外で
龍口寺の穴ぐら　処刑された人を片瀬の人々がとむらった。
浄連寺（浄土宗→日蓮宗）日蓮は他宗派への
片瀬は真言宗が多い。（密蔵寺）
一遍上人は鎌倉に入れず。藤沢に４ヶ月半。

片瀬が有名になったのは？
港－馬喰端まで舟
舟の流通拠点。
鎌倉郡川口村の頃の方は何をしていたのか
稲荷こう

コエアゲ道－片瀬－辻堂

江の島　青銅の鳥居－昔は木造。
今のは２回目の青銅鳥居。
江戸の人がカツオを活きたまま食べられるところ＝片瀬
大山詣の人が帰りに遊ぶところ。
江戸時代－幕府の鉄砲場があった。
東京オリンピックで道が変わった。スバナはなぜカタカナなのか？
山本橋＝山本百太郎氏

２班

・２週間前に品川から引っ越してきた。温暖、眺望がよいためきた。
景観が一番の魅力。

・食べ物でも乗り物でも、昔からのものと新しいものとが融合していて良い。

・片瀬山が分譲されてから４５年経過しているが、住んでいて楽しい場所とすること、外からお客さんを呼べる魅力を発掘することがガイドクラブの苦慮するところである。

・地方では、江の島のことを「城ヶ島」と思われている。

・転勤で色々と地方に住んだことがあり、元々小田原出身だが、退職後は藤沢に住みたいと決めていた。

・キュンとするというより、片瀬ではホッとする。

・地域を大切に思うこと心あたたかい人が片瀬には多い。

・片瀬にいる人がこのような魅力を盛り上げてくれている。

・これからもっとお客さんが増えてもいいように、インフラ等整備していかないと、住みにくくなってしまう。

・子供達に魅力を伝えていけたら。

・子供達に伝えていくというのは、大人のおせっかい。自分でみつけてもらうことが大切。

・富士山の見え方が片瀬はとても綺麗。そういうポイントをもっとアピールしていけたら。

・片瀬江の島富士山ビュースポットを周知していったらどうか？

・絶景スポット１０を作ったらどうか？

・昔の遊び場というと、海の砂浜だった。片瀬にはすばらしい砂浜があるのに、今の親の世代が子供の頃に遊ぶ経験が少なかったからなのか、今の子供達もあまり遊んでいなかった。もっと活用してもらえたらいいのに。

・江の島道の充実を検討していくなら、片瀬だけでなく藤沢地区等関係する他地区とも連携をとって一緒にやっていけばいい。

・鵠沼と鎌倉とタイアップしていけたらいい。

・ぼたもちをキーに、町おこしをしていったらどうか？

３班

■各自自己紹介

・元は腰越の出。腰越で網元をやっていた。その後、片瀬に移って来て、お茶屋をやっていた。
・東京出身。片瀬に移住して２５～６年。片瀬は古い歴史と文化が魅力。
・昭和１６年から片瀬に住んでいる。小学校１年生の時の遠足で、乃木大将の像が印象に残っている。
・片瀬産まれの片瀬育ち。昔は山本公園の辺りにラジウム鉱泉があった。
・大庭に住んでいる。大学の時に地域の勉強を始めた。片瀬は知らないことばかりで、今日は皆さんの話を聞きに来た。
・横浜→羽鳥→鵠沼→片瀬と移り住んだ。海岸だけでなく街中も風光明媚。
・東京産まれ。大東亜戦争中の疎開先が片瀬だった。片瀬目白山はその名の通り昔はメジロが沢山いた。くらしまちづくり会議の委員を８年間やった。
・西方在住。
・４５年前から片瀬に住んでいる。昔は東京に住んでいて勤務先が鎌倉。会社を辞めてから、地域の勉強も兼ねてガイドクラブに入って早１０年。
・昔はＴＶの紹介などは「鎌倉と江の島」という鎌倉のオマケ、セットだったのが、今では江の島単独で紹介されることが多く、鎌倉の人がやっかんでいる。
・関西産まれの関西育ちで、夫の転勤で藤沢本町→片瀬山に移住。片瀬では鎌倉彫やオカリナのサークル活動をしている。

■自由発言

・ハマグリラーメンが美味しい。
・「片瀬の８軒」というのは甘粕、小池、浜野、山本、鈴木、あと３軒は何処だったか？（誰も分からず）
・明治時代に江ノ電を敷設する際に、人力車組合が反対し用地取得が難航したため、大地主で当時の区長をやっていた山本氏が用地を提供した。家の玄関前や軒先を軌道が通っているのは、その名残だと聞く。
・奈良時代の書物に「かたせ」の記載がある。
・江の島道は鎌倉時代からあった。ミネベア付近に集落があり、その後、馬喰橋→本蓮寺と集落が広がっていった。
・龍口寺一帯は鎌倉時代、都の外縁部ということで処刑場だった。常立寺の辺りからは当時処刑されたと思われる人骨が発掘される。
・片瀬に歴史上有名な人物は居るか。（誰からも回答なし）
・諏訪神社はその名の通り諏訪の神社だが、全国の諏訪神社で上社下社がある

のは片瀬だけ。
・現在は諏訪神社例大祭をはじめ、片瀬は祭が活発だが、一時期衰退したこともある。
・片瀬山には昭和４２年までゴルフ場があった。当時は赤山と呼ばれていた。
・江の島は西暦５５２年に出来たという説がある。
・前回（昭和３９年）のオリンピックは地元民は白けていた。地元民としてオリンピックに全く関われなかったからだ。その反省から、江の島を良くする会が出来た。今回は地元民はどうやって世界の人々をおもてなしするか、と盛り上がっているのに、行政側が白けているのか何も動きがないように見える。
・前回のオリンピックは秋だった。今回は夏。道路渋滞等、ただでさえ凄いのに、どうなるのか心配。
・藤沢は元々遊郭の町。江の島も然り。「江の島は弁財天という女の神様がいるから、カップルが行くと弁天様が焼きもちを焼いて二人を別れさせる」という説があるが、あれは実は、そういう遊びの町にパートナーを連れて行かないで心置きなく遊ぶための、男が作った都市伝説だ。

■発表
前自由発言の内、下線の内容について発表

４班

・４０年在住しているが、最初は静かな土地だと思った。
・湘南は人気のある町。
・周りの人もみんな優しい。
・景色も良い。

・湘南新宿ラインもできたので、都内から遊びにくる人も多いのでは。
・海と山があるのが素晴らしい。
・地元を愛している人が多い。
・江の島を鎌倉市と思っている人が多い。
・小さい頃は地引き網のお手伝いをしていた。
・地域活動がさかんなので、社会福祉協議会や花植え活動したり充実している。
・海岸から見た江の島、富士山が好きである。
・おまつりが盛んなイメージがある。

・色々な地域を点々としていたが、人情があつい。海も近い。
・昔は川で泳いで遊んだりしていた。今は川で泳ぐ人はみかけない。
・昔の方が結束力があった気がする。
・小さい頃はベーゴマ、片瀬こまをやっていた。
・気候があたたかい。

・片瀬３丁目のガソリンスタンドは昔ため池だった。
・おまつりで太鼓をたたいているが、屋号によってたたき方が微妙に違う。
・諏訪神社例大祭は昔は 7 月 27 日だった。7 月に下の谷にお客さんがきて忙しいので 8 月に変更になった。
・昔は１週間おまつりが行われていた。
・町内会ごとにおみこしがあった。
・みこしも自分たちでつくったものをかついでいた。
・公民館まつりでもおみこしを担いでいた。
・川にはうなぎやめだかもいた。
・諏訪神社のおまつりは上諏訪、下諏訪と１年ごと交互にしていた。
・常立寺をじょうれんじと読むのはなぜだろう。
・お盆の時に砂でタンをつくり、米俵の横のふたをおき、上になすやきゅうりをおいていた。
・近所できねや臼をかりつつもちをついていた。
・交通の便が良い。３つの鉄道が通るのは片瀬くらいでは。

・片瀬山は昔は赤山、竹木しかなかった。昭和 30 年ごろにゴルフ場ができた。
・片瀬小前は牧場があた。
・片瀬山に砲台が 4 つあった。

・西浜は西浜銀座とよばれるところもあり、西浜ラジウム温泉があった。
・オリンピックに向けての課題。
・ホテルが少ない。宿泊施設少ない。
・選手だけでなく、報道機関や観客も来るが大丈夫か。
・道路が狭い。

・屋号を残すことは大事。　下の谷、西方、新屋敷、東り町、西浜。

・お住まいは？と聞かれると片瀬○丁目というような返答ではなく、西方です等、屋号で返答する人が多い。

5班

・昭和初期（３～９年頃）の片瀬は、今の龍口寺のところに「龍口園」という施設（遊園地）があった。
・龍口園は、五重の塔と同じ高さの展望台になっていて、展望台へ行くためのエレベーターがあった。眺めはとても良かった。

・昭和１０年頃の片瀬は、田んぼばかりで、諏訪神社の横（今のガソリンスタンドのあたり）は大きな池があった。そこで釣りをして遊んでいた。

・昔の「江の島道」は砂利道で、お祭りのときに山車（だし）を引っ張るのが大変だった。
・新道（今の国道４６７号）ができたおかげで、「江の島道」という歴史ある道が今の姿で残っている。
・なぜ江の島道が良いのか。お寺が多くあり、歴史を感じることができる。歩きやすい環境もあり、気持ちが良い。
・杉山検校の道標が数多くあるが、そのような歴史的なものが残されていること自体が貴重である。

・浜野氏（５班のメンバー）の自宅には、貴重な掛け軸、油絵、伊藤博文の額などが残っている。
・浜野氏の家は現在で７代目。古くからある家が少なくなってきたが、そのような貴重な品物を見られる（地域の人の目に触れる）機会があると良い。
　⇒地域の展示室を作ったらどうか。

・昔は、境川（新屋敷橋のあたり）に「片瀬みなと」という港があり、海から運んできた品物を、その港で小さい船に乗せ換えて、藤沢（宿）のほうまで運搬していた。
・岩屋不動に、片瀬みなとを利用していた漁業関係者が鳥居を寄進し、いまもなお寄進者の名前がその鳥居に刻まれている。
・昔は岩屋不動のお祭りが盛大に行われていて、路地にはたくさんの露店が並んだ。遊郭で働く多くの女性がお祭りの時期に参拝にきていた。（理由は不明）
・藤沢宿の近くに鼻黒（はなぐろ）稲荷といわれている神社が存在する。鼻黒は梅毒の症状のことで、鼻黒稲荷に参拝にいけば病気を治すといわれていた。
・マスコミへＰＲし、テレビ等で紹介してもらえば観光客の誘致につながるのではないか。（ブラタモリでタモリに歩いてもらうなど）

わいわい語り場

片瀬・江の島マニア大集合！
郷土魅力をとことん語り合おう
～400年の蔵出しワークショップ～

○日　時　2月27日(土)　13:30～15:30
（受付13:00から）

○会　場　片瀬市民センター2階ホール

平成27年度地区集会の第1弾として「子どもに必要な環境」をテーマに10月にグループトークを行いました。今回は，郷土の魅力をいかに掘り起し伝えていけるかを地域課題のひとつととらえて，少人数グループ形式の地区集会を開催いたします。

話し合うことにより，地域での新しいつながりや仲間づくりのきっかけもねらいのひとつです。片瀬・江の島のことが大好き!もっと知りたい!とお思いの方は，ぜひご参加ください。お待ちしております。

＜予定＞　※手話通訳あり

第一部　まちづくり協議会活動報告
第二部　400年の蔵出しワークショップ

協力　江の島・藤沢ガイドクラブ，藤沢市郷土歴史課

参加者にはキュンマークの缶バッジをプレゼント！（数量限定）

主催　片瀬・江の島まちづくり協議会
（片瀬地区郷土づくり推進会議）

申込・問合せ先
藤沢市　片瀬市民センター　地域担当　（協議会事務局）
TEL0466－27－2711　FAX0466－25－8907
e-mail　kata-c@city.fujisawa.kanagawa.jp

参加申し込み＆ご意見をお待ちしています。
ご参加できない場合は，意見提出だけでも大歓迎！

（切り取り）

片瀬市民センター　行

ご意見は裏面へ→

平成27年度第2回まちづくり地区集会　参加申込・意見提出用紙

各項目にご記入のうえ，**2月19日(金)までに片瀬市民センターへ**お届けください。（FAX，e-mail，持参等で）　※個人情報は適切に管理いたします。

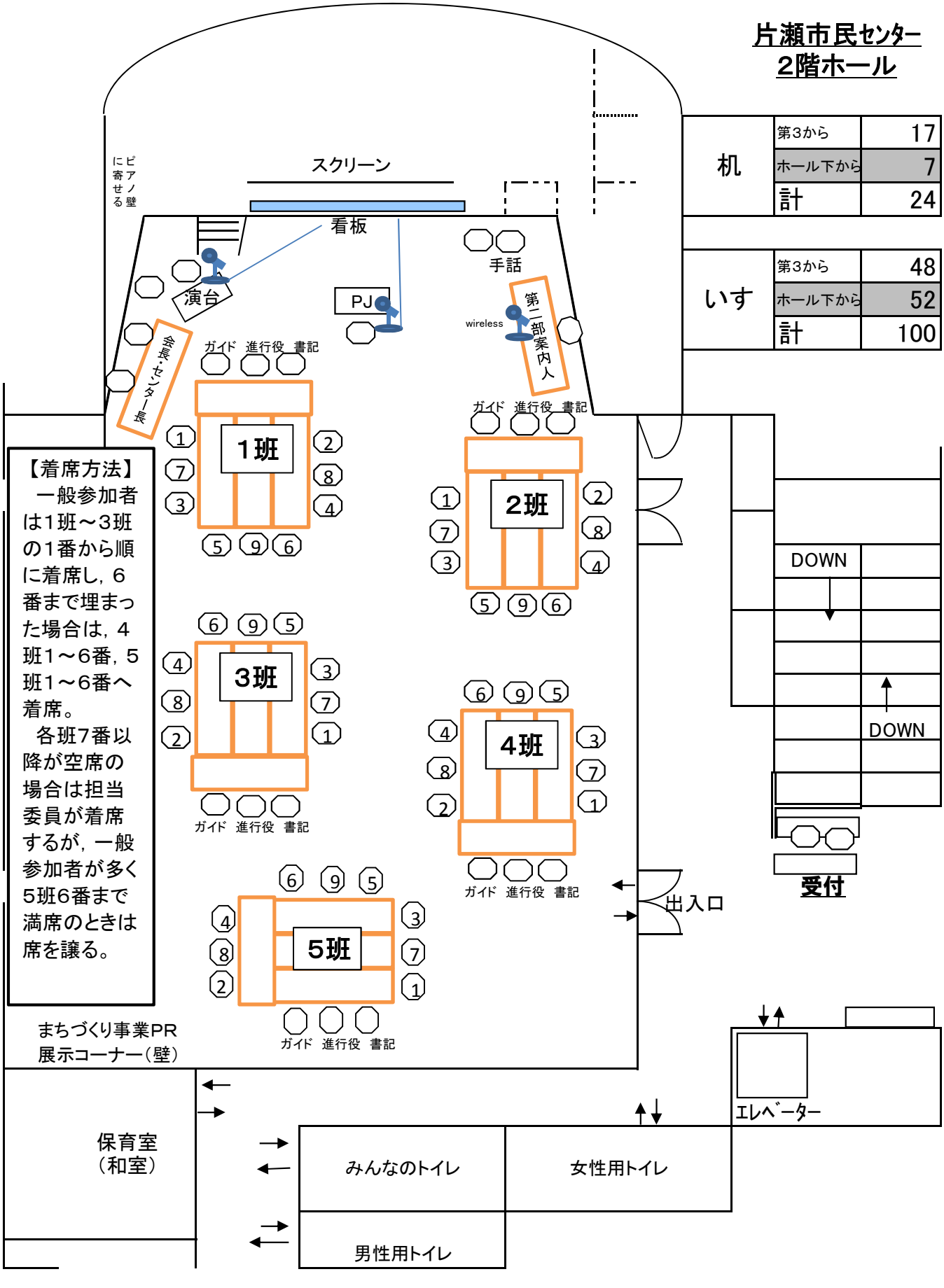
氏名		年代	20・30・40・50・60以上 ※該当する年代を○で囲んでください。
連絡先	電話番号または電子メールアドレス		□参加します ※参加ご希望の場合は□へチェックを。
			□保育を希望します　2/19〆厳守 ※参加時お子様の保育ご希望の場合。卒乳した1歳から未就学児対象。詳細は後日ご案内。

（切り取り）

ご意見欄

（参加されない方も）片瀬地区の郷土魅力と感じることとその伝え方について，お考えをお寄せください。

平成27年度第2回地区集会　会場図



平成２７年度第２回地区集会　写真リポート

2016 年 2 月 27 日（土）13:30～15:30

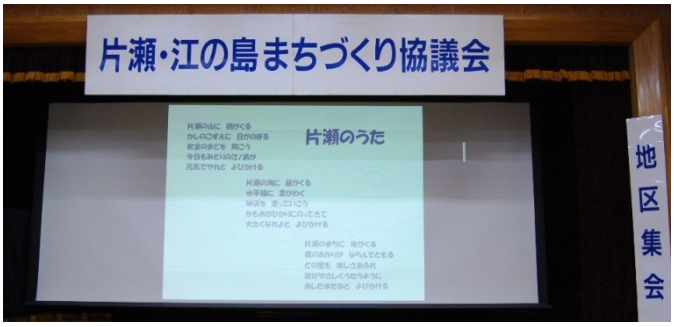
【看板】

【スタッフ打ち合わせ】

平成２７年度第２回地区集会　写真リポート

2016 年 2 月 27 日（土）13:30～15:30

【受付・お迎え】



【展示】

平成２７年度第２回地区集会　写真リポート

2016 年 2 月 27 日（土）13:30～15:30

【開会・会長挨拶】

【第一部　まちづくりトピックス】

平成２７年度第２回地区集会　写真リポート

2016 年 2 月 27 日（土）13:30～15:30

【第二部　ワークショップ「水先案内」】

【グループトーク】

平成２７年度第２回地区集会　写真リポート

2016 年 2 月 27 日（土）13:30～15:30

平成２７年度第２回地区集会　写真リポート

2016 年 2 月 27 日（土）13:30～15:30

【その他・閉会】

郷土づくり推進会議及びまちづくり事業に対する課題等について（委員意見要約）

1．郷土づくり推進会議の制度について

現在の郷土づくり推進会議の制度となり３年目となるが，委員活動の中で感じている課題や問題点，今後に向けての要望など

（意見）

【制度について】･･･*地域課題解決には必要な制度，予算制度も現行がベター，改正には十分な議論を*

・地域団体と公募により，一つの地域団体では解決できないことや地域団体では解決できない地域課題を議論し対応していく仕組みとして，必要な制度である。

・市全体及び地域の状況などを踏まえ優先順位を考え，事業計画毎の予算建ては良い。地域に概算予算だけ渡して，自由に予算等計画を立てさせるのは，全市的な視点が抜けるので問題である。

・長年の蓄積から現在の制度が出来ているので，制度改正にはメリット・デメリット等充分な議論を。

【運営体制について】･･･*運営に若手・公募委員の意見が反映しやすくなるしくみづくり*

・各部会長を副会長として役員会に位置づけ，運営と活動が直結できる効果があったが，部会の統廃合等整理の議論がしにくく，部会長交代の機会もなかなか取れない状況になってきた。役員選出方法の改善か，「運営委員会」的な場の設置ついて検討し，地域団体の次代を担う若手と公募委員が中心となって自由活発な意見交換できる場に。

【団体選出委員について】･･･*若手の参加，団体との連携，新たな推薦団体の掘り起し*

・団体選出委員にも任期等を規定し，代表以外の委員には，定期的に代表と話すことも必要。活動内容を各自の団体におろしてほしい。

・新しい意見や発想が必要となるため，団体の長だけでなく，交替での参加を。

・郷土づくり推進のために他に推薦団体があるのか任期ごとに検討することも必要。

【公募委員について】･･･*再任延長，入替推進，募集タイミング，人員増，求める理想像，任期後協力体制*

・公募は人数に限りあり再任１回までだが，ベテランとして精通し情熱があれば再再任も妨げないでよい。

・副会長や部会長にある公募委員については，再任回数の見直しを。

・多くの人に参加経験し理解してほしいので，任期は現行の再任１回でよい。課題も新しい目で発掘可。

・現行では公募全員が入替の可能性も。事業の継続と推進のために，再新任が同数程度保たれる方法を。

・課題が今後益々多岐に渡り専門性が高くなる中，人材確保のために公募を多くする。

・大所高所から考え，片瀬のまちを良く知り未来の片瀬に夢がある，歴史・文化・芸術にも理解がある人。

・任期後は部会協力者として活躍をし，取り組み課題の継続や問題点を見つけてほしい。

【地区間交流について】･･･*地区間の意見交流推進*

・意見交換など参考になることが多いので，郷土づくり推進会議としての市内交流があるとよい。

2．まちづくり事業について

地域まちづくり事業に取り組んでいる中で感じている課題や問題点，今後に向けての要望など

（意見）

【事業の見直しについて】･･･*地域全体を踏まえた見直し，片瀬地区の特性を踏まえた事業展開*

・事業見直しは部会に任せず，地域全体としての視点で全事業を認識し，重み付けや事業内容の検証などを行うWGでの検討も必要である。

・まちづくりに於いてハード的な整備，ソフト的な組織活動を通して地域住民の意識が形成されていく中で，片瀬地区ならではの色々な基礎的条件を考慮したまちづくり事業を進めていきたい。

・片瀬地区は2010年から年平均約60人の人口減少が継続。まちの安心・安全に係る現状の事業形態だけで，まちの活性化が期待どおり進められるのか議論をし，必要に応じた対策（まちづくり事業）を模索したい。

・オリンピック開催を意識したテーマの取り上げや取組が重要。住民だからできる点をクローズアップし，地域住民の声を正しく伝えると同時に，自らも協力していく体制づくりが必要。
・「天女と五頭龍」伝説の普及に力を入れたい。
・高齢化対応の事業を着実に進めなければならない。（生活支援の方法としくみづくり，元気な高齢者が活動できる場と機会の増大，地区社協との連携）
・地域のための取り組みなのに，地域に溶け込んでいない。年代を超えての交流の場を考えていきたい。
・JJBCの活動がもう少しまちづくり事業や各部会とのつながりがあってもよい。
・ひとつずつ着実に実績を上げている。今までの方向性や実行にあたっての丁寧な取り組みができている。

【参加世代の問題について】･･･*新たな担い手の確保，子ども・子育て世代の声の反映*
・各事業の担い手が固定化している傾向があり，新しい担い手の確保が地域としては必要である。
・地域活動に高齢者が多く参加し，高齢者視点の課題認識はできているが，子どもや子育て世代の親が参加していないことで次代の地域づくりに必要な意見等声を地域課題として取り上げることが難しい。

【部会の構成について】･･･*円滑運営のために部会整理を推進*
・構成員が少なく，１人が複数部会に所属する必要あり。ある程度の人数を決めるか，部会の統合を。
・現在の２つのWGを部会に。まちづくり推進部会は実質的な事業が少なく，入れてもよい。

【地域団体との関係について】･･･*地域団体活動との棲み分け，団体選出委員の負担減*
・まちづくり事業と各地域団体の活動の違いがわからない人が多い。
・団体選出委員の負担を減らすため，長期間事業などは興味がある人を地域回覧等で募って活動を。

【市長との対話について】･･･*定着への評価*
・市長・行政幹部との対話が定着しつつあることは，非常に望ましい。テーマ選定や事前検討でのレベルアップを図りたい。

３．その他

（意見）

【事務局・市職員について】･･･*事務局との一層の連携，適正配置*
・市民センターと委員が密なるコミュニケーションを取りながら事業等を進めることは大切。今まで以上に市職員の協力を。地域担当のレベルアップを考えた人事対応も継続的に推進を。

【担い手について】･･･*ボランティア等人材確保の仕組みづくり*
・委員や各事業の推進メンバーの継続的な確保が大切。高齢化・教育機会等，次代の担い手確保が課題。
・まちづくりにはボランティアの力が重要。人材確保のために「労すれば報われる」しくみを作っていく必要。

【会議について】･･･*会議の進め方*
・全体会の報告事項はメールなどを利用して開催回数の減を。
・全体会へゲストをお呼びして，各分野の地域状況や課題，地域まちづくり事業へ期待すること等を伺い，今後のまちづくり事業推進のための参考に。会議に時々新鮮な空気（情報）をいれる機会を。
・部会について全体会同様に昼間と夜間を交互に開催し，サラリーマン委員でも参加できるように。

【地区集会について】･･･*地区集会の進め方*
・年２～３回開催は回数的にはちょうどよく，今回も市長を囲み意義あるグループディスカッションができた。
・一般参加が少なく，集客方法を十分議論していきたい。タイムリーで関心の深いテーマで具体的な体験事例を挙げたり，野外集会等も考えられる。
・会場を市民センターとしおさいセンターの交互で行い，継続・ルーチン化することも重要。

参考資料（郷土づくり推進会議設置要綱）

藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱

（目的及び設置）

第１条　市民，地域団体（地縁団体，市民活動団体，特定非営利活動法人等をいう。以下同じ。）等の市民参画により，地域の特性を活かした郷土愛あふれるまちづくりを推進するため，市民センター又は公民館の管轄する区域（以下「地区」という。）ごとに，藤沢市郷土づくり推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

（名称）

第２条　各地区の推進会議の名称は，郷土づくり推進会議に各地区の名称を冠したものとする。

２　地区ごとに推進会議の通称を付けることができるものとし，各地区の推進会議の決定に基づき市長が別に定める。

（所掌事務）

第３条　推進会議は，次に掲げる事項を処理する。

(1) 市民，地域団体等の地域の意見を集約しながら地域の課題を把握し，課題解決に向けた方向性を検討すること。

(2) 前号による検討の結果に基づき，市長に対し提案を行うとともに，必要な意見若しくは要望を提出し，又は施策の提言を行うこと。

(3) 第１号による検討の結果に基づき，地域の特性を活かした事業を企画及び実施すること。

(4) 前３号に掲げるもののほか，第１条の目的を達成するため，市長又は推進会議が必要があると認める事項

（組織）

第４条　推進会議は，３０人以内の委員で組織する。

２　前項の規定にかかわらず，市長は，推進会議が必要があると認めるときは，同項に定める人数を超えた人数の委員で推進会議を組織することができる。

（委員）

第５条　委員は，次に掲げる者に該当する者のうちから，市長が選出し，委嘱する。

(1) 当該推進会議が設置された地区内に居住する者（この市の常勤の職員又は議員である者を除く。）で，各地区の委員選考委員会が選考した者

(2) 当該推進会議が設置された地区内において活動する地域団体から推薦された者

２　前項各号の者のうちから市長が選出する委員の人数は，各地区の推進会議の決定に基づき市長が別に定める。

３　委員は，無報酬とする。

（委員の任期）

第６条　委員の任期は，２年とする。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

２　委員は，再任されることができる。

３　市長は，推進会議が必要があると認めるときは，前項の規定により再任されることができる回数を別に定めることができる。

（役員等）

第７条　推進会議に議長１人のほか，副議長若干人及びその他の役員若干人を置き，委員の互選によりこれを定める。

２　副議長及びその他の役員の人数は，各地区の推進会議の決定に基づき市長が別に定める。

３　議長及び副議長の任期は，当該委員の任期内において，各地区の推進会議で定めることができる。

４　議長は，会務を総理し，推進会議を代表する。

５　副議長は，議長を補佐し，議長に事故あるとき，又は議長が欠けたときは，その職務を代理する。この場合において，副議長が２人以上存するときは，あらかじめ副議長のうちから議長が指名する者が職務を代理する。

（会議）

第８条　推進会議は，議長が招集する。

２　推進会議は，委員の過半数が出席しなければ，会議を開き，議決をすることができない。

３　推進会議の議事は，出席した委員の過半数をもって決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。

４　議長は，会議の運営上必要があると認めるときは，委員以外の者を会議に出席させ，説明又は助言，資料の提出及びその他の協力を求めることができる。

（会議の公開）

第９条　推進会議は，その会議を公開するものとする。ただし，次の各号のいずれかに該当する場合は，この限りでない。

(1) 会議の内容が市長が別に定める非公開情報に係るものである場合

(2) 会議を公開することにより，当該会議の適正な運営に著しい支障が生ずると認められる場合

（議事録の作成）

第１０条　推進会議は，会議を開催したときは，次の事項を記載した議事録を作成するものとする。ただし，軽易なものについては，この限りでない。

(1) 会議を開催した日時及び場所
(2) 委員の現在数及び出席した委員の数
(3) 開催目的，審議事項及び議決事項
(4) 議事の経過の概要及びその結果

(部会)

第１１条　推進会議には，必要に応じて部会を置くことができる。

２　部会は，委員及び推進会議に協力する者等で構成する。

（市長の責務）

第１２条　市長は，第１条に掲げる目的を達成するため，推進会議に対し，次の各号に掲げる支援その他の必要な措置を講じるものとする。

(1) 市長は，推進会議が第３条各号に規定する所掌事務を行うにあたり，推進会議が市民，地域団体等と十分な連携及び協働並びに調整が図られるよう積極的に努めなければならない。

(2) 市長は，推進会議から第３条第２号の規定による提案，意見若しくは要望の提出又は施策の提言があったときは，十分な検討を行い，必要に応じて市の施策に反映するものとする。

(3) 市長は，推進会議による第３条第３号の事業の企画及び実施に要する経費の予算化に努めるものとする。

(4) 市長は，推進会議に対し，必要な情報の提供を行うものとする。

(事務局)

第１３条　推進会議の事務を処理するため，推進会議に事務局を置く。

２　事務局は，当該推進会議が設置された地区を管轄する市民センター又は公民館とする。

３　事務局は，第３条各号に規定する推進会議の所掌事務について，委員と連携し，協働して取り組まなければならない。

(委任)

第１４条　この要綱に定めるもののほか，推進会議に関し必要な事項は，各地区の推進会議の決定に基づき市長が地区ごとに要領で定める。

附　則

１　この要綱は，平成２５年４月１日から施行する。

２　この要綱の規定により最初に委嘱される委員は，第５条第１項の規定にかかわらず，この要綱の施行の前日において現にこの市の市長の認定を受けている地域経営会議委員のうちから市長が委嘱する。

３　前項の規定により委嘱される委員の任期は，第６条第１項本文の規定にかかわらず，委嘱の日から平成２６年３月３１日までとする。

参考資料（片瀬地区運営要領）

片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領

（趣旨）

第１条　この要領は，藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱（平成２５年４月１日施行，以下「要綱」という。）の規定により設置された片瀬地区郷土づくり推進会議（以下「推進会議」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

（通称）

第２条　推進会議の通称は，「片瀬・江の島まちづくり協議会」とする。

（意見の集約）

第３条　推進会議は，要綱第３条第１号の意見の集約を行う場合には，次の各号に掲げるいずれかの方法により行うものとする。

(1) 地区全体集会

(2) アンケート

(3) 前２号に掲げる方法のほか，片瀬地区の実状に即し，推進会議が適当であると認める方法

（組織）

第４条　推進会議は，次に掲げる区分に応じた委員で組織する。

(1) 片瀬地区内に居住する者（この市の常勤の職員又は議員である者を除く。）で，第１２条の選考委員会が選考した者

(2) 片瀬地区内において活動する別表に掲げる地域団体等から推薦された者

（委員の任期）

第５条　前条第１号により選考された者については，要綱第６条第３項の規定により再任されることのできる回数を１回に限る。ただし，要綱附則第２項の規定により地域経営会議委員のうちから市長が委嘱した委員については，委嘱の日から平成２６年３月３１日までについては任期に含めないものとする。

（役員等）

第６条　推進会議に会長１人のほか，副会長若干人（以下「役員等」という。）を置き，委員の互選によりこれを定める。

２　会長は，会務を総理し，推進会議を代表する。

３　副会長は，会長を補佐し，会長に事故あるとき，又は会長が欠けたときは，あらかじめ副会長のうちから会長が指名する者がその職務を代理する。

（会議）

第７条　推進会議は，次の各号に掲げる会議を開催する。

(1) 会長が委員を招集して全体会を開催し，推進会議の全体活動に関する会議を行う。

(2) 会長が役員等を招集して役員会を開催し，推進会議の運営に関する会議を行う。

(3) 部会長が部会構成員を招集して部会を開催し，部会の活動に関する会議を行う。

（会議の公開）

第８条　会議の公開及び傍聴等に関して必要な事項は，推進会議の決定に基づき市長が別に定める。

（議事録の作成）

第９条　議事録は，推進会議の決定に基づき市長が別に定める期間公表するものとする。

（部会等）

第１０条　推進会議に次の部会を置き，委員及び推進会議に協力する者等のうちから推進会議が選任する者（以下「部会構成員」という。）で構成する。

(1) 人材・情報バンクセンター運営委員会

(2) ボランティアセンター運営委員会

(3) 青少年健全育成部会

(4) 公民館活用部会

(5) まちづくり推進部会

(6) 郷土文化推進部会

(7) 地域広報部会

２　部会に部会長１人のほか，副部会長を若干人置く。

３　部会長は部会構成員のうち，委員の互選によりこれを定め，副部会長は部会長が指名する。

４　部会長は，部会会務を総理し，部会を代表する。

５　副部会長は，部会長を補佐し，部会長に事故あるとき，又は部会長が欠けたときは，その職務を代理する。

６　部会長は，部会の運営上必要があると認めるときは，部会の構成員以外の者を会議に出席させ，説明又は助言，資料の提出及びその他の協力を求めることができる。

（事務局）

第１１条　推進会議の事務局は，片瀬市民センターとする。

（委員選考委員会）

第１２条　市長は，現に委員である者の任期が満了する３月前までに，会長並びに委員及び委員以外の者のうちから推進会議が選任する者によって構成する委員選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設置しなければならない。

２　前項に定めるもののほか，選考委員会，委員の募集及び選考に関して必要な事項は，推進会議の決定に基づき市長が別に定める。

（委任）

第１３条　この要領に定めるもののほか，推進会議の運営に関し必要な事項は，推進会議の決定に基づき市長が別に定める。

附　則

この要領は，平成２５年４月１日から施行する。

参考資料（片瀬地区運営要領）

附　則

この要領は，平成２６年４月１日から施行する。

附　則

この要領は，平成２７年４月１日から施行する。

別表（第４条関係）

番号	地　域　団　体　等　の　名　称
１	片瀬公民館評議員会
２	片瀬公民館サークル連絡会
３	片瀬市民スポーツの会
４	片瀬地区交通安全対策協議会
５	片瀬地区子ども会連絡会
６	片瀬地区社会福祉協議会
７	片瀬地区自主防災協議会
８	片瀬地区自治町内会連絡協議会
９	片瀬地区生活環境協議会
１０	片瀬地区青少年育成協力会
１１	片瀬地区青少年支援フォーラム
１２	片瀬地区民生委員児童委員協議会
１３	片瀬地区防犯協会
１４	片瀬地区老人クラブ連合会
１５	江の島振興連絡協議会
１６	片瀬地区商店会

参考資料（傍聴要領）

片瀬地区郷土づくり推進会議全体会傍聴要領

（目的）

第１条　この要領は，片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領（平成２５年４月１日施行）の規定により片瀬地区郷土づくり推進会議（以下「推進会議」という。）が開催する全体会の傍聴に関して必要な事項を定めるものとする。

（全体会の公開）

第２条　全体会は，原則公開とする。ただし，推進会議の決定により，全体会の全部または一部を非公開とすることができる。

（全体会開催の周知）

第３条　全体会の開催にあたって推進会議は，全体会の開催日時及び開催場所等の必要事項を記載した開催案内について，できるだけ速やかに片瀬市民センターしおさいコーナーに掲示して周知するものとする。

（傍聴人の定員）

第４条　傍聴者の定員は，推進会議が会議室の収容人数等を考慮して定めるものとする。

（傍聴手続）

第５条　傍聴の受付は，全体会の開始３０分前から１５分前までの間に行うものとする。

２　傍聴を希望する者は，所定の用紙に必要事項を記載して，所定の席に着席する。

３　傍聴を希望する者が定員を超えた場合は，抽選により決定する。

（傍聴することができない者）

第６条　次の各号のいずれかに該当するものは，全体会を傍聴することができない。

(1) 危険物を携帯している者

(2) 酒気を帯びている者

(3) その他，全体会を妨害し，又は人に迷惑を及ぼすと恐れがあると認められる者

参考資料（傍聴要領）

（傍聴者の守るべき事項）

第７条　傍聴者は静粛を旨とし，次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（1）静粛にし，かつ，全体会における言動に対して拍手その他の方法で賛否を表明しないこと。

（2）写真撮影，録画及び録音等は行わないこと。ただし，議長の許可を得た場合は除く。

（3）その他，全体会の秩序を乱し，又は全体会の妨げとなる行為はしてはならない。

（傍聴者の退場）

第８条　傍聴者は，全体会を非公開とする決定がなされたときは，速やかに退場しなければならない。

２　議長は，傍聴者がこの要領に違反するときはこれを制止し，又はその命令に従わないときは退場させることができるものとする。

（傍聴者への配布資料等）

第９条　傍聴者には，全体会次第，その他議長が必要と認める資料を配布するものとする。

（その他）

第１０条　この要領に定めるもののほか，全体会の傍聴に関し必要な事項は，推進会議の決定に基づき市長が別に定めるものとする。

付　則

この要領は，平成２５年４月１日から施行する。